

60歳代以上の投資信託等に関するアンケート調査 報告書

2019年3月



一般社団法人

投資信託協会

目次

1	調査結果の概要	P.3
2	調査結果の要約	P.6
3	回答者のプロフィール	P.15
(1)	性別	P.16
(2)	年代別	P.17
(3)	職業	P.18
(4)	世帯年収	P.19
(5)	金融資産	P.20
(6)	家族構成	P.21
4	投資信託商品の保有状況	P.22
(1)	投資信託の保有・認知状況	P.23
(2-1)	投資信託商品種類別 保有状況	P.24
(2-2)	投資信託商品種類別 保有歴【インデックス型】	P.25
(2-3)	投資信託商品種類別 保有歴【毎月分配型】	P.26
(2-4)	投資信託商品種類別 保有歴【テーマ型ファンド】	P.27
(2-5)	投資信託商品種類別 保有歴【アクティブ型ファンド】	P.28
(2-6)	投資信託商品種類別 保有歴【バランス型ファンド】	P.29
(3-1)	投資信託商品種類別 保有理由【インデックス型】	P.30
(3-2)	投資信託商品種類別 保有理由【毎月分配型】	P.31
(3-3)	投資信託商品種類別 保有理由【テーマ型ファンド】	P.32
(3-4)	投資信託商品種類別 保有理由【アクティブ型ファンド】	P.33
(3-5)	投資信託商品種類別 保有理由【バランス型ファンド】	P.34
(4)	投資信託の口座	P.35
(5)	保有投資信託 合計現在価値	P.36
(6-1)	投資信託を選ぶ基準	P.37
(6-2)	投資信託を選ぶ基準 最も重視するもの	P.38
5	投資信託商品への意識	P.39
(1)	投資信託購入意向	P.40
(2)	投資信託の良いイメージ	P.41
(3)	投資信託の良くないイメージ	P.42
(4-1)	投資信託購入時に欲しいサポート	P.43
(4-2)	投資信託購入時に欲しいサポート（投資信託購入意向者）	P.44
(5-1)	投資信託購入時に最も気になること	P.45
(5-2)	投資信託購入時に最も気になること（投資信託購入意向者）	P.46

6	全般的な投資への意識と実態	P.47
(1)	投資経験	P.48
(2)	初めて投資をした年齢（投資経験者）	P.49
(3)	初めて投資をしたきっかけ（投資経験者）	P.50
(4)	投資理由（投資経験者）	P.51
(5)	投資未経験理由（投資未経験者）	P.52
(6)	投資の経験・考え方（投資経験者）	P.53
(7)	利用を検討してもよい金融商品	P.54
(8)	信頼できる資産運用の情報源	P.55
(9-1)	金融商品・投資商品認知状況	P.56
(9-2)	金融商品・投資商品保有経験状況	P.57
(9-3)	金融商品・投資商品保有状況	P.58
7	60歳代以上の現在の生活や今後への意識	P.59
(1)	普段の生活の楽しみ・大切にしていること	P.60
(2)	自身の想定寿命	P.61
(3)	就労状況・意識	P.62
(4)	年齢を重ねることによる不安	P.63
(5)	財産の相続意向	P.64
(6)	財産相続の相談状況	P.65
(7)	引き継いでもらいたい資産	P.66
(8)	相続する資産の現金化意向	P.67
	末尾添付資料：調査票	P.68

1. 調査計画の概要

1. 調査計画の概要

調査の目的	日本における60歳以上（個人）の投資信託等に対する意識等を把握し、調査結果を協会会員及び各種研究機関、メディア等に広く還元すると同時に、制度改正に活用する。				
調査手法	インターネット調査（マクロミルモニタ及び提携パネルより抽出）				
調査地域	全国（首都圏、阪神圏、その他の3ブロック）				
調査対象	60歳以上の男女				
サンプル数	総計5,115サンプル				
		60-69歳	70-79歳	80歳以上	計
	男性	1,153	853	497	2,503
	首都圏	305	237	125	667
	阪神圏	174	143	81	398
	その他	674	473	291	1,438
	女性	1,214	1,006	432	2,652
	首都圏	317	272	173	762
	阪神圏	190	165	105	460
	その他	707	569	154	1,430
計	2,367	1,859	929	5,155	
	※「首都圏」・・・埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県 ※「阪神圏」・・・京都府、大阪府、兵庫県、奈良県 ※「その他」・・・上記以外の道県 「その他」地域の80歳以上女性は、地域×年齢×性別の人口構成比での回収が困難なため、最大数の回収にとどめ、欠損分は他の各セルで均等に回収した。 本報告書内では、全体値参照時は、「全体（構成比）」として構成比通りにランダムに抽出した1,565サンプルを使用。				
調査時期	2019年1月17日（木）～1月23日（水）				
調査主体	一般社団法人 投資信託協会				
調査委託先	株式会社 マクロミル				

※スコアは小数点第二位で四捨五入し、小数点第一位まで掲載。

1. 調査計画の概要

<分析軸の内容>

軸名称		備考
全体		回答者全体
全体（構成比）		性別×年代×エリアの人口構成比に合わせた全体値
性別	男性	マクロミルのモニタ紐付き情報を使用 ※紐付き情報に関しては、モニタ登録時に本人が回答し、年に1度情報の確認・更新を実施。
	女性	
年代別	60代	
	70代	
	80代以上	
世帯年収別	200万円未満	
	200～400万円未満	
	400～600万円未満	
	600～800万円未満	
	800～1000万円未満	
	1000万円以上	
投資信託 商品保有 経験別	現保有者	Q12S1「投資信託」で「1.自分で購入し保有している」または「2.自分で購入してはいないが、贈与や相続を受けて保有している」選択者
	過去保有者	Q12S1「投資信託」で「3.以前保有していたことはあるが、今は保有していない」選択者
	非保有経験者	Q12S1「投資信託」で「4.（名前だけでも）知ってはいるが、持っていたことはない」または「5.この商品は知らない」選択者
金融資産 別	500万円未満	Q3で各該当金額の選択者
	500万円～1000万円未満	
	1000万円～3000万円未満	
	3000万円～5000万円未満	
	5000万円～1億円未満	
	1億円以上	
投資経験 別	現投資者	Q4で「1.現在投資している」選択者、または Q12S1-S5いずれかで「1.自分で購入し保有している」または「2.自分で購入してはいないが、贈与や相続を受けて保有している」選択者
	過去投資者	Q4で「2.現在は投資していないが、していたことはある」選択者、または Q12S1-S5いずれかで「3.以前保有していたことはあるが、今は保有していない」選択者（※いずれかで1-2選択者を除く）
	未投資者	Q4で「3.投資したことはない」選択者、または Q12S1-S5いずれでも「4.（名前だけでも）知ってはいるが、持っていたことはない」または「5.この商品は知らない」選択者
投資信託 購入意向 別	継続保持意向者	Q12S1「投資信託」で「1.自分で購入し保有している」または「2.自分で購入してはいないが、贈与や相続を受けて保有している」選択、かつ Q20で「1.購入してみたい、保有し続けたい」または「2.やや購入してみたい、やや保有し続けたい」選択者
	新規保持意向者	Q12S1「投資信託」で「3.以前保有していたことはあるが、今は保有していない」または「4.（名前だけでも）知ってはいるが、持っていたことはない」または「5.この商品は知らない」選択、かつ Q20で「1.購入してみたい、保有し続けたい」または「2.やや購入してみたい、やや保有し続けたい」選択者
	意向なし	Q20で「4.あまり購入したくない、あまり保有し続けたくない」または「5.購入したくない、保有し続けたくない」選択者

2. 調査結果の要約

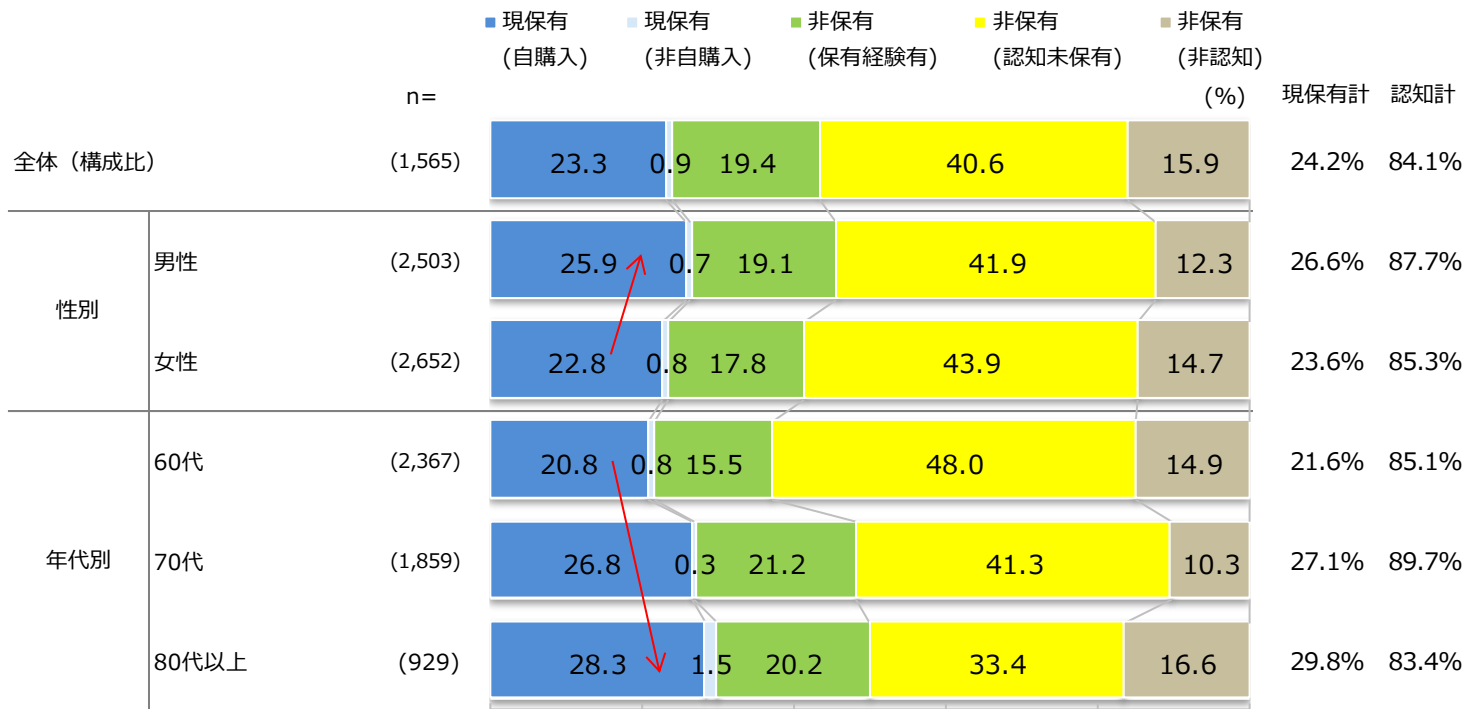
2. 調査結果の要約

投資信託の保有状況／投資信託現保有層の保有種類・保有理由

■ 60代以上の投資信託の現在保有率は、24.2%。

性別では女性より男性で保有率が高く、年代別では年代が上がるほど保有率が高い。

＜投資信託の保有状況＞【ベース：TOTAL】

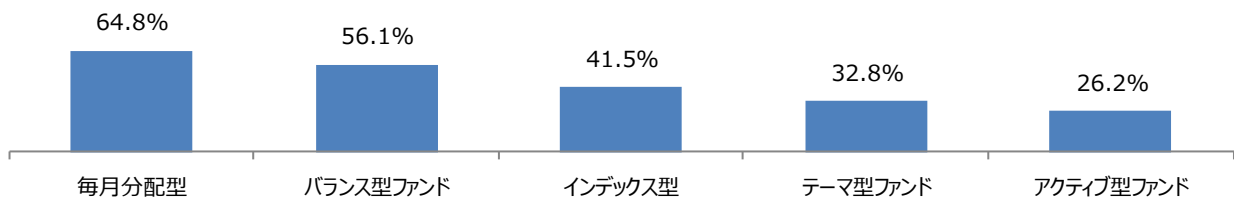


※現保有計：（「現保有(自購入)」+「現保有(非自購入)」) / 認知計：（「現保有(自購入)」～「非保有(認知未保有)」) のスコア

■ 保有している投資信託の種類は、「毎月分配型」が最も多く、次いで「バランス型」。

保有理由は、種類に関わらず「預貯金の金利が低いから」「資産を分けて保有するため」。

＜投資信託の保有種類＞【ベース：現保有者(構成比)(n=378)】



＜投資信託種類別の保有理由(上位5位)＞【ベース：各投資信託現保有者】

順位	毎月分配型 (n=841)		バランス型ファンド (n=726)		インデックス型 (n=558)		テーマ型ファンド (n=437)		アクティブ型ファンド (n=306)	
	理由	割合 (%)	理由	割合 (%)	理由	割合 (%)	理由	割合 (%)	理由	割合 (%)
1位	預貯金の金利が低いから	50.1%	預貯金の金利が低いから	47.1%	預貯金の金利が低いから	45.9%	預貯金の金利が低いから	34.1%	預貯金の金利が低いから	36.9%
2位	資産を分けて保有しておくため	25.0%	資産を分けて保有しておくため	36.6%	資産を分けて保有しておくため	32.3%	資産を分けて保有しておくため	30.2%	資産を分けて保有しておくため	29.7%
3位	自分の生活費のため	22.8%	自分の生活費のため	14.5%	投資そのものを楽しむため	16.7%	投資そのものを楽しむため	16.7%	投資そのものを楽しむため	23.2%
4位	投資そのものを楽しむため	15.2%	投資そのものを楽しむため	13.2%	自分の生活費のため	14.5%	自分の生活費のため	11.4%	将来の医療・介護費用の負担に備えるため	14.7%
5位	趣味やレジャーなどの遊興費に充てるため	13.3%	将来の医療・介護費用の負担に備えるため	12.9%	将来の医療・介護費用の負担に備えるため	13.6%	経済について学ぶため	10.1%	経済について学ぶため	10.1%

2. 調査結果の要約

投資信託の購入意向

■ 60代以上における投資信託の購入意向率は、13.3%。

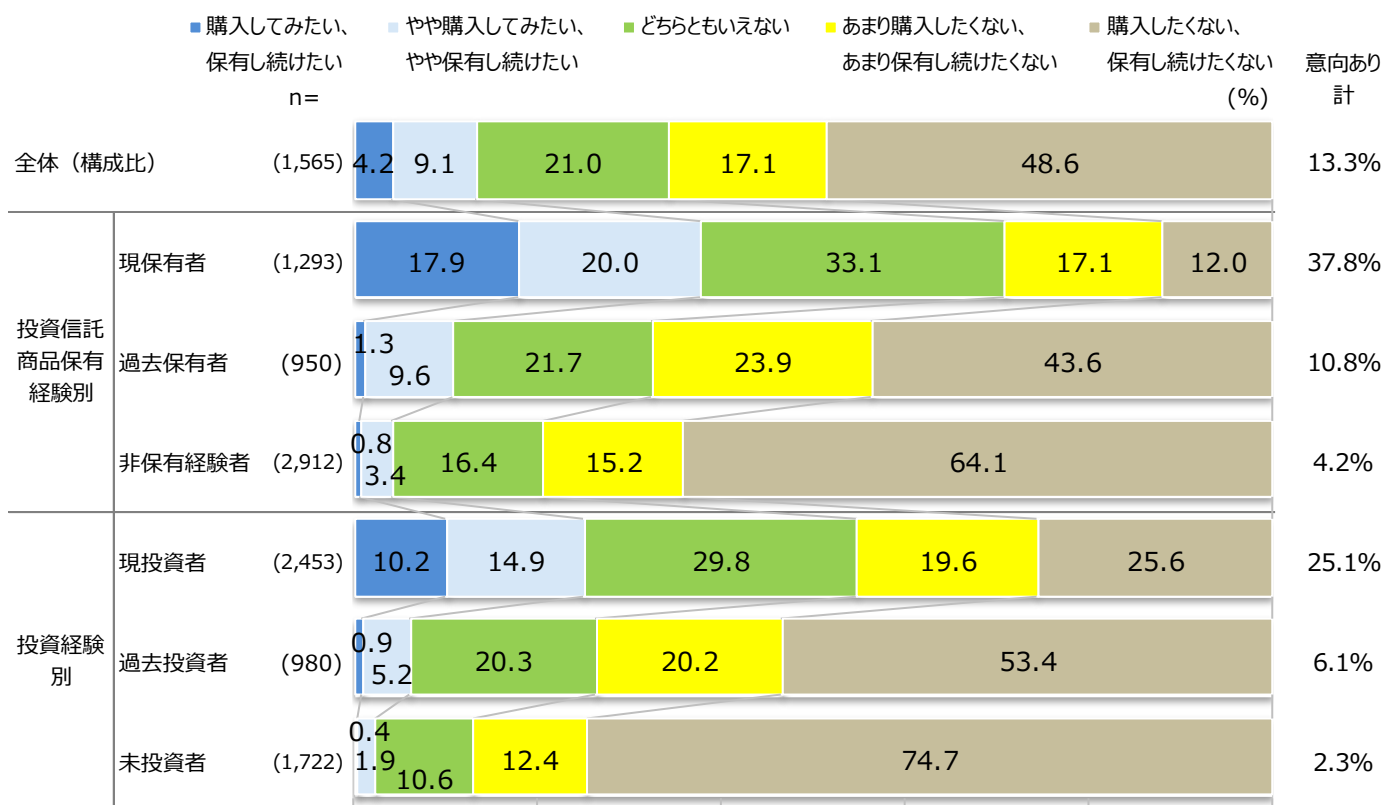
投資信託商品保有経験別でみると、現保有者では購入意向率は37.8%。

一方で非保有経験者では4.2%に留まる。

投資経験別でみると、現投資者では購入意向率は25.1%。一方で未投資者では2.3%。

投資信託自体や投資全般への関与で購入意向に差がある。

＜投資信託の購入意向＞【ベース：TOTAL】



※意向あり計：（「購入してみたい、保有し続けたい」+「やや購入してみたい、やや保有し続けたい」）のスコア

2. 調査結果の要約

投資信託のイメージ

- 投資信託の良いイメージは「少額から投資ができる」こと。
悪いイメージは「損をしそう」「手数料がもったいない」が高い。
- 新規保持意向者は、悪いイメージにおいて「損をしそう」「理解するのが難しそう」が他の層より高い。現在投資信託を保有していない層なので、投資信託への理解を助け心理的なハードルを下げることが、保持意向から実際の購入へ至る一助となる可能性も考えられる。
- 投資信託購入意向なし層では良いイメージ悪いイメージとも「特にない」が高く、理解不足の解消が購入意向率上昇につながる可能性がある。

＜投資信託の良いイメージ＞【ベース：TOTAL】

		n=	少額から投資ができる	分散投資ができる	長期の資産形成に向いている	非課税制度が利用できる	積み立てで購入することができる	投資や資産運用の初心者向け	値上がりの期待がもてる	プロが運用するので安心	値下がりの不安が少ない	海外投資が気軽にできる	その他	特にない
全体（構成比）		(1,565)	25.7	18.2	17.6	16.5	13.5	12.6	11.4	9.8	7.8	5.0	0.5	45.2
投資信託購入意向別	継続保持意向者	(489)	44.8	52.8	40.7	38.4	20.2	26.8	33.5	23.3	14.1	14.1	0.4	1.4
	新規保持意向者	(226)	56.2	35.8	31.9	34.1	36.3	31.0	25.2	23.5	13.3	12.4	0.4	8.8
	意向なし	(3,328)	18.1	11.4	10.7	11.3	8.8	8.3	6.6	5.2	4.4	2.3	1.2	58.7

※「全体（構成比）」スコアで降順ソート

＜投資信託の悪いイメージ＞【ベース：TOTAL】

		n=	損をしそうで怖い	手数料がもったいない	値上がりの期待が持てない	理解するのが難しそう	投資信託を買うよりも自分で株などを運用した方が良い	その他	特にない
全体（構成比）		(1,565)	32.9	29.5	19.7	19.2	13.5	0.8	31.3
投資信託購入意向別	継続保持意向者	(489)	31.3	46.4	24.5	21.3	12.3	1.6	15.5
	新規保持意向者	(226)	40.3	26.5	23.9	29.2	14.6	0.4	16.8
	意向なし	(3,328)	33.0	25.8	19.1	18.0	14.2	0.7	37.0

※「全体（構成比）」スコアで降順ソート

2. 調査結果の要約

投資信託購入時に欲しいサポート／投資信託購入時に気になること

- 投資信託購入時に欲しいサポートは、「商品内容や運用状況について分かりやすい資料」が最も高い。この傾向は、継続保持意向者と新規保持意向者で共通。
- 新規保持意向者では全体的にスコアが高く、前頁の「理解するのが難しそう」のイメージとのつながりも垣間見える。

＜投資信託購入時に欲しいサポート＞【ベース：TOTAL】

n=		投資信託の商品内容や運用状況について分かりやすい資料が欲しい	金融機関の担当者が分かりやすく説明して欲しい	フィナンシャルプランナーなど第三者の意見が欲しい	WEBサイトでの情報提供を充実させてほしい	セミナーや説明会を開催してほしい	その他	特にな
全体（構成比）	(1,565)	16.8	15.3	12.7	11.9	7.7	0.6	64.4
投資信託購入意向別								
継続保持意向者	(489)	48.9	36.2	28.2	31.1	19.2	0.2	14.3
新規保持意向者	(226)	54.0	34.5	33.6	41.2	27.0	0.4	8.0

※「全体（構成比）」スコアで降順ソート

- 投資信託購入時に最も気になることは「値下がりの不安の程度」。前頁の「損をしそう」というイメージを反映したような結果になっている。
- 継続保持意向者では「投資される銘柄・地域」「分配金の頻度・金額」への関心も高め。

＜投資信託購入時に最も気になること＞【ベース：TOTAL】

n=		値下がりの不安はどのくらいあるのか	購入時にかかる手数料	どのような銘柄・地域に投資されるのか	値上がりの期待はどのくらいあるのか	運用期間中のコスト	誰が運用するのか	分配金を受け取る頻度・1回あたりの金額	自分が購入できる最小金額はいくらなのか	その他	特にな
全体（構成比）	(1,565)	15.1	6.8	6.5	6.1	6.1	4.6	4.0	3.6	0.8	46.3
投資信託購入意向別											
継続保持意向者	(489)	23.5	10.0	16.4	12.9	11.5	3.9	13.1	3.1	0.6	5.1
新規保持意向者	(226)	26.1	8.8	9.3	9.3	12.4	11.5	8.0	11.5	-	3.1

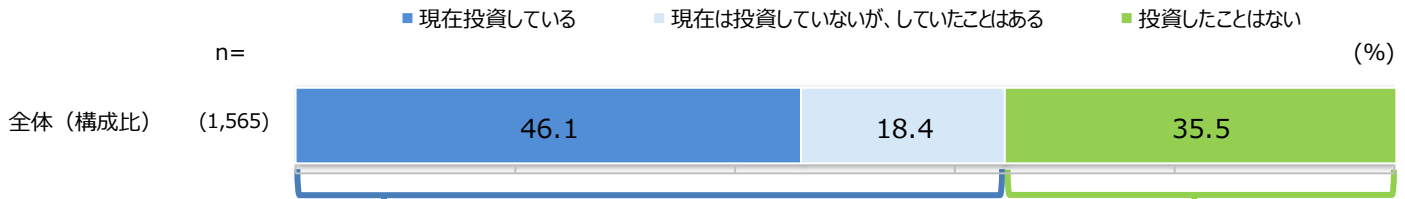
※「全体（構成比）」スコアで降順ソート

2. 調査結果の要約

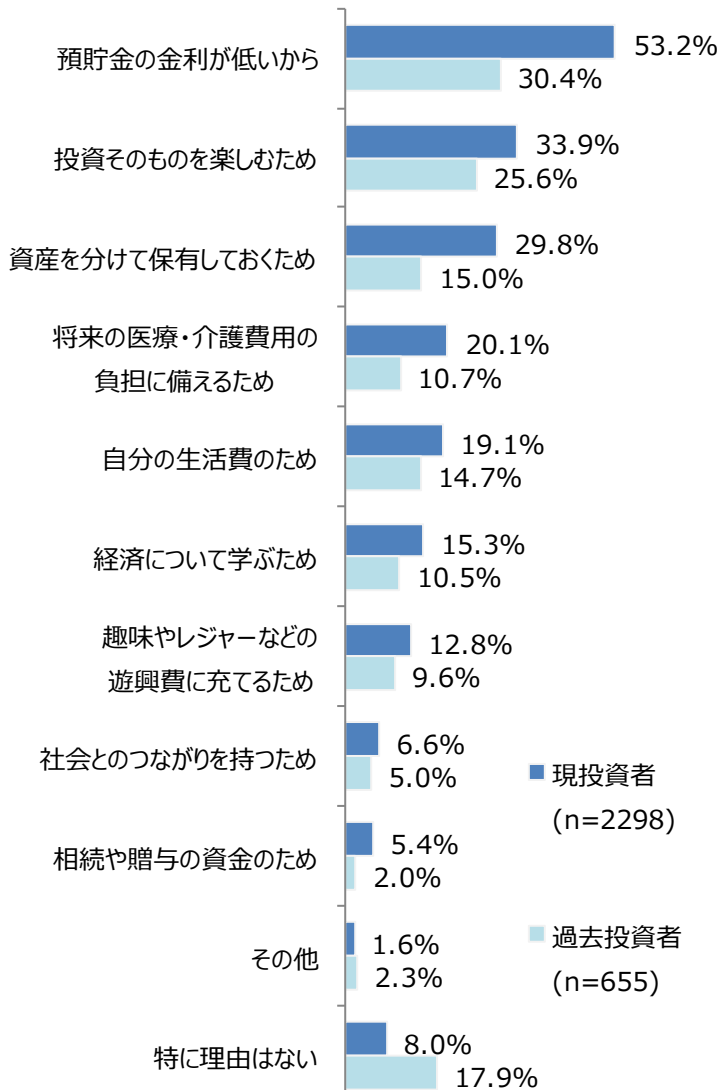
投資経験／投資理由／投資未経験理由

- 60代以上における現投資率は46.1%。
- 投資理由は「預貯金の金利が低いから」が最も高く、次いで「投資そのものを楽しむため」。
- 投資未経験理由は「投資の知識がないから」「そもそも投資に興味がないから」が目立つ。

＜投資経験＞【ベース：TOTAL】

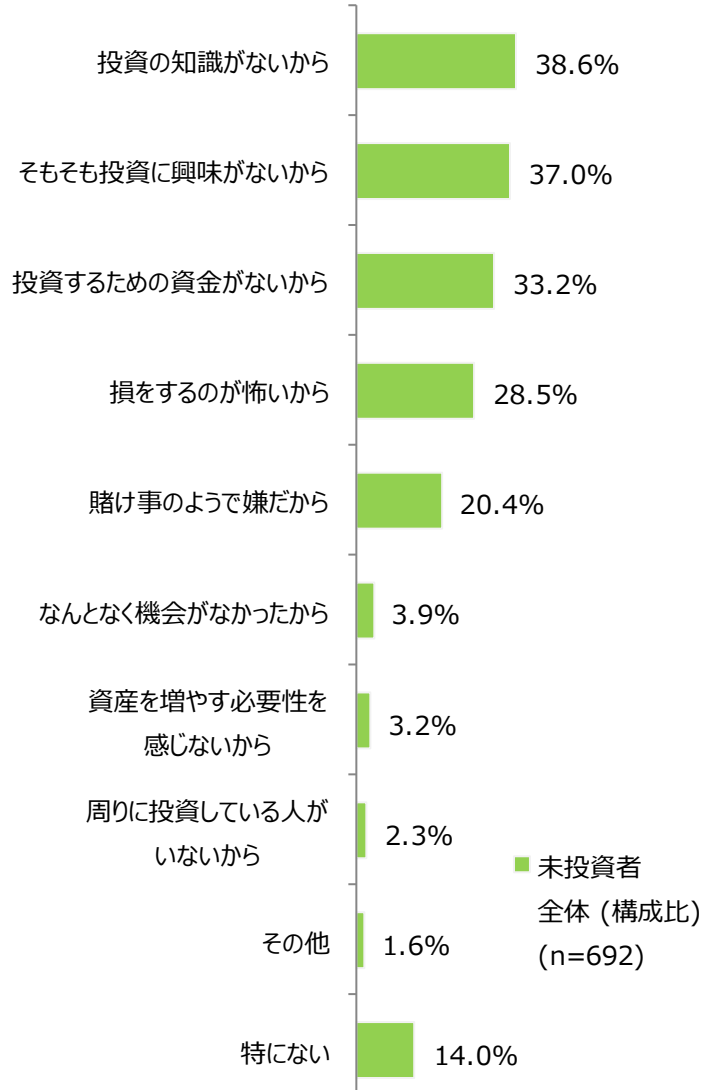


＜投資理由＞【ベース：投資経験者】



※「現投資者」スコアで降順ソート

＜投資未経験理由＞【ベース：未投資者】

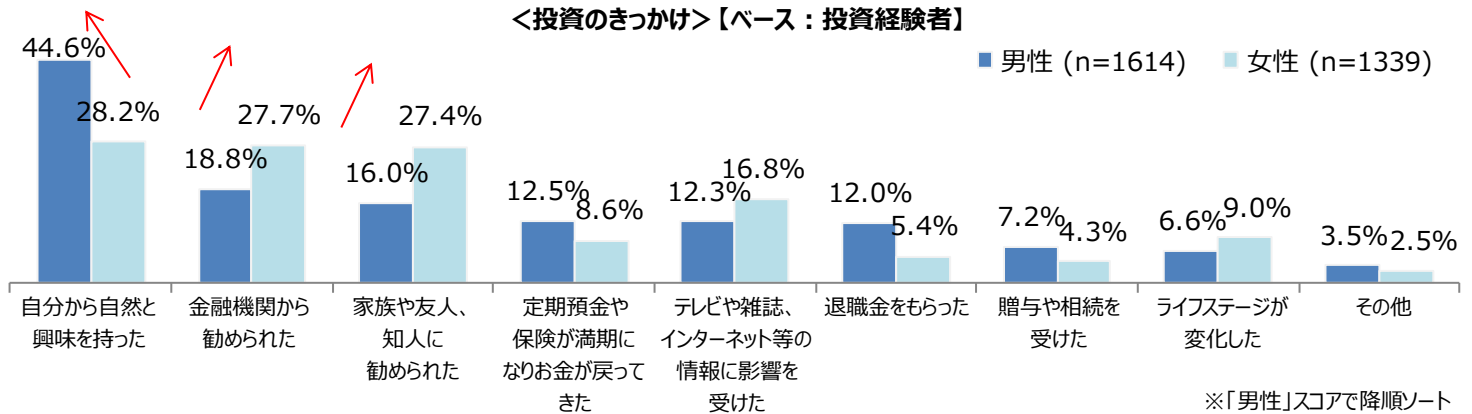


※「未投資者」スコアで降順ソート

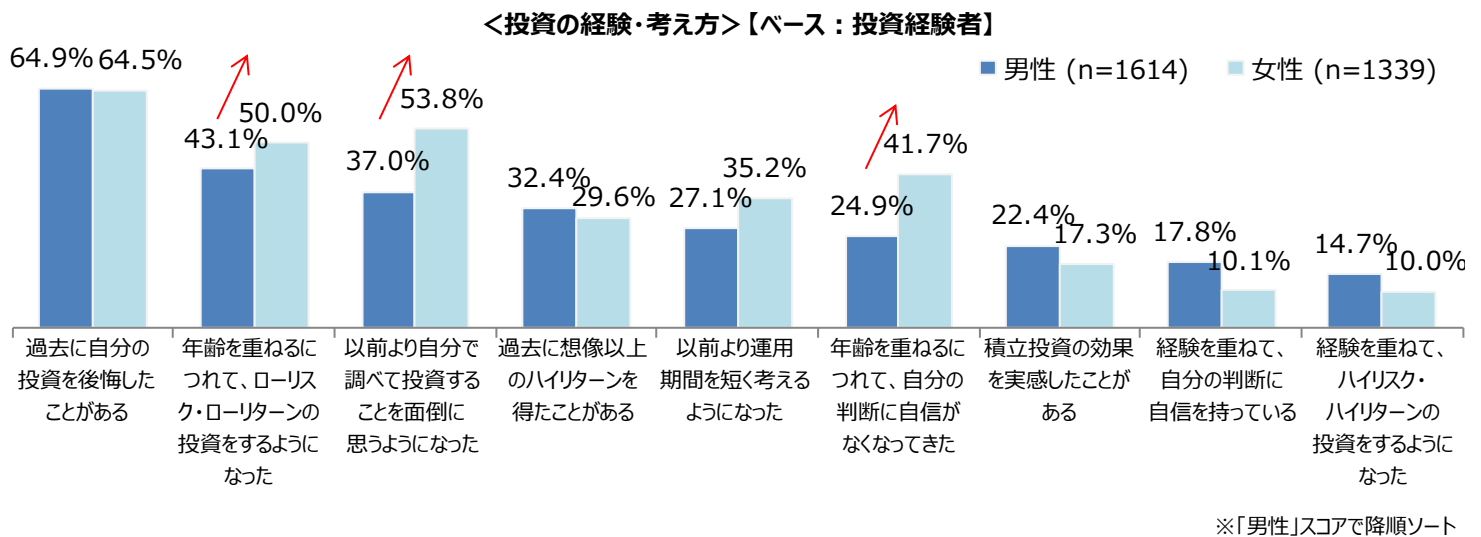
2. 調査結果の要約

投資のきっかけ／投資の経験・考え方

- 投資のきっかけは、男性では「自分から自然と興味を持った」が最も多い。
- 女性では「自分から自然と興味を持った」「金融機関から勧められた」「家族や友人、知人に勧められた」が同等に多く、他人からの勧めがきっかけとなった層も多い様子。



- 投資での経験は、男女問わず約 6 割半が「過去に自分の投資を後悔したことがある」という結果。また、過去の自分と比べ「ローリスク・ローリターンの投資をするようになった」「自分で調べて投資することを面倒に思うようになった」と感じている割合が高い。
- 女性では、男性よりもさらに「ローリスク・ローリターンの投資をするようになった」「自分で調べて投資することを面倒に思うようになった」割合が高く過半数を超える他、「自分の判断に自信がなくなってきた」割合も高い。意欲・自信ともに以前より低下し、投資に対し保守的になっている可能性も考えられる。



2. 調査結果の要約

利用を検討してもよい金融商品／信頼できる資産運用の情報源

- 60代以上における投資信託の利用検討意向率(投資信託説明前)は17.3%。
女性より男性で高い。
- 男性では女性より「株式」「外貨建て商品」「不動産投信」の利用検討意向も高い。
反対に女性では男性より「預貯金」の利用検討意向が高い。

＜利用を検討してもよい金融商品＞【ベース：TOTAL】

n=		預貯金	株式	投資信託	保険	債券	外貨建て商品	不動産投信	その他の金融商品	金融商品は利用を検討しない
全体 (構成比)	(1,565)	46.5	30.4	17.3	11.2	8.2	7.9	4.8	0.5	35.2
性別	男性 (2,503)	43.6	43.0	22.1	11.3	8.8	10.2	5.9	0.8	30.8
	女性 (2,652)	47.9	23.5	15.7	12.6	8.1	7.3	3.9	0.6	36.4

※「全体 (構成比)」スコアで降順ソート

- 信頼できる資産運用の情報源としては、「新聞」が最も高く次いで「テレビ番組」と、マスメディアが上位に挙がる結果となった。なお、「特にない・わからない」との回答も4割あり、参考にできる情報源がないと感じている層も一定数存在する様子。
- 投資信託購入意向者のうち継続保持意向者は「新聞」「金融機関の担当者」「金融機関の資料」も信頼できる情報源だと感じている。対して新規保持意向者では「新聞」「テレビ番組」「情報サイト」が上位に挙がる。

＜信頼できる資産運用の情報源＞【ベース：TOTAL】

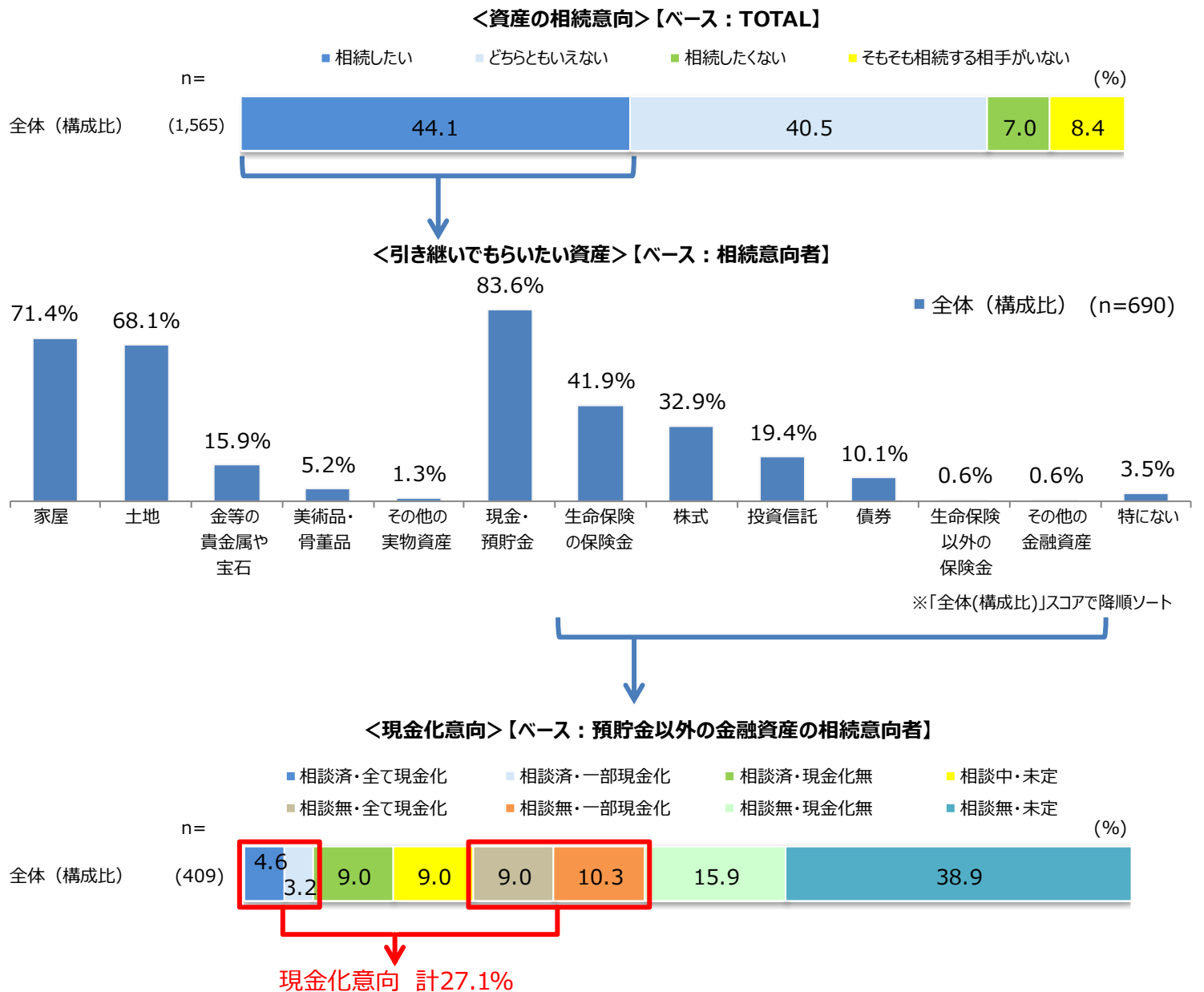
n=		新聞	テレビ番組	金融機関の担当者	金融機関の資料	親族や知人、友人の話	情報サイト	ネットの情報	関する商品や資産運用に	ベジタブルや刊行物のホームページ	公的機関などホームページ	社会商品の販売して	投資商品のホームページ	雑誌	評価機関	投資商品のホームページ	その他	特にない・わからない
全体 (構成比)	(1,565)	32.7	21.9	14.6	13.0	12.5	12.3	10.7	9.5	8.8	7.6	7.4	4.3	3.1	0.8	40.5		
性別	男性 (2,503)	38.4	21.8	13.0	14.4	6.8	14.8	13.5	10.0	10.0	9.7	8.9	6.6	4.0	0.9	37.3		
	女性 (2,652)	29.6	21.5	16.9	12.0	16.1	8.2	8.5	8.3	7.8	8.1	6.4	3.9	3.2	0.6	42.0		
投資信託購入意向別	継続保持意向者 (489)	56.0	28.4	41.1	30.9	12.7	22.5	21.3	20.9	13.1	25.8	15.7	12.9	13.7	0.8	11.2		
	新規保持意向者 (226)	49.6	37.2	20.8	25.2	14.2	28.3	20.4	22.6	19.9	19.0	20.4	11.9	6.6	0.9	11.1		

※「全体 (構成比)」スコアで降順ソート

2. 調査結果の要約

資産の相続意向／引き継いでもらいたい資産／現金化意向

- 60代以上における自身の資産の相続意向は44.1%。
「どちらともいえない」が40.5%と、相続意向者と同程度存在する。
- 相続意向者において、引き継いでもらいたい資産は、「現金・預貯金」「家屋」「土地」が6割を超え高い。「生命保険の保険金」「株式」も3割を超える。
- 金融資産を引き継ぐにあたり、現金化の意向のある人は27.1%。
現金化について未定の割合が半数近く、最もボリュームのある層となっている。

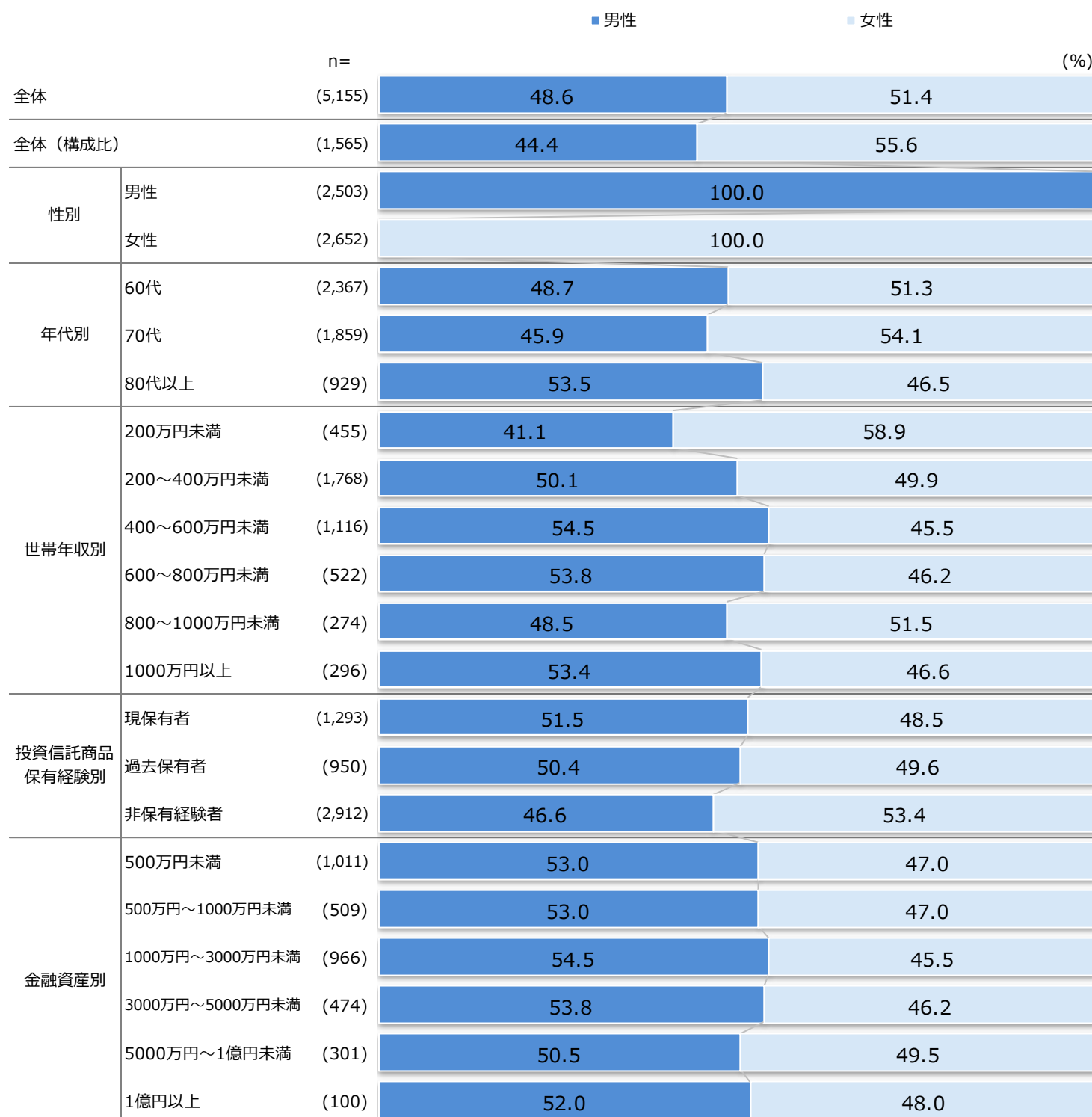


3. 回答者属性

3. 回答者属性

(1)性別

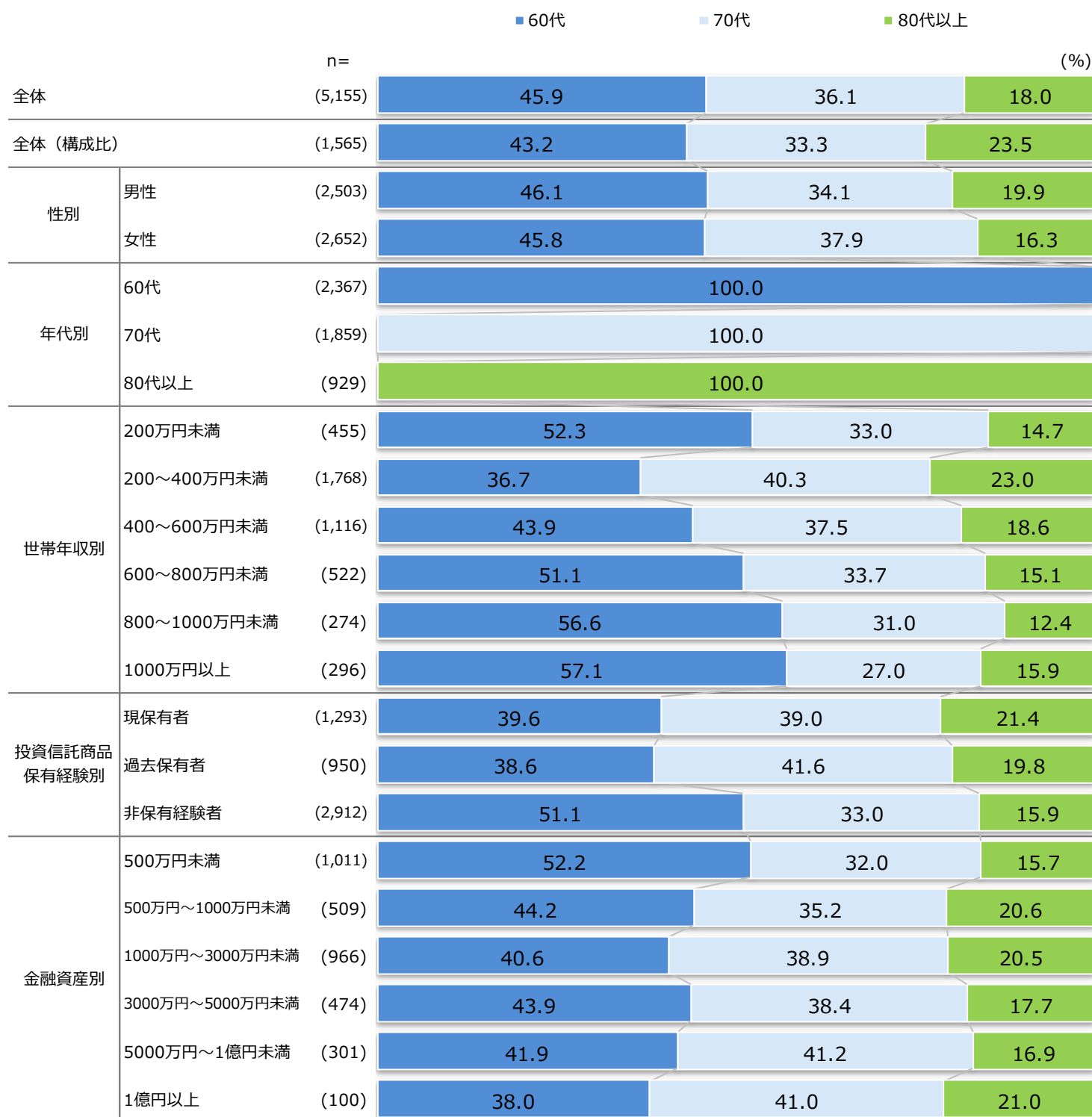
- 回答者の性別は、「男性」が48.6%、「女性」が51.4%。
- 投資信託現保有者の性別構成比は、「男性」が51.5%、「女性」が48.5%である。



3. 回答者属性

(2)年代別

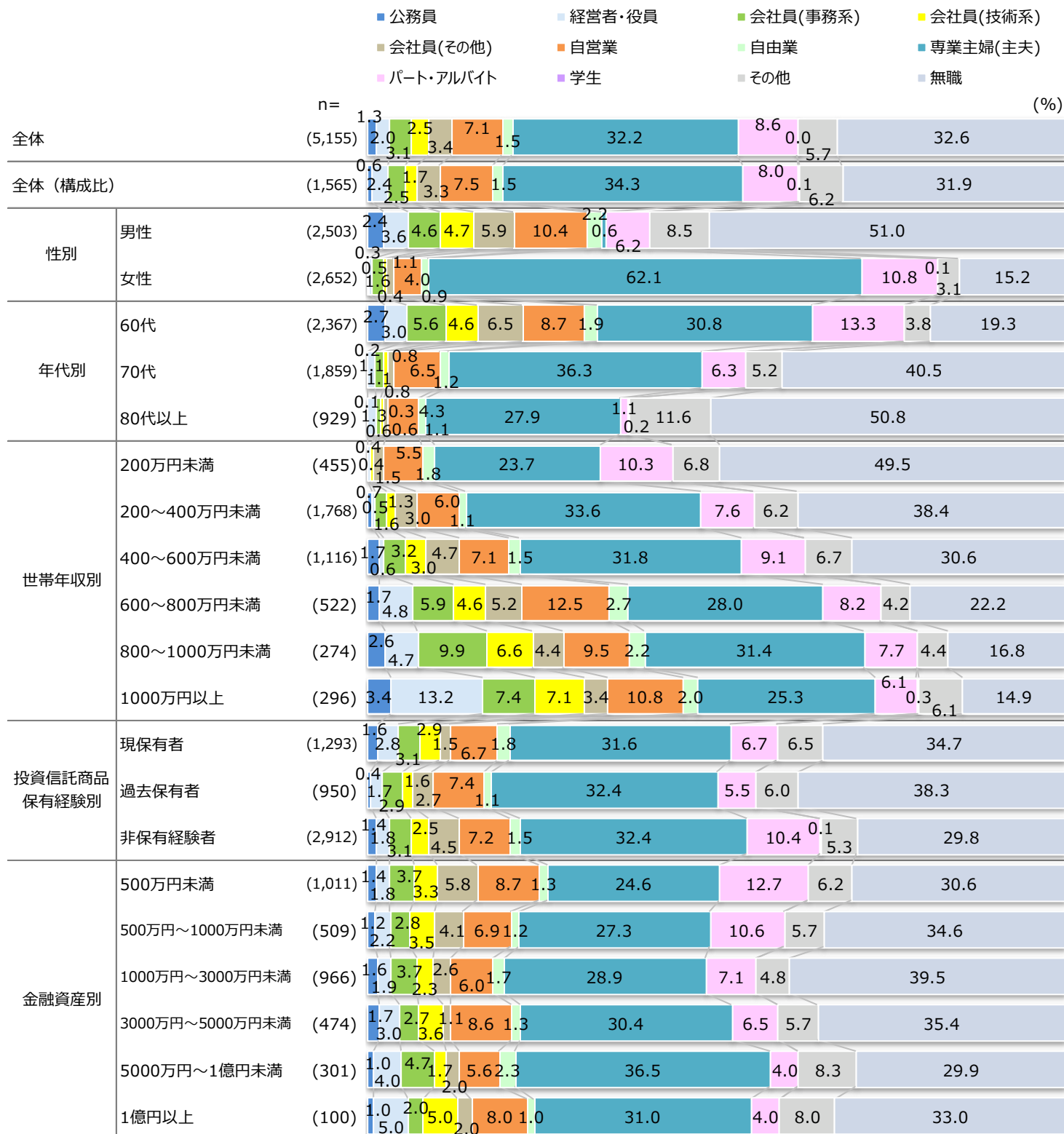
- 回答者の年代構成は、「60代」が45.9%、「70代」が36.1%、「80代以上」が18.0%。
- 投資信託現保有者の年代構成比は、「60代」が39.6%、「70代」が39.0%、「80代以上」が21.4%である。



3. 回答者属性

(3)職業

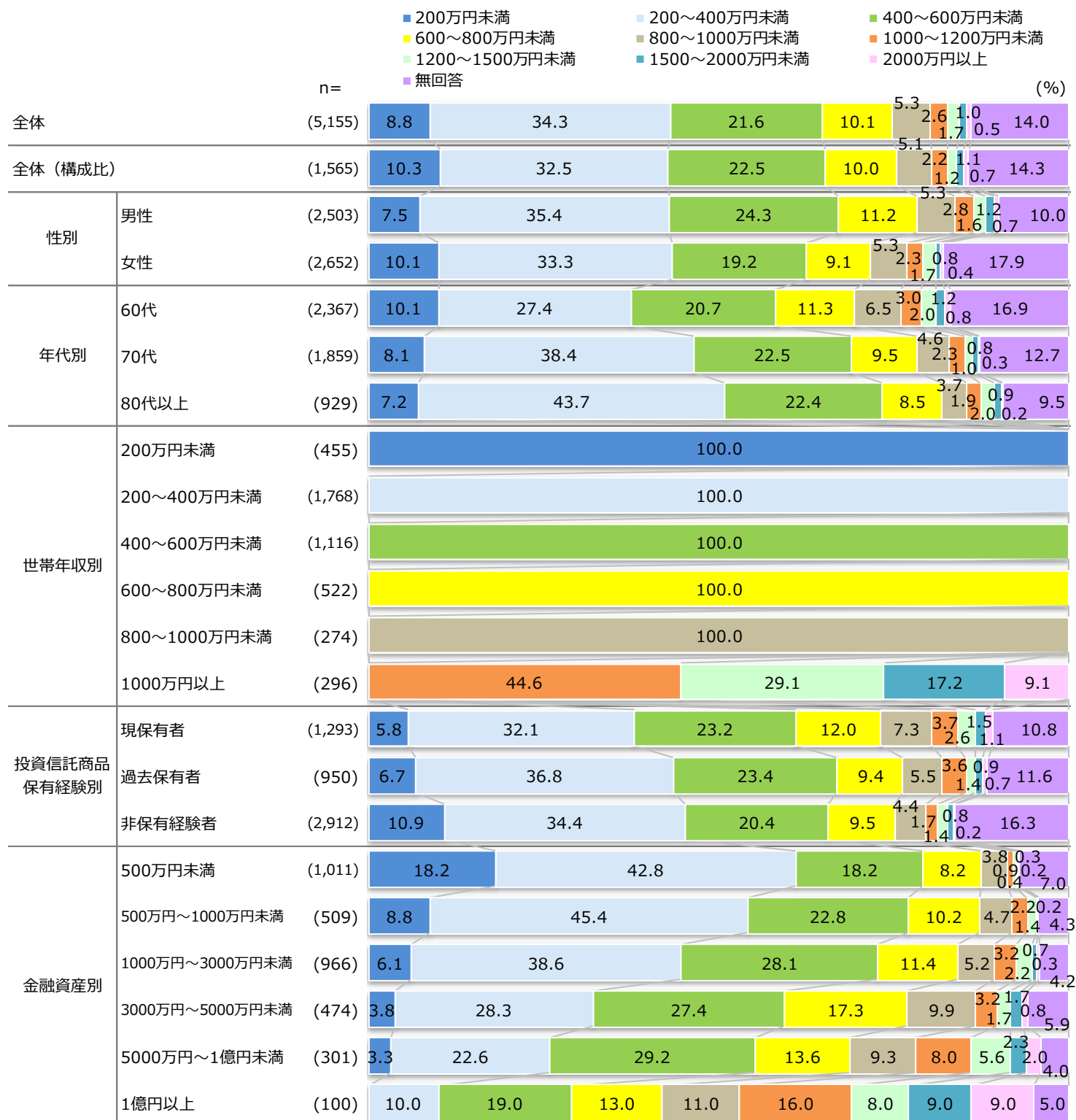
- 回答者の職業は、「専業主婦(主夫)」(32.2%)と「無職」(32.6%)が多い。性別で見ると、男性では「無職」、女性では「専業主婦」が多い。
- 世帯年収別で見ると、高収入層ほど有職者の割合が高い。
- 投資信託現保有者の職業構成比は、回答者全体の傾向とあまり差はない。



3. 回答者属性

(4)世帯年収

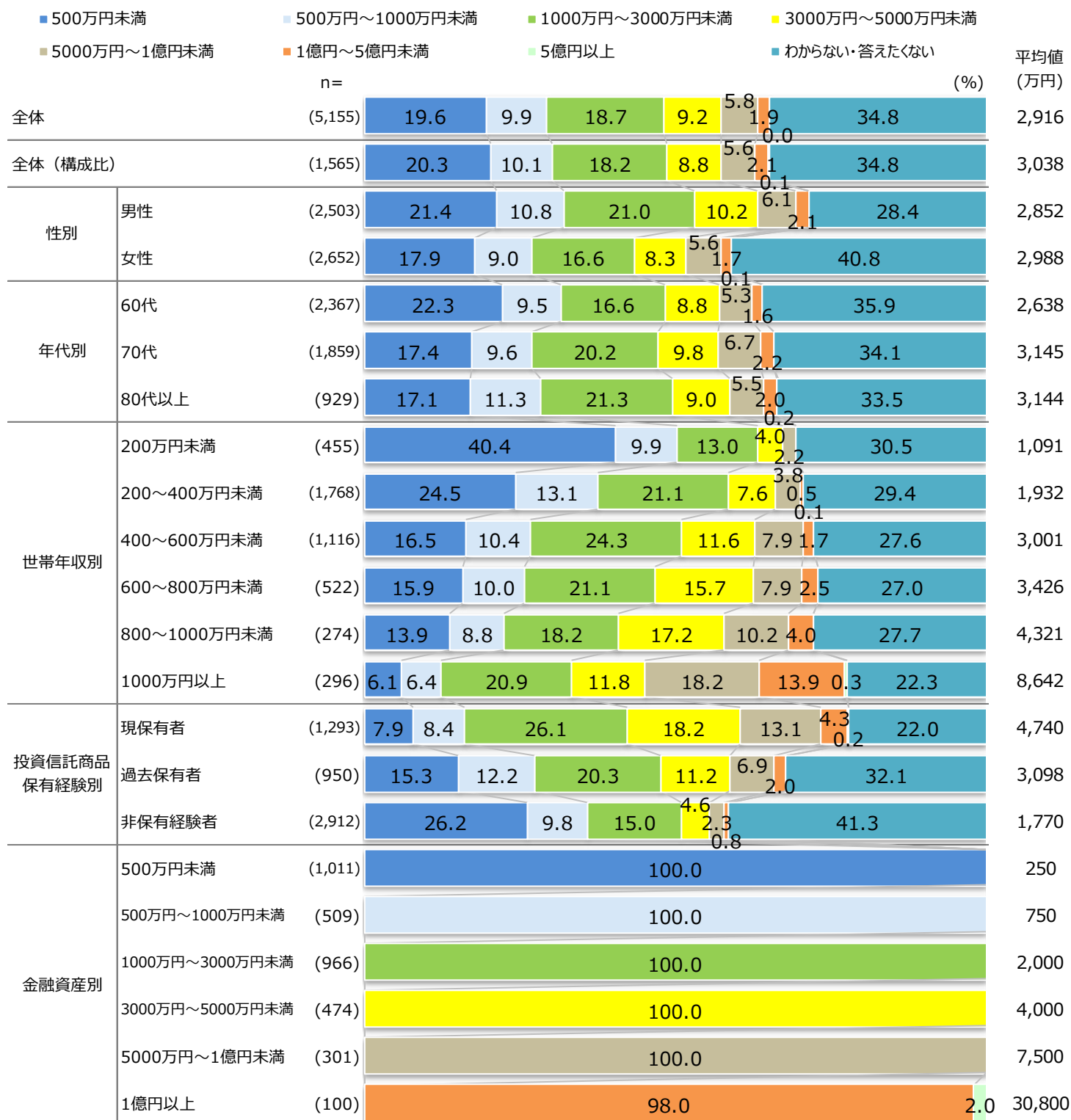
- 回答者の世帯年収は、「200～400万円未満」(34.3%)が最も多く、次いで「400～600万円未満」(21.6%)。200～600万円未満が過半数を占める。
- 投資信託現保有者でも、200～600万円未満が過半数であることは変わらない。ただし、600万円以上の比率が回答者全体よりやや高い。



3. 回答者属性

(5)金融資産〔Q3:単一回答〕

- 回答者の金融資産は、「500万円未満」(19.6%)が最も多い。平均値は2,916万円。
- 投資信託現保有者では、「1000万円～3000万円未満」(26.1%)が最も多く、平均値は4,740万円。



※ 平均値は「わからない・答えたくない」を除いて算出。算出にあたってのウエイト値は以下の通り

500万円未満：250万円 / 500万円～1000万円未満：750万円 / 1000万円～3000万円未満：2000万円 / 3000万円～5000万円未満：4000万円
5000万円～1億円未満：7500万円 / 1億円～5億円未満：3億円 / 5億円以上：7億円

3. 回答者属性

(6) 家族構成(同居不問)〔Q1:複数回答〕

- 回答者の家族構成は、「配偶者」(75.3%)、「子」(61.4%)、「孫」(30.7%)、「兄弟姉妹」(29.1%)。家族の「いない」人は6.5%。
- 投資信託現保有者でも、傾向はほとんど変わらない。

		n=	(%)						
			配偶者	親 (義理の親を 含む)	子	兄弟姉妹	孫	その他	いない
全体		(5,155)	75.3	17.6	61.4	29.1	30.7	2.0	6.5
全体 (構成比)		(1,565)	71.5	17.2	60.3	28.4	30.4	1.8	7.8
性別	男性	(2,503)	84.3	19.4	61.6	30.6	31.1	2.0	5.6
	女性	(2,652)	66.8	16.0	61.1	27.8	30.4	2.0	7.3
年代別	60代	(2,367)	77.0	28.2	59.8	30.5	23.3	1.4	6.6
	70代	(1,859)	77.8	9.7	63.9	30.1	37.9	2.2	6.1
	80代以上	(929)	65.8	6.4	60.2	23.6	35.2	3.0	7.0
世帯年収別	200万円未満	(455)	36.9	13.6	46.6	31.6	26.2	1.3	24.6
	200~400万円未満	(1,768)	74.0	15.0	55.3	30.5	33.1	1.2	7.6
	400~600万円未満	(1,116)	85.0	17.1	61.2	28.7	29.7	1.3	2.6
	600~800万円未満	(522)	83.1	21.1	71.8	28.7	31.0	3.1	1.0
	800~1000万円未満	(274)	87.6	25.9	77.0	24.5	28.5	4.0	1.1
	1000万円以上	(296)	85.1	26.4	78.4	29.4	35.1	5.1	1.4
投資信託商品 保有経験別	現保有者	(1,293)	75.6	17.2	61.0	28.7	32.3	2.0	6.5
	過去保有者	(950)	76.5	15.7	60.9	29.2	31.4	2.8	6.2
	非保有経験者	(2,912)	74.7	18.4	61.6	29.3	29.8	1.7	6.6
金融資産別	500万円未満	(1,011)	65.2	18.1	59.4	27.2	25.0	2.2	11.6
	500万円~1000万円未満	(509)	76.4	16.9	57.8	26.5	32.2	1.2	7.3
	1000万円~3000万円未満	(966)	80.1	16.5	63.7	33.2	35.0	2.1	4.3
	3000万円~5000万円未満	(474)	82.3	19.6	63.7	28.1	34.6	1.9	4.9
	5000万円~1億円未満	(301)	81.1	18.9	61.5	31.2	31.9	1.7	5.0
	1億円以上	(100)	79.0	21.0	58.0	33.0	29.0	3.0	8.0

4. 投資信託商品の保有状況

4. 投資信託商品の保有状況

(1)投資信託の保有・認知状況〔Q12S1:単一回答〕

- 投資信託の自購入現保有率は 23.3%、非自購入者も合わせると 24.2%が保有している。投資信託の認知率は 84.1%。
- 性別で見ると、女性より男性で現保有率、認知率ともが高い。
- 年代別で見ると、年代が上がるほど現保有率が高い。認知率は 70 代が最も高い。
- 世帯年収別で見ると、年収が上がるほど現保有率、認知率とも高い。



※現保有計：(「現保有(自購入)」+「現保有(非自購入)」) / 認知計：(「現保有(自購入)」+「非保有(認知未保有)」) のスコア

4. 投資信託商品の保有状況

(2-1)投資信託商品種別別 保有状況〔Q13:単一回答_保有計〕

- 種別では、60代以上の投資信託保有者の64.8%が「毎月分配型」、56.1%が「バランス型ファンド」を保有。これらが保有率上位2種である。
- 年代別で見ると、年代が上がるほど「毎月分配型」の保有率が高く、80代以上では72.2%。
- 世帯年収別で見ると、年収が上がるほど「毎月分配型」の保有率は下がり、「インデックス型」「テーマ型ファンド」「バランス型ファンド」の保有率が上がる傾向がある。

【投資信託保有者ベース】※保有計：（「持ち始めてから5年以上」～「保有期間不明」）のスコア

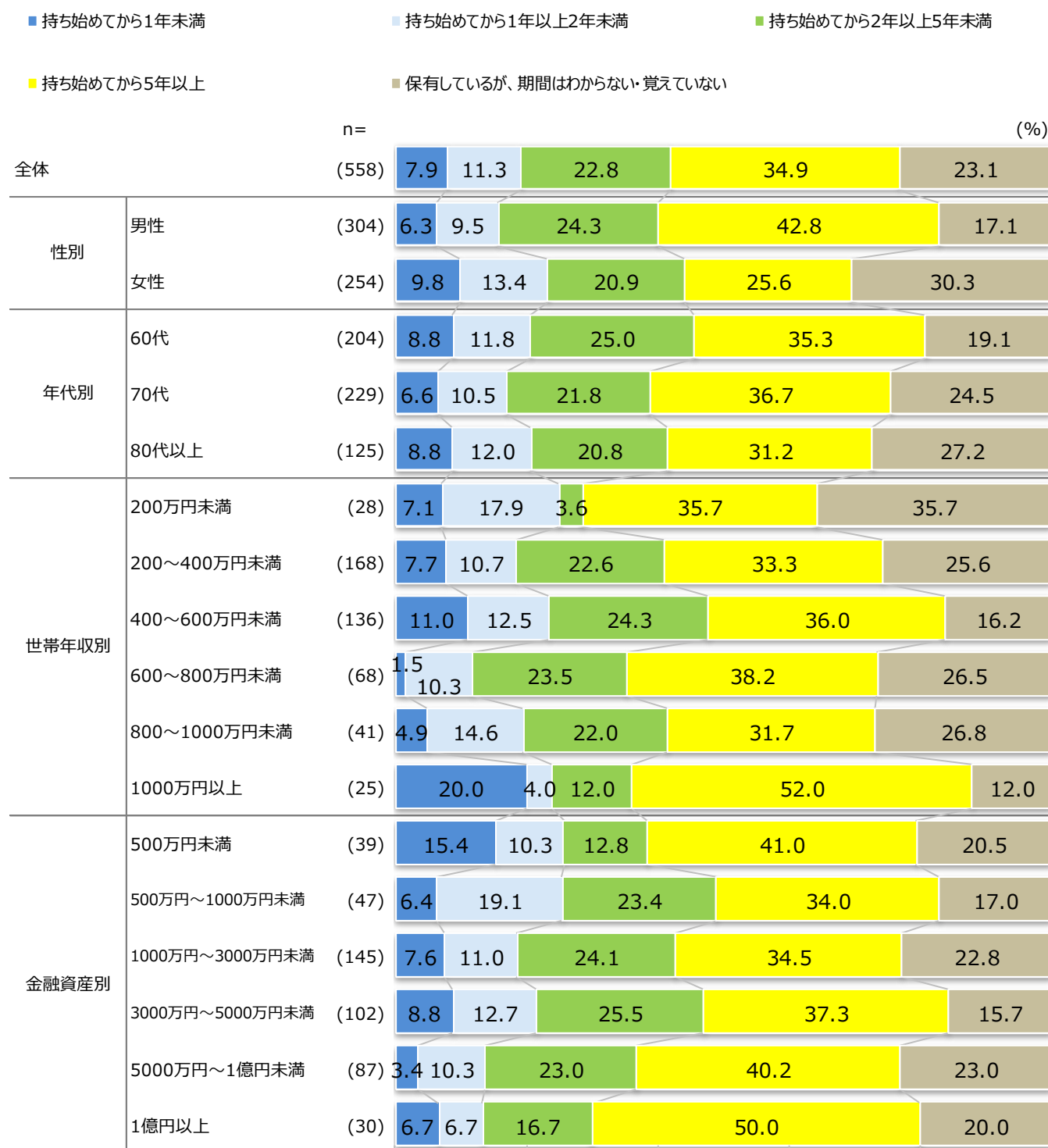
									(%)
		インデックス型	毎月分配型	テーマ型 ファンド	アクティブ型 ファンド	バランス型 ファンド	その他	種類の わからない もの	
n=									
全体（構成比）		(378)	41.5	64.8	32.8	26.2	56.1	18.5	15.3
性別	男性	(666)	45.6	60.5	33.3	25.4	53.3	16.7	12.9
	女性	(627)	40.5	69.9	34.3	21.9	59.2	16.6	16.1
年代別	60代	(512)	39.8	58.4	35.9	26.6	58.8	16.2	13.3
	70代	(504)	45.4	67.9	34.1	20.4	54.8	13.7	11.7
	80代以上	(277)	45.1	72.2	29.2	24.2	53.8	22.7	21.7
世帯年収別	200万円未満	(75)	37.3	72.0	28.0	22.7	46.7	12.0	18.7
	200～400万円未満	(415)	40.5	67.0	31.1	21.7	52.5	15.2	13.7
	400～600万円未満	(300)	45.3	65.7	32.7	24.0	58.3	16.3	14.3
	600～800万円未満	(155)	43.9	65.8	38.1	23.2	55.5	17.4	12.9
	800～1000万円未満	(94)	43.6	62.8	41.5	21.3	58.5	17.0	12.8
	1000万円以上	(114)	56.1	60.5	42.1	35.1	69.3	26.3	16.7
金融資産別	500万円未満	(102)	38.2	56.9	27.5	21.6	42.2	15.7	13.7
	500万円～1000万円未満	(108)	43.5	54.6	31.5	20.4	54.6	14.8	8.3
	1000万円～3000万円未満	(337)	43.0	68.0	30.3	25.2	50.7	12.8	12.8
	3000万円～5000万円未満	(235)	43.4	62.6	38.3	21.3	57.9	18.7	15.7
	5000万円～1億円未満	(169)	51.5	72.8	38.5	27.8	66.3	17.2	18.3
	1億円以上	(57)	52.6	73.7	50.9	38.6	80.7	31.6	21.1

4. 投資信託商品の保有状況

(2-2)投資信託商品種別 保有歴【インデックス型】〔Q13S1:単一回答〕

- インデックス型保有者における保有歴は、「持ち始めてから5年以上」(34.9%)が最も多い。次いで「持ち始めてから2年以上5年未満」(22.8%)が高い。保有期間を把握していない層も23.1%存在する。

【投資信託「インデックス型」保有者ベース】

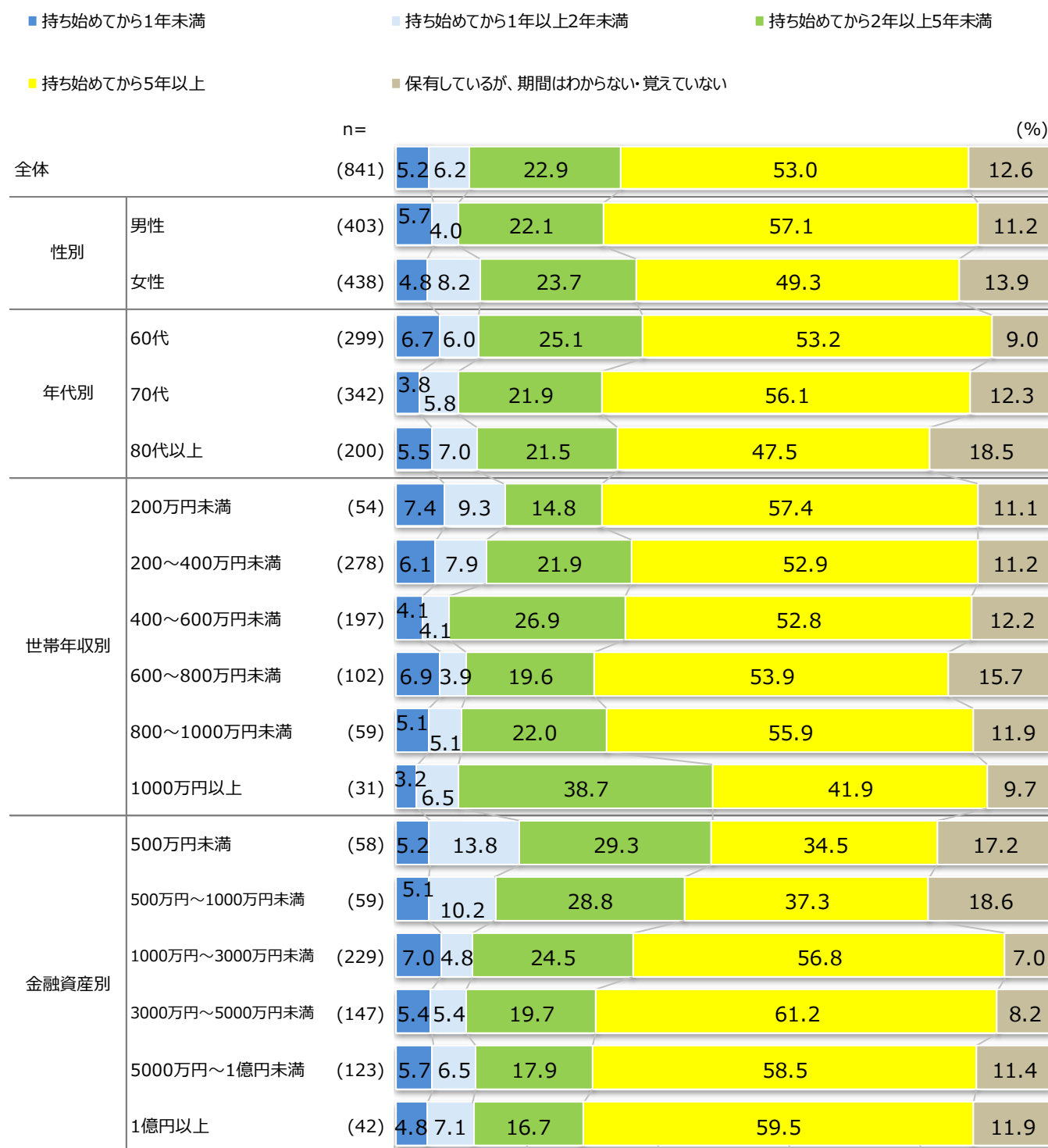


4. 投資信託商品の保有状況

(2-3)投資信託商品種別 保有歴【毎月分配型】〔Q13S2:単一回答〕

- 毎月分配型保有者における保有歴は、「持ち始めてから5年以上」(53.0%)が最も多い。

【投資信託「毎月分配型」保有者ベース】

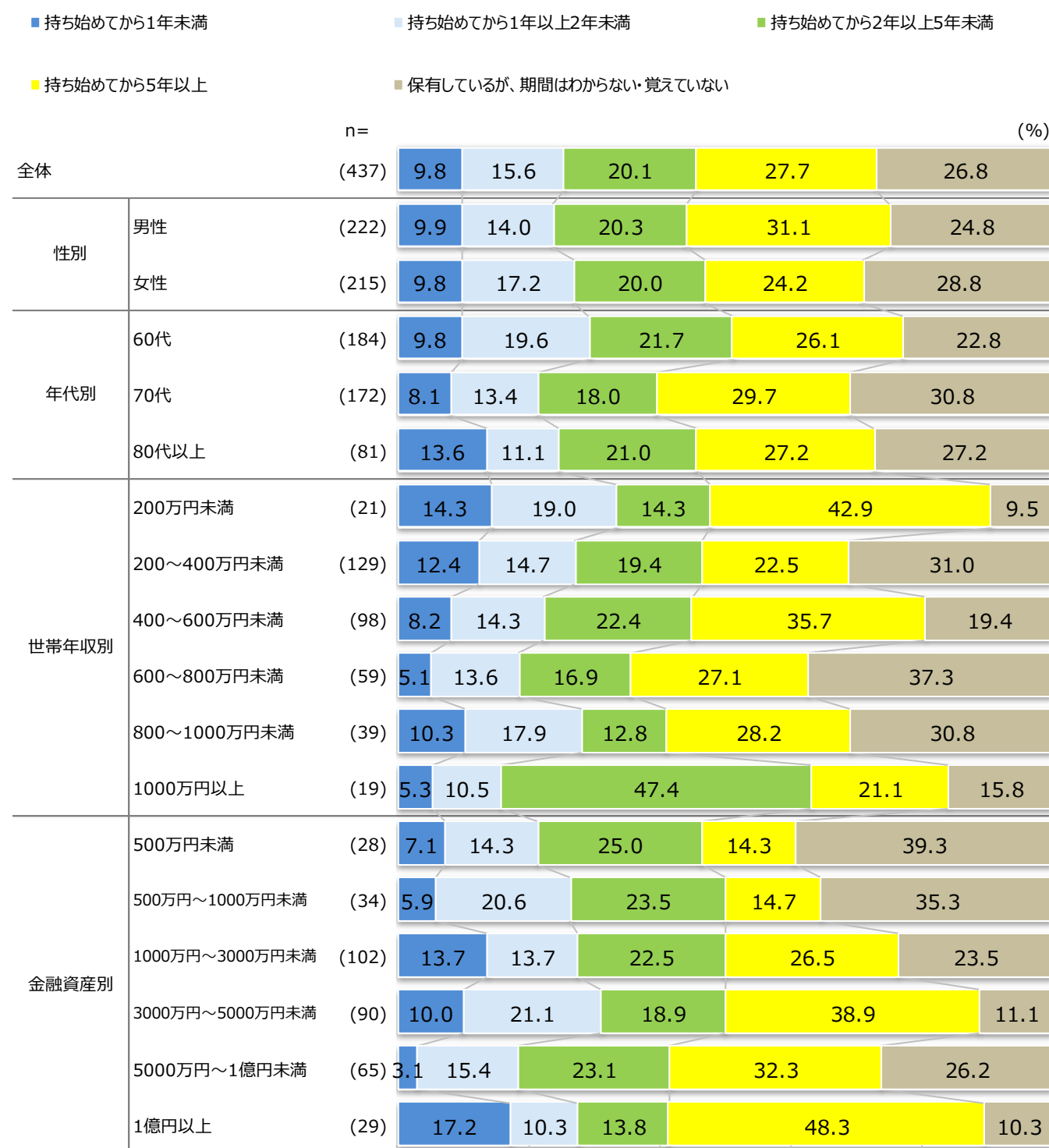


4. 投資信託商品の保有状況

(2-4)投資信託商品種別別 保有歴【テーマ型ファンド】〔Q13S3:単一回答〕

- テーマ型ファンド保有者における保有歴は、「持ち始めてから5年以上」(27.7%)が最も多い。次いで「持ち始めてから2年以上5年未満」(20.1%)が高い。
保有期間を把握していない層も26.8%存在する。

【投資信託「テーマ型ファンド」保有者ベース】

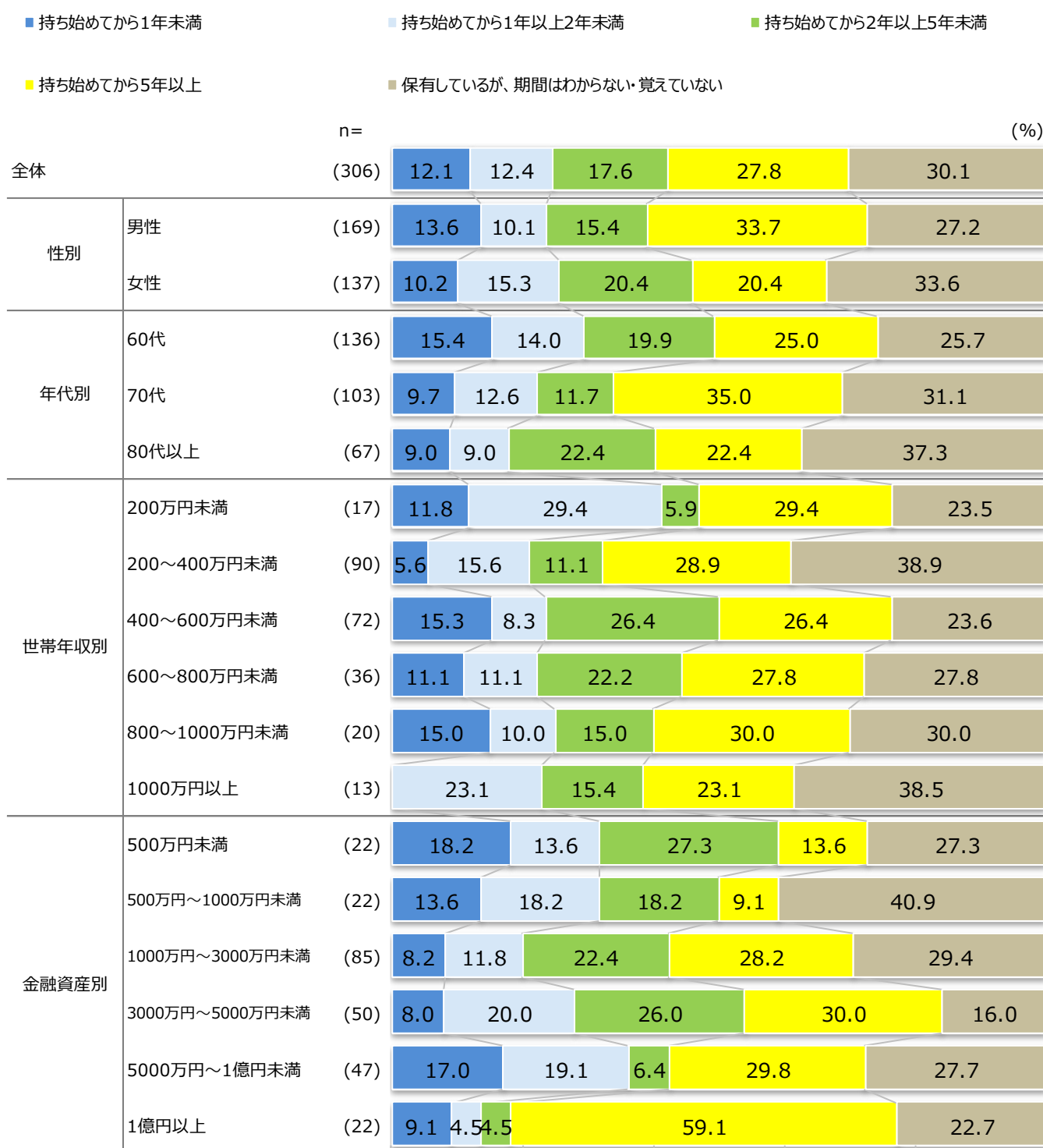


4. 投資信託商品の保有状況

(2-5)投資信託商品種別 保有歴【アクティブ型ファンド】〔Q13S4:単一回答〕

- アクティブ型ファンド保有者における保有歴は、「持ち始めてから5年以上」(27.8%)が最も多い。保有期間を把握していない層も30.1%存在する。

【投資信託「アクティブ型ファンド」保有者ベース】

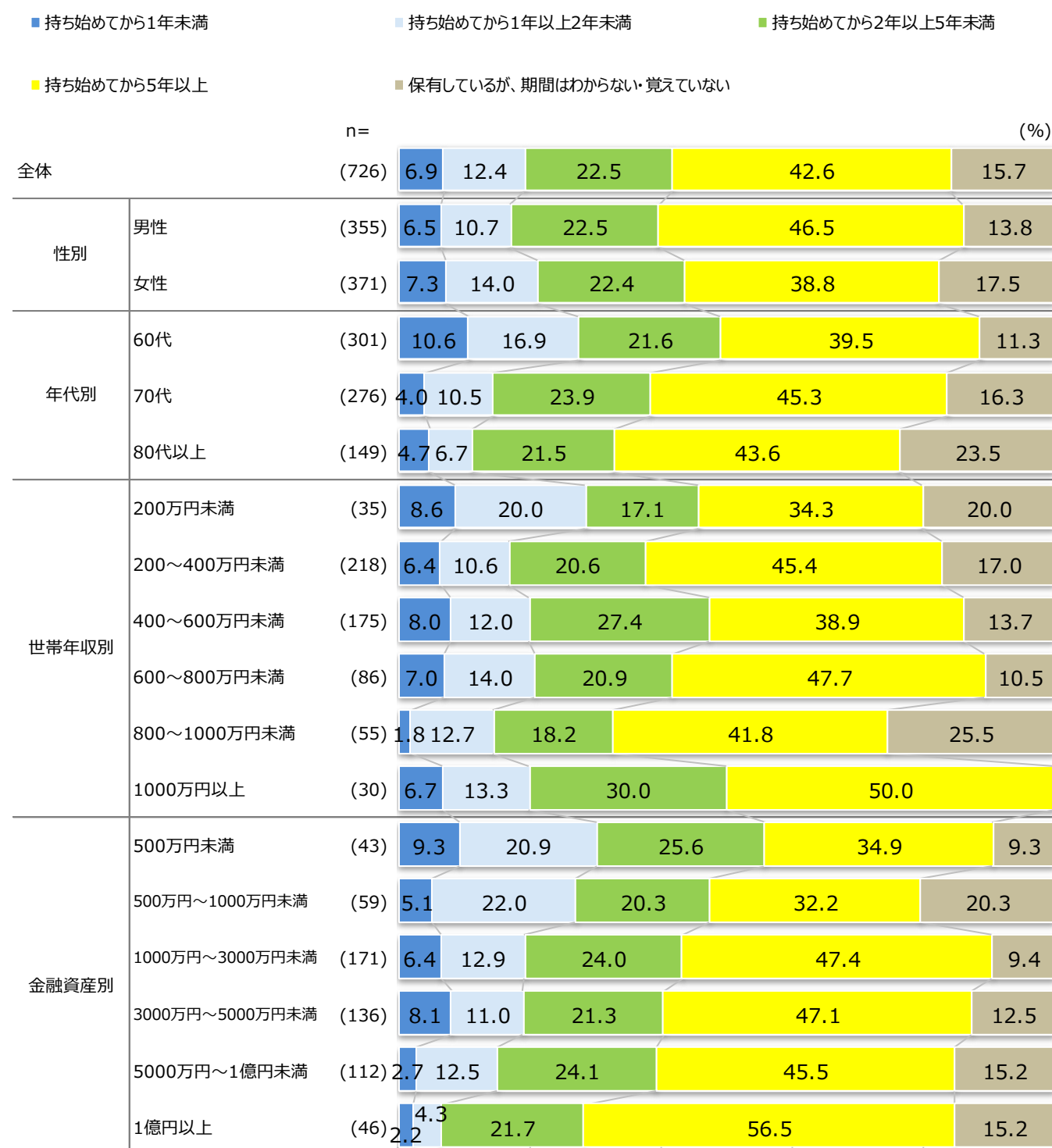


4. 投資信託商品の保有状況

(2-6)投資信託商品種別別 保有歴【バランス型ファンド】〔Q13S5:単一回答〕

- バランス型ファンド保有者における保有歴は、「持ち始めてから5年以上」(42.6%)が最も多い。次いで「持ち始めてから2年以上5年未満」(22.5%)が高い。保有期間を把握していない層も15.7%存在する。

【投資信託「バランス型ファンド」保有者ベース】



4. 投資信託商品の保有状況

(3-1)投資信託商品種別 保有理由【インデックス型】〔Q14S1:複数回答〕

- インデックス型の保有理由は、「預貯金の金利が低いから」(45.9%)が最も高く、次いで「資産を分けて保有しておくため」(32.3%)が高い。
- 性別で見ると、女性より男性で「資産を分けて保有しておくため」「投資そのものを楽しむため」が高い。

【投資信託「インデックス型」保有者ベース】

		n=	預貯金の金利が低いから	資産を分けて保有しておくため	相続や贈与の資金のため	自分の生活費のため	将来の医療・介護費用の負担に備えるため	趣味やレジャーなどの遊興費に充てるため	社会とのつながりを持つため	経済について学ぶため	投資そのものを楽しむため	その他	特に理由はない
全体		(558)	45.9	32.3	4.5	14.5	13.6	8.6	2.3	7.7	16.7	1.1	14.7
性別	男性	(304)	46.1	36.2	3.9	15.1	14.5	6.3	2.6	9.2	20.1	1.0	14.1
	女性	(254)	45.7	27.6	5.1	13.8	12.6	11.4	2.0	5.9	12.6	1.2	15.4
年代別	60代	(204)	48.0	36.8	4.9	16.7	15.2	8.3	0.5	9.3	15.2	1.0	10.3
	70代	(229)	45.4	30.6	2.2	14.4	10.0	9.6	1.7	5.2	17.0	1.3	16.6
	80代以上	(125)	43.2	28.0	8.0	11.2	17.6	7.2	6.4	9.6	18.4	0.8	18.4
世帯年収別	200万円未満	(28)	39.3	25.0	3.6	14.3	25.0	3.6	-	7.1	14.3	3.6	14.3
	200~400万円未満	(168)	45.2	24.4	4.8	15.5	13.7	8.3	3.6	10.7	14.3	0.6	16.7
	400~600万円未満	(136)	44.9	39.0	2.2	17.6	14.0	8.1	0.7	8.1	19.1	0.7	13.2
	600~800万円未満	(68)	39.7	39.7	2.9	10.3	10.3	8.8	2.9	8.8	22.1	1.5	16.2
	800~1000万円未満	(41)	63.4	31.7	4.9	4.9	17.1	14.6	-	-	19.5	-	12.2
	1000万円以上	(64)	48.4	34.4	9.4	14.1	12.5	7.8	6.3	4.7	14.1	3.1	7.8
金融資産別	500万円未満	(39)	33.3	12.8	2.6	10.3	15.4	10.3	5.1	15.4	25.6	2.6	17.9
	500万円~1000万円未満	(47)	46.8	21.3	10.6	17.0	10.6	4.3	2.1	8.5	23.4	-	10.6
	1000万円~3000万円未満	(145)	44.1	31.0	2.8	17.2	13.8	7.6	3.4	6.9	15.9	0.7	17.2
	3000万円~5000万円未満	(102)	46.1	44.1	4.9	13.7	8.8	12.7	1.0	6.9	14.7	1.0	9.8
	5000万円~1億円未満	(87)	48.3	44.8	5.7	12.6	25.3	6.9	1.1	6.9	11.5	2.3	12.6
	1億円以上	(30)	53.3	30.0	-	10.0	6.7	13.3	3.3	10.0	23.3	3.3	6.7

4. 投資信託商品の保有状況

(3-2)投資信託商品種別 保有理由【毎月分配型】〔Q14S2:複数回答〕

- 毎月分配型の保有理由は、「預貯金の金利が低いから」(50.1%)が最も高く、次いで「資産を分けて保有しておくため」(25.0%)、「自分の生活費のため」(22.8%)が高い。
- 性別で見ると、女性より男性で「資産を分けて保有しておくため」「投資そのものを楽しむため」が高く、男性より女性で「趣味やレジャーなどの遊興費に充てるため」が高い。

【投資信託「毎月分配型」保有者ベース】

		n=	預貯金の金利が低いから	資産を分けて保有しておくため	相続や贈与の資金のため	自分の生活費のため	将来の医療・介護費用の負担に備えるため	趣味やレジャーなどの遊興費に充てるため	社会とのつながりを持つため	経済について学ぶため	投資そのものを楽しむため	その他	特に理由はない
全体		(841)	50.1	25.0	3.3	22.8	11.2	13.3	2.5	3.1	15.2	1.0	11.4
性別	男性	(403)	50.6	31.3	2.5	23.1	12.4	9.4	2.2	3.5	20.3	1.0	9.9
	女性	(438)	49.5	19.2	4.1	22.6	10.0	16.9	2.7	2.7	10.5	0.9	12.8
年代別	60代	(299)	53.5	26.4	3.3	23.4	11.7	13.0	3.7	3.3	17.1	1.0	7.7
	70代	(342)	45.3	25.1	2.3	24.0	10.5	15.5	0.9	2.0	13.7	0.9	13.7
	80代以上	(200)	53.0	22.5	5.0	20.0	11.5	10.0	3.5	4.5	15.0	1.0	13.0
世帯年収別	200万円未満	(54)	50.0	27.8	-	35.2	16.7	9.3	-	1.9	7.4	-	9.3
	200～400万円未満	(278)	51.4	19.8	3.2	25.9	10.4	13.3	2.2	3.2	12.9	1.4	10.1
	400～600万円未満	(197)	51.8	26.9	3.6	23.4	15.2	11.7	2.0	3.0	15.2	0.5	9.6
	600～800万円未満	(102)	52.0	26.5	3.9	19.6	5.9	14.7	2.0	2.9	17.6	-	13.7
	800～1000万円未満	(59)	37.3	30.5	3.4	10.2	15.3	15.3	-	1.7	15.3	-	22.0
	1000万円以上	(69)	47.8	26.1	4.3	17.4	8.7	14.5	7.2	2.9	23.2	-	8.7
金融資産別	500万円未満	(58)	41.4	15.5	6.9	19.0	12.1	13.8	3.4	1.7	13.8	-	10.3
	500万円～1000万円未満	(59)	55.9	25.4	3.4	20.3	10.2	6.8	1.7	5.1	15.3	-	10.2
	1000万円～3000万円未満	(229)	51.5	23.6	1.7	28.4	13.5	10.9	0.9	0.9	13.1	0.4	9.6
	3000万円～5000万円未満	(147)	48.3	30.6	4.1	21.8	9.5	15.0	3.4	4.8	18.4	1.4	10.9
	5000万円～1億円未満	(123)	52.0	31.7	4.9	20.3	13.8	19.5	3.3	2.4	12.2	1.6	8.1
	1億円以上	(42)	47.6	26.2	4.8	16.7	11.9	9.5	2.4	4.8	26.2	-	14.3

4. 投資信託商品の保有状況

(3-3)投資信託商品種別別 保有理由【テーマ型ファンド】〔Q14S3:複数回答〕

- テーマ型ファンドの保有理由は、「預貯金の金利が低いから」(34.1%)が最も高く、次いで「資産を分けて保有しておくため」(30.2%)が高い。
- 性別でみると、女性より男性で「相続や贈与の資金のため」「投資そのものを楽しむため」が高い。

【投資信託「テーマ型ファンド」保有者ベース】

		n=	預貯金の金利が低いから	資産を分けて保有しておくため	相続や贈与の資金のため	自分の生活費のため	将来の医療・介護費用の負担に備えるため	趣味やレジャーなどの遊興費に充てるため	社会とのつながりを持つため	経済について学ぶため	投資そのものを楽しむため	その他	特に理由はない
全体		(437)	34.1	30.2	5.0	11.4	9.2	9.2	4.8	10.1	16.7	0.7	23.1
性別	男性	(222)	35.6	33.3	7.2	13.5	11.3	7.2	4.1	9.0	22.5	0.5	20.3
	女性	(215)	32.6	27.0	2.8	9.3	7.0	11.2	5.6	11.2	10.7	0.9	26.0
年代別	60代	(184)	38.0	31.0	5.4	13.6	10.3	10.9	3.3	10.9	16.3	0.5	20.7
	70代	(172)	32.6	30.8	5.2	9.3	7.0	8.1	3.5	9.3	18.0	1.2	22.7
	80代以上	(81)	28.4	27.2	3.7	11.1	11.1	7.4	11.1	9.9	14.8	-	29.6
世帯年収別	200万円未満	(21)	42.9	23.8	-	14.3	19.0	9.5	-	9.5	9.5	-	23.8
	200~400万円未満	(129)	31.8	23.3	3.1	15.5	8.5	10.1	2.3	10.1	15.5	0.8	26.4
	400~600万円未満	(98)	36.7	31.6	9.2	8.2	12.2	6.1	9.2	12.2	15.3	1.0	20.4
	600~800万円未満	(59)	28.8	30.5	1.7	6.8	5.1	13.6	6.8	10.2	22.0	1.7	23.7
	800~1000万円未満	(39)	35.9	33.3	5.1	10.3	10.3	12.8	-	7.7	20.5	-	23.1
	1000万円以上	(48)	37.5	41.7	8.3	14.6	8.3	4.2	8.3	14.6	25.0	-	8.3
金融資産別	500万円未満	(28)	17.9	14.3	3.6	14.3	10.7	10.7	7.1	17.9	10.7	-	25.0
	500万円~1000万円未満	(34)	35.3	17.6	2.9	14.7	2.9	8.8	5.9	5.9	11.8	-	35.3
	1000万円~3000万円未満	(102)	22.5	26.5	4.9	10.8	10.8	5.9	4.9	10.8	16.7	1.0	26.5
	3000万円~5000万円未満	(90)	38.9	38.9	4.4	11.1	8.9	14.4	5.6	13.3	17.8	-	16.7
	5000万円~1億円未満	(65)	52.3	44.6	9.2	15.4	13.8	7.7	6.2	9.2	15.4	1.5	9.2
	1億円以上	(29)	37.9	37.9	10.3	10.3	17.2	6.9	6.9	6.9	34.5	3.4	6.9

4. 投資信託商品の保有状況

(3-4)投資信託商品種別別 保有理由【アクティブ型ファンド】〔Q14S4:複数回答〕

- アクティブ型ファンドの保有理由は、「預貯金の金利が低いから」(36.9%)が最も高く、次いで「資産を分けて保有しておくため」(29.7%)、「投資そのものを楽しむため」(23.2%)が高い。
- 性別で見ると、女性より男性で「資産を分けて保有しておくため」が高い。

【投資信託「アクティブ型ファンド」保有者ベース】

		n=	預貯金の金利が低いから	資産を分けて保有しておくため	相続や贈与の資金のため	自分の生活費のため	将来の医療・介護費用の負担に備えるため	趣味やレジャーなどの遊興費に充てるため	社会とのつながりを持つため	経済について学ぶため	投資そのものを楽しむため	その他	特に理由はない
全体		(306)	36.9	29.7	5.6	9.8	14.7	9.2	3.9	10.1	23.2	1.3	16.3
性別	男性	(169)	39.6	34.9	6.5	10.7	16.0	7.1	2.4	8.3	23.7	1.2	14.2
	女性	(137)	33.6	23.4	4.4	8.8	13.1	11.7	5.8	12.4	22.6	1.5	19.0
年代別	60代	(136)	38.2	27.2	6.6	10.3	19.9	10.3	1.5	11.8	22.8	0.7	13.2
	70代	(103)	35.9	35.0	4.9	8.7	6.8	6.8	3.9	7.8	25.2	2.9	19.4
	80代以上	(67)	35.8	26.9	4.5	10.4	16.4	10.4	9.0	10.4	20.9	-	17.9
世帯年収別	200万円未満	(17)	41.2	23.5	-	5.9	11.8	-	-	-	-	-	29.4
	200~400万円未満	(90)	40.0	24.4	4.4	10.0	15.6	12.2	3.3	13.3	15.6	1.1	18.9
	400~600万円未満	(72)	36.1	31.9	2.8	16.7	11.1	5.6	6.9	15.3	25.0	-	13.9
	600~800万円未満	(36)	30.6	47.2	2.8	5.6	13.9	13.9	-	5.6	25.0	2.8	16.7
	800~1000万円未満	(20)	40.0	25.0	10.0	-	35.0	10.0	5.0	-	30.0	-	15.0
	1000万円以上	(40)	37.5	25.0	17.5	12.5	15.0	5.0	5.0	10.0	32.5	-	7.5
金融資産別	500万円未満	(22)	18.2	4.5	4.5	18.2	18.2	13.6	4.5	13.6	22.7	-	18.2
	500万円~1000万円未満	(22)	36.4	31.8	4.5	9.1	9.1	9.1	-	13.6	18.2	-	27.3
	1000万円~3000万円未満	(85)	34.1	29.4	2.4	9.4	14.1	7.1	2.4	8.2	22.4	1.2	18.8
	3000万円~5000万円未満	(50)	40.0	42.0	10.0	10.0	20.0	16.0	6.0	16.0	30.0	-	6.0
	5000万円~1億円未満	(47)	57.4	36.2	8.5	10.6	21.3	6.4	4.3	8.5	21.3	-	6.4
	1億円以上	(22)	40.9	31.8	9.1	13.6	9.1	9.1	4.5	-	31.8	4.5	4.5

4. 投資信託商品の保有状況

(3-5)投資信託商品種類別 保有理由【バランス型ファンド】〔Q14S5:複数回答〕

- バランス型ファンドの保有理由は、「預貯金の金利が低いから」(47.1%)が最も高く、次いで「資産を分けて保有しておくため」(36.6%)が高い。
- 性別で見ると、女性より男性で「資産を分けて保有しておくため」「投資そのものを楽しむため」が高く、男性より女性で「趣味やレジャーなどの遊興費に充てるため」が高い。

【投資信託「バランス型ファンド」保有者ベース】

		n=	預貯金の金利が低いから	資産を分けて保有しておくため	相続や贈与の資金のため	自分の生活費のため	将来の医療・介護費用の負担に備えるため	趣味やレジャーなどの遊興費に充てるため	社会とのつながりを持つため	経済について学ぶため	投資そのものを楽しむため	その他	特に理由はない
全体		(726)	47.1	36.6	3.6	14.5	12.9	7.7	2.9	5.1	13.2	0.7	11.7
性別	男性	(355)	43.9	43.1	3.1	16.6	13.8	5.1	3.9	5.4	16.1	0.8	11.0
	女性	(371)	50.1	30.5	4.0	12.4	12.1	10.2	1.9	4.9	10.5	0.5	12.4
年代別	60代	(301)	52.5	36.5	4.0	14.0	14.0	8.3	1.7	6.3	12.3	0.3	7.0
	70代	(276)	46.4	34.8	2.5	15.2	12.7	7.2	1.4	4.3	15.2	1.4	14.1
	80代以上	(149)	37.6	40.3	4.7	14.1	11.4	7.4	8.1	4.0	11.4	-	16.8
世帯年収別	200万円未満	(35)	54.3	31.4	-	20.0	20.0	5.7	-	-	2.9	-	8.6
	200~400万円未満	(218)	45.0	29.4	2.8	15.1	11.5	7.8	2.8	5.5	11.5	0.9	14.2
	400~600万円未満	(175)	48.6	36.6	4.0	14.9	14.3	5.7	4.6	5.1	14.3	0.6	12.0
	600~800万円未満	(86)	39.5	44.2	3.5	10.5	10.5	8.1	1.2	3.5	20.9	1.2	15.1
	800~1000万円未満	(55)	49.1	40.0	3.6	9.1	16.4	10.9	-	5.5	10.9	-	10.9
	1000万円以上	(79)	46.8	53.2	7.6	12.7	12.7	5.1	6.3	7.6	12.7	1.3	2.5
金融資産別	500万円未満	(43)	27.9	16.3	2.3	14.0	18.6	18.6	4.7	7.0	23.3	-	4.7
	500万円~1000万円未満	(59)	39.0	23.7	1.7	20.3	15.3	8.5	3.4	3.4	13.6	-	16.9
	1000万円~3000万円未満	(171)	49.7	35.7	0.6	17.0	11.1	5.8	3.5	5.8	11.7	-	10.5
	3000万円~5000万円未満	(136)	47.8	49.3	4.4	10.3	14.0	8.8	2.9	6.6	12.5	1.5	8.1
	5000万円~1億円未満	(112)	53.6	44.6	7.1	14.3	17.9	8.9	1.8	4.5	10.7	1.8	8.0
	1億円以上	(46)	43.5	47.8	6.5	4.3	8.7	4.3	4.3	4.3	23.9	2.2	10.9

4. 投資信託商品の保有状況

(4)投資信託の口座〔Q15:複数回答〕

- 投資信託保有者における投資信託の口座は、「通常の課税口座」(79.1%)が最も多く、次いで「NISA」(47.4%)が多い。
- 年代別で見ると、年代が上がるほど「通常の課税口座」が高く、「つみたてNISA」が低い。

【投資信託保有者ベース】

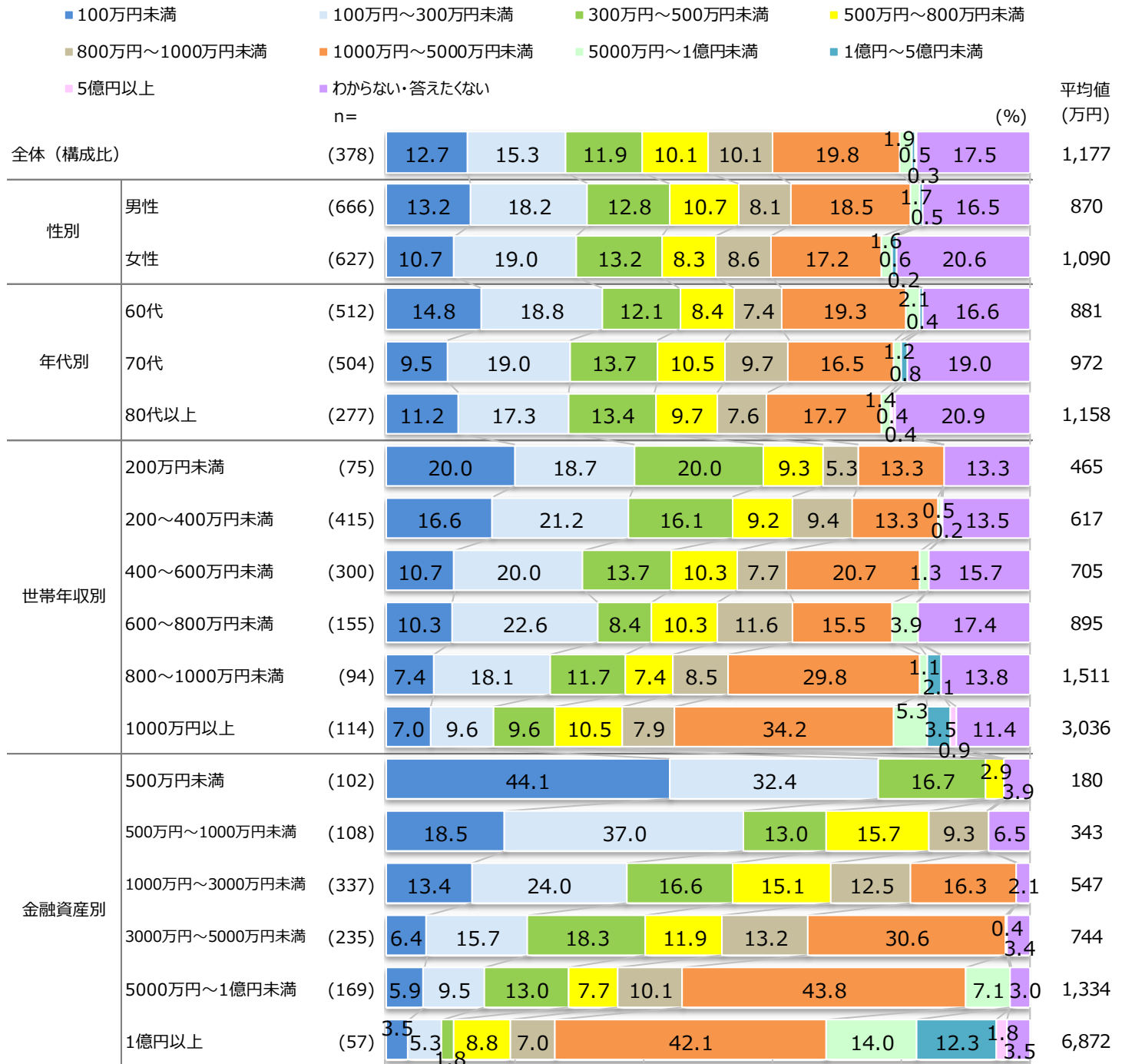
			(%)				
			通常の 課税口座	つみたてNISA	iDeCo	NISA	わからない ・覚えていない
n=							
全体（構成比）		(378)	79.1	11.6	1.1	47.4	5.0
性別	男性	(666)	82.6	7.8	1.4	50.0	4.8
	女性	(627)	75.0	13.6	1.0	47.7	6.2
年代別	60代	(512)	76.6	13.7	1.8	49.8	5.7
	70代	(504)	79.8	8.9	0.2	51.4	4.4
	80代以上	(277)	81.6	7.9	1.8	42.6	7.2
世帯年収別	200万円未満	(75)	72.0	10.7	2.7	42.7	6.7
	200～400万円未満	(415)	75.2	8.9	0.7	50.6	7.5
	400～600万円未満	(300)	81.3	8.0	0.3	50.3	4.3
	600～800万円未満	(155)	82.6	14.8	0.6	45.8	2.6
	800～1000万円未満	(94)	88.3	16.0	2.1	53.2	2.1
	1000万円以上	(114)	86.8	14.9	5.3	42.1	4.4
金融資産別	500万円未満	(102)	58.8	12.7	2.0	41.2	7.8
	500万円～1000万円未満	(108)	66.7	13.9	0.9	43.5	9.3
	1000万円～3000万円未満	(337)	81.3	10.1	0.9	51.3	4.5
	3000万円～5000万円未満	(235)	85.1	9.4	0.9	55.3	3.0
	5000万円～1億円未満	(169)	89.3	8.9	2.4	49.1	4.1
	1億円以上	(57)	93.0	7.0	3.5	45.6	3.5

4. 投資信託商品の保有状況

(5)保有投資信託 合計現在価値〔Q16:単一回答〕

- 投資信託保有者における投資信託の合計現在価値は、「1000万円～5000万円未満」(19.8%)、「100万円～300万円未満」(15.3%)が多い。平均値は1,177万円。
- 世帯年収別で見ると、世帯年収が高いほど投資信託の合計現在価格も高い。

【投資信託保有者ベース】



※ 平均値は「わからない・答えたくない」を除いて算出。算出にあたってのウエイト値は以下の通り

100万円未満：50万円 / 100万円～300万円未満：200万円 / 300万円～500万円未満：400万円 / 500万円～800万円未満：650万円

800万円～1000万円未満：900万円 / 1000万円～5000万円未満：1250万円 / 5000万円～1億円未満：7500万円 / 1億円～5億円未満：3億円

5億円以上：7億円

4. 投資信託商品の保有状況

(6-1)投資信託を選ぶ基準〔Q17S1:複数回答〕

- 投資信託保有者の投資信託を選ぶ基準は、「運用実績が良い」(41.8%)、「定期的な分配金がある」(34.9%)が高い。
- 女性では男性に比べ「金融機関の担当者が薦めている」「値下がりの不安が少ない」も高い。
- 年代別で見ると、60代では70代・80代以上より「運用実績が良い」「手数料が安い」が高く、70代・80代以上では60代より「金融機関の担当者が薦めている」が高い。

【投資信託保有者ベース】

		n=	運用実績 が良い	定期的な 分配金が ある	値上がり の期待が もてる	手数料が 安い	金融機関 の担当者が 薦めて いる	値下がり の不安が 少ない	運用資産 が多い	人気 がある	知人や 友人が 薦めて いる	その他	特 に ない
全体 (構成比)		(378)	41.8	34.9	30.4	28.0	28.0	25.1	17.7	4.8	2.4	1.1	10.8
性別	男性	(666)	41.6	35.3	33.8	27.6	22.7	17.6	21.6	8.3	1.7	0.8	12.0
	女性	(627)	37.3	38.6	32.4	26.2	35.1	26.8	19.9	5.7	4.0	0.3	9.1
年代別	60代	(512)	45.7	33.4	35.0	30.7	22.7	22.5	21.5	7.6	2.9	0.8	8.0
	70代	(504)	38.3	39.9	32.3	25.4	33.3	22.2	21.4	6.5	2.2	0.6	11.3
	80代以上	(277)	30.3	37.9	31.0	22.7	31.4	20.9	18.4	6.9	3.6	-	14.1
世帯年収別	200万円未満	(75)	33.3	38.7	32.0	21.3	22.7	16.0	16.0	4.0	-	-	17.3
	200~400万円未満	(415)	33.0	35.2	30.1	28.2	31.3	22.2	17.6	6.0	4.6	0.7	11.8
	400~600万円未満	(300)	40.3	36.7	33.3	25.3	28.3	19.7	19.7	8.3	1.7	0.7	10.0
	600~800万円未満	(155)	41.9	35.5	30.3	26.5	26.5	20.0	16.8	7.7	2.6	-	9.7
	800~1000万円未満	(94)	46.8	39.4	37.2	34.0	22.3	22.3	33.0	10.6	2.1	-	7.4
	1000万円以上	(114)	52.6	36.0	41.2	28.1	28.1	24.6	32.5	4.4	3.5	0.9	7.9
金融資産別	500万円未満	(102)	26.5	27.5	22.5	30.4	20.6	16.7	12.7	6.9	2.9	-	19.6
	500万円 ~1000万円未満	(108)	34.3	37.0	28.7	34.3	18.5	23.1	14.8	6.5	5.6	0.9	13.0
	1000万円 ~3000万円未満	(337)	36.5	39.5	34.4	24.0	29.1	20.2	19.3	6.8	3.0	0.9	10.7
	3000万円 ~5000万円未満	(235)	43.0	32.3	37.0	30.2	35.7	23.8	21.7	6.8	1.3	0.4	6.0
	5000万円 ~1億円未満	(169)	49.1	38.5	39.1	27.2	32.5	21.9	30.8	4.1	2.4	-	6.5
	1億円以上	(57)	45.6	42.1	38.6	29.8	22.8	28.1	36.8	5.3	3.5	1.8	10.5

※「全体 (構成比)」スコアで降順ソート

4. 投資信託商品の保有状況

(6-2)投資信託を選ぶ基準 最も重視するもの〔Q17S2:単一回答〕

- 投資信託保有者の投資信託を選ぶ基準のうち最も重視するものは、「運用実績が良い」(20.4%)、「定期的な分配金がある」(18.3%)、「値下がりの不安が少ない」(15.9%)が高い。

【投資信託保有者ベース】

		n=	運用実績 が良い	定期的な 分配金が ある	値下がりの 不安が 少ない	値上がりの 期待が もてる	金融機関 の担当者 が薦めて いる	手数料が 安い	運用資産 が多い	知人や 友人が 薦めて いる	人気 がある	その他	特 に ない
全体 (構成比)		(378)	20.4	18.3	15.9	12.2	9.3	7.4	3.2	1.3	0.5	0.8	10.8
性別	男性	(666)	22.1	20.1	9.0	16.5	8.1	7.4	2.7	0.8	0.9	0.5	12.0
	女性	(627)	18.0	19.5	13.1	15.3	15.3	4.0	3.7	1.3	0.5	0.3	9.1
年代別	60代	(512)	25.4	15.8	11.3	17.8	8.2	7.8	2.9	0.8	1.2	0.8	8.0
	70代	(504)	18.5	22.2	10.7	15.1	13.5	4.2	3.0	0.8	0.6	0.2	11.3
	80代以上	(277)	13.4	22.7	10.8	14.1	14.4	4.7	4.0	1.8	-	-	14.1
世帯年収別	200万円未満	(75)	12.0	22.7	10.7	13.3	13.3	6.7	2.7	-	1.3	-	17.3
	200~400万円未満	(415)	15.7	20.5	10.6	15.4	12.8	6.7	3.6	1.9	0.5	0.5	11.8
	400~600万円未満	(300)	19.0	21.3	10.0	17.3	10.3	7.7	2.7	0.3	1.0	0.3	10.0
	600~800万円未満	(155)	27.1	20.0	11.0	12.3	13.5	1.9	2.6	0.6	1.3	-	9.7
	800~1000万円未満	(94)	28.7	11.7	9.6	22.3	10.6	4.3	5.3	-	-	-	7.4
	1000万円以上	(114)	29.8	18.4	10.5	14.0	10.5	5.3	1.8	0.9	-	0.9	7.9
金融資産別	500万円未満	(102)	12.7	17.6	9.8	13.7	11.8	8.8	2.9	-	2.9	-	19.6
	500万円 ~1000万円未満	(108)	19.4	19.4	9.3	13.0	8.3	10.2	2.8	2.8	1.9	-	13.0
	1000万円 ~3000万円未満	(337)	16.3	23.1	9.8	17.8	12.8	4.7	2.1	1.5	0.3	0.9	10.7
	3000万円 ~5000万円未満	(235)	23.8	13.6	12.8	18.3	14.9	7.7	2.1	0.4	0.4	-	6.0
	5000万円 ~1億円未満	(169)	21.9	19.5	13.0	17.2	13.6	3.0	4.1	0.6	0.6	-	6.5
	1億円以上	(57)	22.8	19.3	12.3	15.8	7.0	5.3	3.5	1.8	-	1.8	10.5

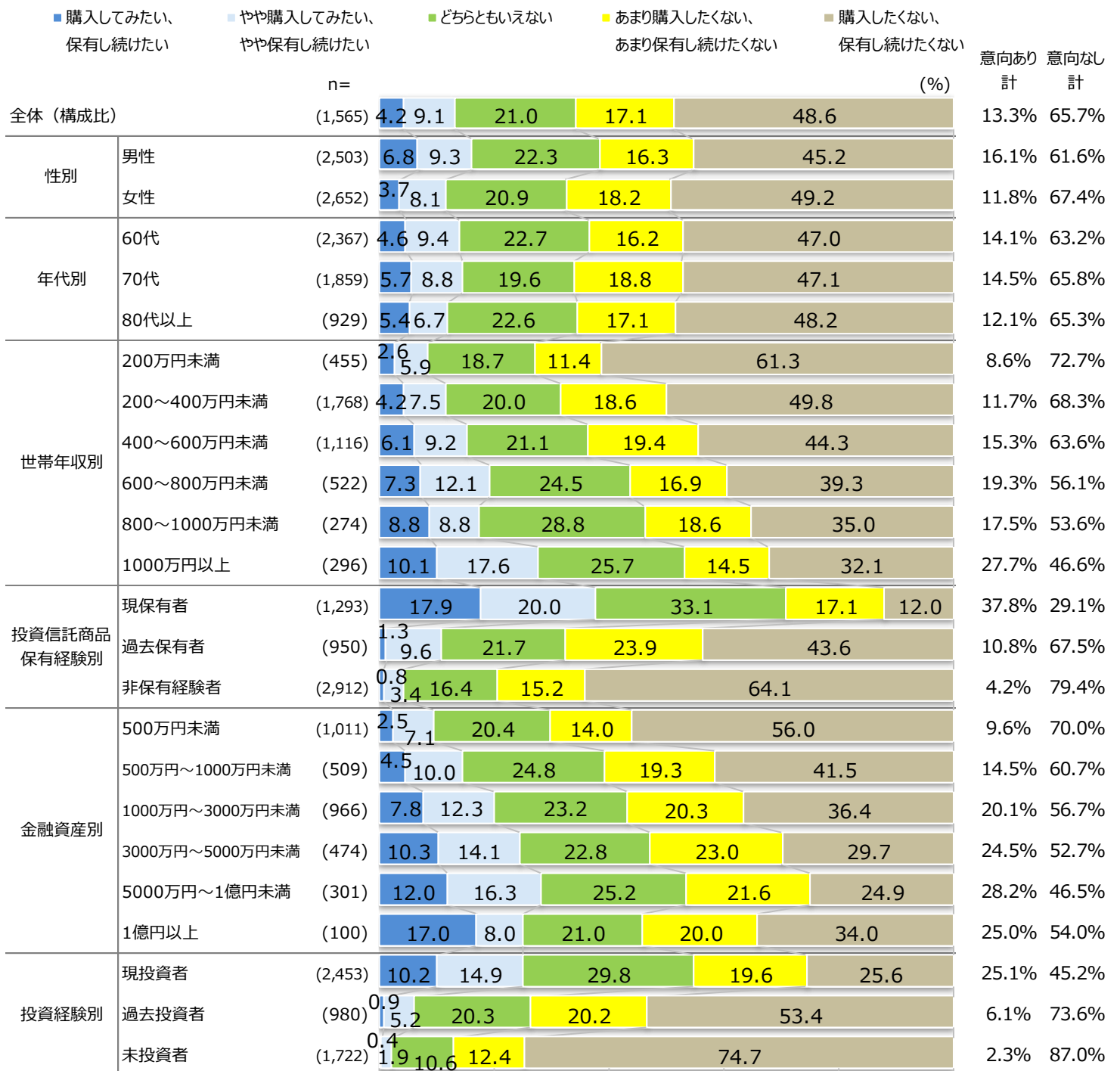
※「全体 (構成比)」スコアで降順ソート

5. 投資信託商品への意識

5. 投資信託商品への意識

(1)投資信託購入意向〔Q20:単一回答〕

- 投資信託の購入意向率は、13.3%。
- 性別では、女性より男性で購入意向率が高い。
- 投資信託商品保有経験別でみると、現保有者では購入意向率が37.8%であるのに対し、非保有経験者では購入意向率は4.2%に留まる。
- 投資経験別でみると、現投資者では購入意向率が25.1%であるのに対し、過去投資者では6.1%、未投資者では2.3%に留まる。



※意向あり計：（「購入してみたい、保有し続けたい」+「やや購入してみたい、やや保有し続けたい」）のスコア
 ※意向なし計：（「購入したくない、保有し続けたくない」+「あまり購入したくない、あまり保有し続けたくない」）のスコア

5. 投資信託商品への意識

(2)投資信託の良いイメージ〔Q18:複数回答〕

- 投資信託の良いイメージは、「少額から投資ができる」(25.7%)、「分散投資ができる」(18.2%)、「長期の資産形成に向いている」(17.6%)、「非課税制度が利用できる」(16.5%)が上位に挙がる。
- 投資信託購入意向別でみると、継続保持意向者では、前述の4項目に加え「値上がりの期待が持てる」のイメージも高い。一方で新規保持意向者では、前述の4項目に加え「積立で購入することができる」「投資や資産運用の初心者向け」のイメージも高い。また、意向なし層では、各項目ともスコアが低く、「特にない」が58.7%である。

		n=	少額から投資ができる	分散投資ができる	長期の資産形成に向いている	非課税制度が利用できる	積み立てで購入することができる	投資や資産運用の初心者向け	値上がりの期待が持てる	プロが運用するので安心	値下がり不安が少ない	海外投資が気軽にできる	その他	特にない
全体 (構成比)		(1,565)	25.7	18.2	17.6	16.5	13.5	12.6	11.4	9.8	7.8	5.0	0.5	45.2
性別	男性	(2,503)	27.2	22.9	19.6	16.4	12.4	14.7	13.8	10.2	8.0	5.4	1.2	40.6
	女性	(2,652)	25.5	17.0	15.3	18.5	13.8	11.3	10.7	9.4	6.4	4.1	0.6	44.6
年代別	60代	(2,367)	25.7	20.0	16.6	16.9	12.8	12.1	11.4	9.6	6.8	4.8	0.8	44.3
	70代	(1,859)	26.6	20.0	19.3	19.0	14.2	13.6	12.6	8.8	7.2	4.7	0.8	40.8
	80代以上	(929)	27.3	19.6	15.5	15.9	11.6	13.9	13.2	12.1	7.9	4.8	1.5	42.1
世帯年収別	200万円未満	(455)	22.9	10.1	11.0	14.1	10.5	10.3	6.2	6.4	3.5	4.4	0.7	55.8
	200~400万円未満	(1,768)	25.9	17.9	16.6	17.1	13.1	13.5	11.9	9.7	8.0	4.5	1.0	43.9
	400~600万円未満	(1,116)	28.4	22.2	20.1	18.4	13.1	13.9	13.1	9.8	6.9	3.9	0.9	39.3
	600~800万円未満	(522)	26.6	24.3	19.5	19.0	15.1	17.2	15.1	12.1	7.5	6.3	1.1	35.4
	800~1000万円未満	(274)	30.7	23.4	22.3	23.0	13.9	13.9	15.3	10.6	8.8	8.0	1.1	33.6
	1000万円以上	(296)	34.8	34.8	26.4	18.9	19.3	12.8	20.3	12.5	11.1	7.1	0.7	25.3
投資信託商品保有経験別	現保有者	(1,293)	36.3	37.9	33.3	28.7	14.9	20.4	22.9	17.2	12.1	9.7	0.7	9.4
	過去保有者	(950)	39.4	28.3	21.6	23.2	22.4	20.5	15.3	9.5	9.2	5.6	1.7	23.9
	非保有経験者	(2,912)	17.6	9.2	8.9	10.7	9.3	7.1	6.5	6.6	4.3	2.3	0.7	63.6
金融資産別	500万円未満	(1,011)	24.7	11.2	12.6	13.6	13.8	12.5	8.8	7.8	6.4	4.0	1.0	50.8
	500万円~1000万円未満	(509)	29.9	17.5	14.7	19.6	16.7	15.7	14.1	10.8	5.5	3.9	1.2	36.7
	1000万円~3000万円未満	(966)	33.5	27.6	22.2	23.0	14.8	18.9	15.6	13.4	9.6	5.9	0.9	29.3
	3000万円~5000万円未満	(474)	35.2	30.6	31.4	24.5	14.1	19.2	20.5	11.6	8.9	7.6	0.4	21.7
	5000万円~1億円未満	(301)	29.6	39.5	30.9	23.3	11.0	16.9	17.9	12.0	8.6	11.3	0.3	21.6
	1億円以上	(100)	26.0	37.0	25.0	17.0	11.0	11.0	21.0	13.0	14.0	9.0	2.0	27.0
投資信託購入意向別	継続保持意向者	(489)	44.8	52.8	40.7	38.4	20.2	26.8	33.5	23.3	14.1	14.1	0.4	1.4
	新規保持意向者	(226)	56.2	35.8	31.9	34.1	36.3	31.0	25.2	23.5	13.3	12.4	0.4	8.8
	意向なし	(3,328)	18.1	11.4	10.7	11.3	8.8	8.3	6.6	5.2	4.4	2.3	1.2	58.7

※「全体 (構成比)」スコアで降順ソート

5. 投資信託商品への意識

(3)投資信託の良くないイメージ〔Q19:複数回答〕

- 投資信託の良くないイメージは、「損をしそうで怖い」(32.9%)、「手数料がもったいない」(29.5%)が上位に挙がる。
- 投資信託商品保有経験別でみると、現保有者・過去保有者では、「手数料がもったいない」が最も高い。また、過去保有者では、「自分で株などを運用した方が良い」も高い。非保有経験者では、「損をしそうで怖い」以外のイメージは低く、「特にない」も43.8%と半数近い。
- 投資信託購入意向別でみると、新規保持意向者では、「損をしそうで怖い」が最も高いほか、「理解するのが難しそう」も高い。

		n=	損をしそうで怖い	手数料がもったいない	値上がりの期待が持てない	理解するのが難しそう	投資信託を買うよりも自分で株などを運用した方が良い	その他	特にない
全体（構成比）		(1,565)	32.9	29.5	19.7	19.2	13.5	0.8	31.3
性別	男性	(2,503)	27.0	31.8	20.1	15.2	17.9	0.9	31.6
	女性	(2,652)	39.3	27.6	21.6	23.8	11.2	0.6	28.5
年代別	60代	(2,367)	37.9	30.7	19.8	20.1	12.5	0.5	29.6
	70代	(1,859)	31.8	30.1	20.9	19.8	15.3	0.6	29.2
	80代以上	(929)	24.7	26.3	23.7	17.9	17.8	1.4	32.8
世帯年収別	200万円未満	(455)	37.6	25.5	20.0	19.6	9.0	0.2	36.3
	200～400万円未満	(1,768)	31.9	28.9	22.1	21.0	13.9	0.9	30.7
	400～600万円未満	(1,116)	33.9	31.0	21.3	18.5	16.3	0.8	28.5
	600～800万円未満	(522)	33.5	33.0	18.2	17.8	16.7	1.0	25.7
	800～1000万円未満	(274)	31.0	36.1	18.2	17.9	16.4	0.4	28.5
	1000万円以上	(296)	30.4	35.1	25.3	15.9	22.6	1.0	22.6
投資信託商品保有経験別	現保有者	(1,293)	34.2	44.4	29.7	20.4	16.9	1.2	12.2
	過去保有者	(950)	31.9	43.5	29.8	17.3	28.9	1.5	12.2
	非保有経験者	(2,912)	33.4	18.6	14.1	20.0	8.6	0.3	43.8
金融資産別	500万円未満	(1,011)	34.3	23.4	18.5	20.8	10.4	0.8	36.1
	500万円～1000万円未満	(509)	34.2	31.8	20.2	21.8	17.1	0.8	25.3
	1000万円～3000万円未満	(966)	35.5	33.0	27.0	19.8	17.4	0.8	19.4
	3000万円～5000万円未満	(474)	33.5	40.1	25.3	19.6	19.8	0.6	18.6
	5000万円～1億円未満	(301)	37.2	49.8	26.2	20.3	25.9	1.0	11.3
	1億円以上	(100)	32.0	52.0	14.0	12.0	28.0	1.0	16.0
投資信託購入意向別	継続保持意向者	(489)	31.3	46.4	24.5	21.3	12.3	1.6	15.5
	新規保持意向者	(226)	40.3	26.5	23.9	29.2	14.6	0.4	16.8
	意向なし	(3,328)	33.0	25.8	19.1	18.0	14.2	0.7	37.0

※「全体（構成比）」スコアで降順ソート

5. 投資信託商品への意識

(4-1)投資信託購入時に欲しいサポート〔Q21:複数回答〕

- 投資信託購入時に欲しいサポートは、「商品内容や運用状況について分かりやすい資料が欲しい」(16.8%)が最も高く、次いで「金融機関の担当者が分かりやすく説明して欲しい」(15.3%)が高い。

		n=	投資信託の商品内容や運用状況について分かりやすい資料が欲しい	金融機関の担当者が分かりやすく説明して欲しい	フィナンシャルプランナーなど第三者の意見が欲しい	WEBサイトで情報提供を充実させてほしい	セミナーや説明会を開催してほしい	その他	特にない
全体（構成比）		(1,565)	16.8	15.3	12.7	11.9	7.7	0.6	64.4
性別	男性	(2,503)	19.6	12.4	12.6	14.3	7.4	0.4	62.3
	女性	(2,652)	17.6	16.7	13.6	9.8	8.1	0.4	64.2
年代別	60代	(2,367)	18.6	13.3	14.0	12.3	7.8	0.3	63.1
	70代	(1,859)	18.8	16.6	11.8	11.5	7.3	0.3	63.6
	80代以上	(929)	18.2	14.3	13.6	12.1	8.4	0.9	62.9
世帯年収別	200万円未満	(455)	9.9	13.8	8.8	7.9	6.2	0.4	71.9
	200～400万円未満	(1,768)	17.6	14.4	13.1	11.2	7.6	0.2	64.9
	400～600万円未満	(1,116)	20.9	14.0	13.1	12.5	6.5	0.4	61.4
	600～800万円未満	(522)	22.2	18.6	15.7	16.9	9.6	0.8	54.8
	800～1000万円未満	(274)	23.0	14.6	12.8	12.0	8.0	-	59.5
	1000万円以上	(296)	27.0	19.3	19.3	18.2	12.2	1.4	47.6
投資信託商品保有経験別	現保有者	(1,293)	34.2	27.8	22.7	20.0	12.7	0.5	34.6
	過去保有者	(950)	22.2	13.4	12.9	14.7	8.4	0.7	58.1
	非保有経験者	(2,912)	10.5	9.2	8.9	7.5	5.3	0.2	77.7
金融資産別	500万円未満	(1,011)	14.9	12.3	11.3	9.8	7.1	0.5	68.2
	500万円～1000万円未満	(509)	21.6	15.5	14.3	11.8	10.6	0.4	56.6
	1000万円～3000万円未満	(966)	24.8	18.1	18.4	15.8	9.8	0.6	51.9
	3000万円～5000万円未満	(474)	25.3	20.7	18.4	16.9	11.2	-	50.4
	5000万円～1億円未満	(301)	30.2	23.3	20.3	18.6	11.0	-	44.5
	1億円以上	(100)	25.0	16.0	10.0	16.0	10.0	2.0	55.0
投資経験別	現投資者	(2,453)	27.4	21.0	18.1	18.2	10.9	0.6	45.9
	過去投資者	(980)	15.6	11.6	12.2	9.5	7.1	0.5	68.9
	未投資者	(1,722)	7.7	7.4	6.5	4.4	3.6	0.1	84.8

※「全体（構成比）」スコアで降順ソート

5. 投資信託商品への意識

(4-2)投資信託購入時に欲しいサポート（投資信託購入意向者）

〔Q21:複数回答〕

- 投資信託購入意向者における投資信託購入時に欲しいサポートは、「商品内容や運用状況について分かりやすい資料が欲しい」(50.5%)が最も高く、次いで「金融機関の担当者が分かりやすく説明して欲しい」(35.7%)。
- 投資信託商品保有経験別で見ると、過去保有者・非保有経験者では、「WEBサイトでの情報提供を充実させてほしい」も高い。

【投資信託購入意向者ベース】

		n=	投資信託の商品内容や運用状況について分かりやすい資料が欲しい	金融機関の担当者が分かりやすく説明して欲しい	WEBサイトでの情報提供を充実させてほしい	フィナンシャルプランナーなど第三者の意見が欲しい	セミナーや説明会を開催してほしい	その他	特にない
全体		(715)	50.5	35.7	34.3	29.9	21.7	0.3	12.3
性別	男性	(403)	50.6	29.8	35.5	26.3	20.1	0.2	14.9
	女性	(312)	50.3	43.3	32.7	34.6	23.7	0.3	9.0
年代別	60代	(333)	53.2	32.1	35.7	30.0	23.1	0.6	11.4
	70代	(270)	46.3	40.7	31.9	28.9	17.0	-	14.4
	80代以上	(112)	52.7	33.9	35.7	32.1	28.6	-	9.8
世帯年収別	200万円未満	(39)	38.5	48.7	30.8	35.9	25.6	2.6	7.7
	200～400万円未満	(207)	50.2	29.5	35.3	32.4	21.7	-	13.5
	400～600万円未満	(171)	52.6	38.6	35.1	29.8	15.2	-	8.8
	600～800万円未満	(101)	48.5	37.6	33.7	26.7	19.8	-	15.8
	800～1000万円未満	(48)	54.2	35.4	25.0	25.0	18.8	-	18.8
	1000万円以上	(82)	47.6	30.5	34.1	29.3	30.5	-	13.4
投資信託商品保有経験別	現保有者	(489)	48.9	36.2	31.1	28.2	19.2	0.2	14.3
	過去保有者	(103)	52.4	32.0	41.7	32.0	23.3	1.0	7.8
	非保有経験者	(123)	55.3	36.6	40.7	35.0	30.1	-	8.1
金融資産別	500万円未満	(97)	53.6	35.1	38.1	32.0	23.7	-	8.2
	500万円～1000万円未満	(74)	56.8	28.4	32.4	29.7	20.3	-	6.8
	1000万円～3000万円未満	(194)	49.0	30.4	33.0	29.9	24.2	0.5	12.4
	3000万円～5000万円未満	(116)	52.6	42.2	29.3	33.6	24.1	-	12.9
	5000万円～1億円未満	(85)	50.6	42.4	37.6	30.6	21.2	-	11.8
	1億円以上	(25)	52.0	32.0	28.0	24.0	32.0	-	16.0
投資経験別	現投資者	(615)	49.6	35.4	32.8	28.1	21.0	0.3	13.2
	過去投資者	(60)	53.3	31.7	45.0	35.0	23.3	-	10.0
	未投資者	(40)	60.0	45.0	40.0	50.0	30.0	-	2.5

※「全体」スコアで降順ソート

5. 投資信託商品への意識

(5-1)投資信託購入時に最も気になること〔Q22:複数回答〕

- 投資信託購入時に最も気になることは、「値下がりの不安はどのくらいあるのか」(15.1%)が最も高い。
- 投資信託商品保有経験別でみると、現保有者では、「値下がりの不安」に次いで、「値上がりの期待はどのくらいあるのか」「どのような銘柄・地域に投資されるのか」「購入時にかかる手数料」も高い。

		n=	値下がりの不安はどのくらいあるのか	購入時にかかる手数料	どのような銘柄・地域に投資されるのか	値上がりの期待はどのくらいあるのか	運用期間中のコスト	誰が運用するのか	分配金を受け取る頻度・1回あたりの金額	自分が購入できる最小金額はいくらのなか	その他	特にない
全体（構成比）		(1,565)	15.1	6.8	6.5	6.1	6.1	4.6	4.0	3.6	0.8	46.3
性別	男性	(2,503)	13.7	8.2	7.5	6.4	8.1	4.6	4.6	3.5	0.7	42.7
	女性	(2,652)	18.6	7.2	5.6	5.1	5.3	3.7	4.3	4.4	0.6	45.2
年代別	60代	(2,367)	17.0	8.5	5.7	5.1	7.0	4.5	4.0	3.7	0.5	43.9
	70代	(1,859)	16.1	7.6	7.5	5.6	6.2	3.8	4.8	4.2	0.6	43.5
	80代以上	(929)	14.5	5.5	6.6	7.6	6.6	3.7	5.0	4.0	1.3	45.3
世帯年収別	200万円未満	(455)	16.7	5.5	4.6	3.7	5.1	1.1	4.0	4.0	0.7	54.7
	200～400万円未満	(1,768)	15.7	8.4	6.3	6.6	5.7	4.0	4.0	4.1	0.8	44.4
	400～600万円未満	(1,116)	17.2	8.2	7.2	4.2	7.2	4.2	4.9	3.9	0.6	42.4
	600～800万円未満	(522)	15.1	7.5	7.5	7.3	10.3	5.0	6.3	3.4	0.6	37.0
	800～1000万円未満	(274)	16.4	9.9	7.7	6.9	6.6	4.0	6.2	5.5	0.4	36.5
	1000万円以上	(296)	17.6	9.1	10.5	6.1	10.8	7.4	5.1	3.7	1.0	28.7
投資信託商品保有経験別	現保有者	(1,293)	23.3	10.7	11.0	11.2	9.7	4.1	9.7	2.9	0.9	16.5
	過去保有者	(950)	20.1	11.2	8.6	5.9	8.8	5.9	4.5	3.5	1.4	30.1
	非保有経験者	(2,912)	11.8	5.2	3.8	3.3	4.6	3.5	2.1	4.6	0.3	60.8
金融資産別	500万円未満	(1,011)	13.9	7.9	5.4	3.9	5.1	4.1	2.9	6.1	0.2	50.4
	500万円～1000万円未満	(509)	15.5	8.6	6.7	6.7	6.9	5.3	5.1	5.3	1.0	38.9
	1000万円～3000万円未満	(966)	21.2	9.1	9.4	7.1	9.4	5.1	6.1	2.8	0.9	28.8
	3000万円～5000万円未満	(474)	24.5	6.5	10.1	8.4	9.1	4.6	6.8	2.7	0.6	26.6
	5000万円～1億円未満	(301)	22.6	12.0	9.3	8.3	11.3	3.7	7.0	2.3	0.3	23.3
	1億円以上	(100)	17.0	9.0	11.0	6.0	12.0	2.0	10.0	1.0	1.0	31.0
投資経験別	現投資者	(2,453)	20.5	10.5	10.5	8.7	9.7	4.6	7.4	3.5	0.9	23.7
	過去投資者	(980)	16.4	6.2	4.8	5.1	5.9	5.4	2.4	5.3	0.9	47.4
	未投資者	(1,722)	10.0	4.4	1.8	1.9	2.8	2.7	1.4	3.7	0.2	71.0

※「全体（構成比）」スコアで降順ソート

5. 投資信託商品への意識

(5-2)投資信託購入時に最も気になること（投資信託購入意向者）

〔Q22:複数回答〕

- 投資信託購入意向者における投資信託購入時に最も気になることは、「値下がりの不安はどのくらいあるのか」(24.3%)が最も高い。
- 投資信託商品保有経験別でみると、非保有経験者では、「値下がりの不安」に次いで、「自分が購入できる最小金額はいくらなのか」「運用期間中のコスト」「誰が運用するのか」も高い。

【投資信託購入意向者ベース】

		n=	値下がりの不安はどのくらいあるのか	どのような銘柄・地域に投資されるのか	値上がりの期待はどのくらいあるのか	運用期間中のコスト	分配金を受け取る頻度・1回あたりの金額	購入時にかかる手数料	誰(どこの会社)が運用するのか	自分が購入できる最小金額はいくらなのか	その他	特にな
			(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全体		(715)	24.3	14.1	11.7	11.7	11.5	9.7	6.3	5.7	0.4	4.5
性別	男性	(403)	18.4	15.9	11.9	13.6	11.4	10.7	5.5	6.5	0.7	5.5
	女性	(312)	32.1	11.9	11.5	9.3	11.5	8.3	7.4	4.8	-	3.2
年代別	60代	(333)	25.2	13.2	9.3	14.1	10.2	10.2	7.8	6.3	0.9	2.7
	70代	(270)	24.1	15.6	12.6	9.6	10.7	10.4	5.9	4.8	-	6.3
	80代以上	(112)	22.3	13.4	17.0	9.8	17.0	6.3	2.7	6.3	-	5.4
世帯年収別	200万円未満	(39)	38.5	20.5	7.7	15.4	2.6	5.1	5.1	2.6	-	2.6
	200~400万円未満	(207)	24.2	12.1	18.8	8.7	9.2	8.2	6.8	6.3	1.4	4.3
	400~600万円未満	(171)	23.4	17.0	7.0	10.5	13.5	11.7	6.4	7.6	-	2.9
	600~800万円未満	(101)	22.8	9.9	9.9	15.8	9.9	11.9	7.9	4.0	-	7.9
	800~1000万円未満	(48)	16.7	14.6	10.4	6.3	20.8	12.5	6.3	4.2	-	8.3
	1000万円以上	(82)	22.0	17.1	12.2	19.5	9.8	6.1	6.1	3.7	-	3.7
投資信託商品保有経験別	現保有者	(489)	23.5	16.4	12.9	11.5	13.1	10.0	3.9	3.1	0.6	5.1
	過去保有者	(103)	29.1	11.7	12.6	8.7	9.7	11.7	8.7	5.8	-	1.9
	非保有経験者	(123)	23.6	7.3	6.5	15.4	6.5	6.5	13.8	16.3	-	4.1
金融資産別	500万円未満	(97)	19.6	12.4	9.3	16.5	5.2	11.3	8.2	13.4	1.0	3.1
	500万円~1000万円未満	(74)	25.7	12.2	12.2	6.8	14.9	6.8	5.4	10.8	-	5.4
	1000万円~3000万円未満	(194)	27.3	15.5	9.8	11.9	12.4	10.8	6.2	2.6	1.0	2.6
	3000万円~5000万円未満	(116)	21.6	18.1	18.1	8.6	12.1	6.9	6.0	5.2	-	3.4
	5000万円~1億円未満	(85)	25.9	12.9	8.2	11.8	12.9	15.3	7.1	2.4	-	3.5
	1億円以上	(25)	24.0	8.0	16.0	16.0	16.0	12.0	-	4.0	-	4.0
投資経験別	現投資者	(615)	24.2	15.1	12.0	11.4	12.4	9.9	5.2	4.6	0.5	4.7
	過去投資者	(60)	28.3	6.7	10.0	11.7	8.3	10.0	13.3	10.0	-	1.7
	未投資者	(40)	20.0	10.0	10.0	17.5	2.5	5.0	12.5	17.5	-	5.0

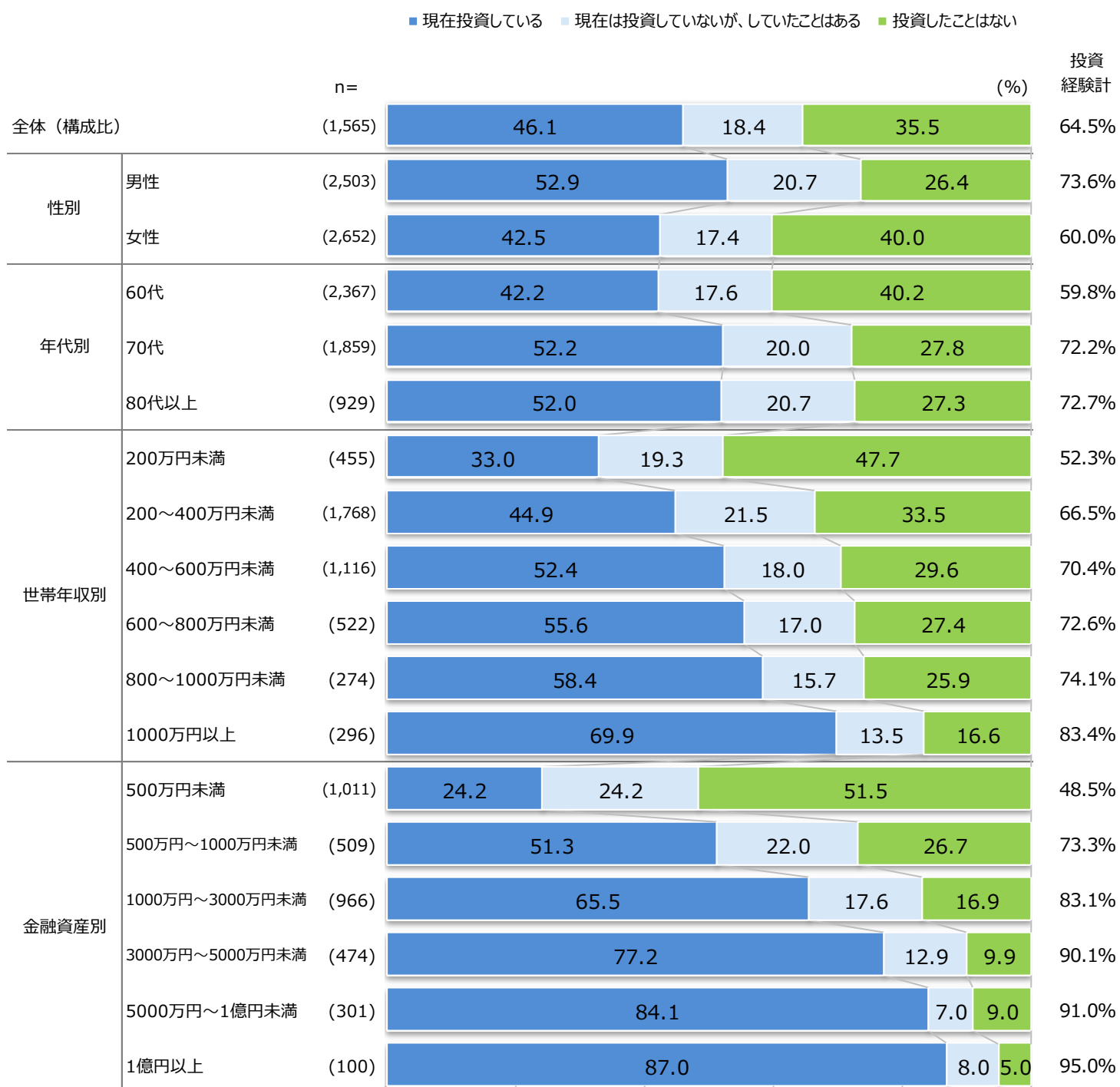
※「全体」スコアで降順ソート

6. 全般的な投資への意識と実態

6. 全般的な投資への意識と実態

(1)投資経験〔Q4:単一回答〕

- 60代以上における現投資率は、46.1%。投資経験率は、64.5%。
- 性別で見ると、男性では女性より現投資率が高く52.9%。
- 年代別で見ると、70代・80代以上では60代より現投資率が高く約52%。
- 世帯年収別では、年収が上がるほど現投資率も高く、世帯年収400万円以上で現投資率が50%を超え、世帯年収1000万円以上では現投資率は69.9%である。



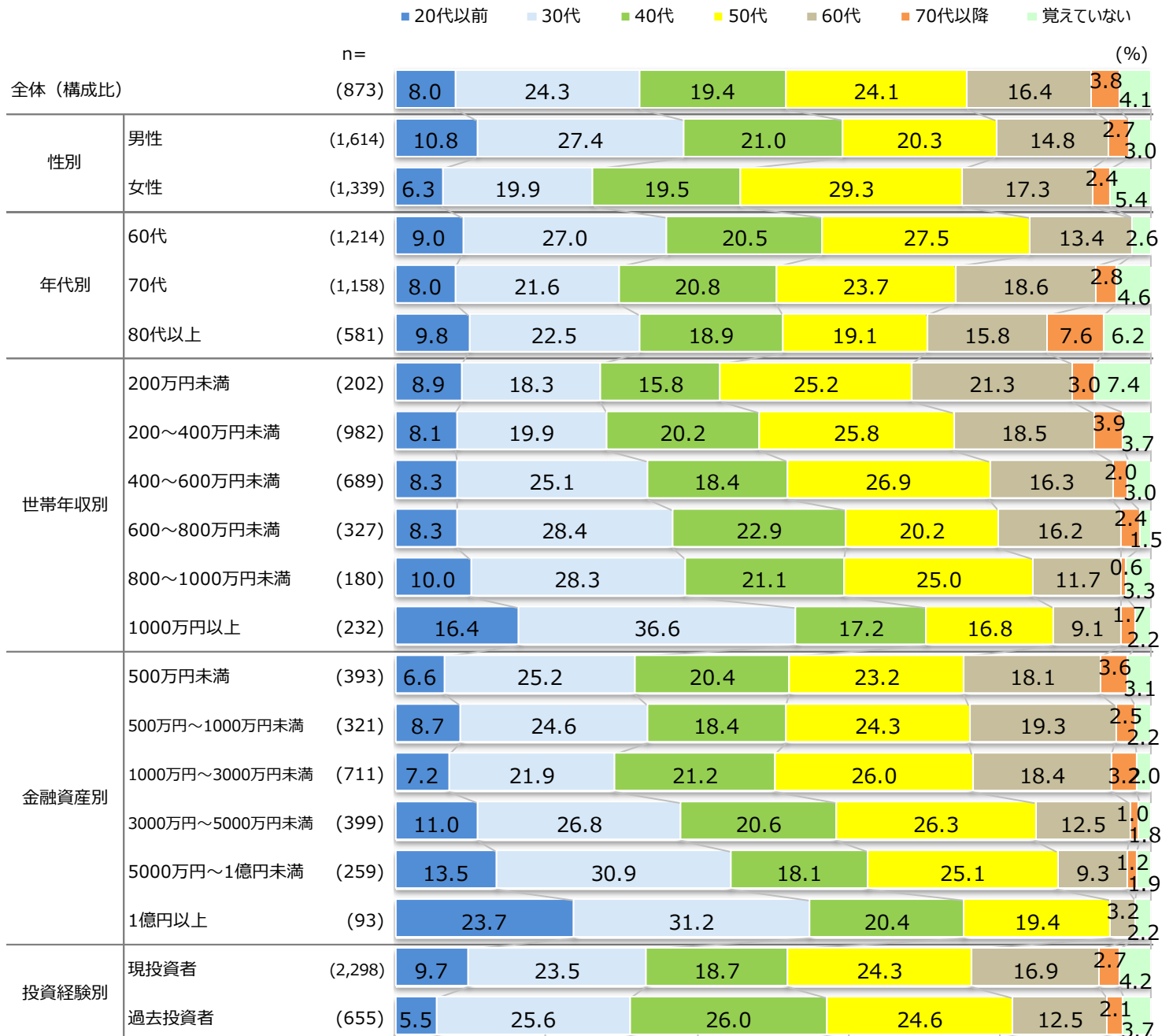
※投資経験計：（「現在投資している」+「現在は投資していないが、していたことはある」）のスコア

6. 全般的な投資への意識と実態

(2)初めて投資をした年齢（投資経験者）〔Q5:単一回答〕

- 投資経験者における初めて投資した年齢は、「30代」(24.3%)、「50代」(24.1%)が高い。
- 性別で見ると、男性では、「30代」(27.4%)が最も高く、女性では「50代」(29.3%)が最も高い。
- 世帯年収別で見ると、年収が上がるほど「20代」「30代」といった若年代での割合が高い。

【投資経験者ベース】



6. 全般的な投資への意識と実態

(3)初めて投資をしたきっかけ（投資経験者）〔Q6:複数回答〕

- 初めて投資をしたきっかけは、「自分から自然と興味を持った」(36.9%)が最も高い。次いで「金融機関から勧められた」(21.6%)、「家族や友人、知人に勧められた」(21.4%)が高い。
- 性別でみると、男性では、「自分から自然と興味を持った」(44.6%)が最も高く、他の項目と25ポイント以上の差がある。一方で女性では「自分から自然と興味を持った」「金融機関から勧められた」「家族や友人、知人に勧められた」がいずれも27-28%前後で同等に高い。

【投資経験者ベース】		(%)										
		n=	自分から自然と興味を持った	金融機関から勧められた	家族や友人、知人に勧められた	定期預金や保険が満期になりお金が戻ってきた	テレビや雑誌、インターネット等の情報に影響を受けた	退職金をもらった	贈与や相続を受けた	ライフステージが変化した	その他	
全体（構成比）		(873)	36.9	21.6	21.4	14.7	10.7	9.9	8.8	4.7	3.1	
性別	男性	(1,614)	44.6	18.8	16.0	12.3	12.5	12.0	6.6	7.2	3.5	
	女性	(1,339)	28.2	27.7	27.4	16.8	8.6	5.4	9.0	4.3	2.5	
年代別	60代	(1,214)	35.7	22.7	19.9	13.5	13.0	6.8	8.3	6.0	3.0	
	70代	(1,158)	37.1	21.5	23.0	14.4	9.9	10.4	8.1	5.4	2.8	
	80代以上	(581)	40.3	25.8	20.1	16.0	7.4	10.7	5.5	6.5	3.6	
世帯年収別	200万円未満	(202)	35.1	26.2	16.3	5.9	13.9	6.9	10.4	3.0	3.0	
	200～400万円未満	(982)	37.7	22.0	21.0	13.4	11.1	10.0	6.5	4.7	3.0	
	400～600万円未満	(689)	35.8	21.0	22.4	14.7	10.6	11.8	6.1	6.5	4.5	
	600～800万円未満	(327)	41.0	18.7	23.9	16.8	10.1	8.0	10.7	6.1	2.8	
	800～1000万円未満	(180)	37.8	24.4	22.2	16.7	12.2	6.7	8.3	7.8	2.8	
	1000万円以上	(232)	39.2	22.8	25.0	15.5	8.6	4.7	9.1	9.9	1.3	
金融資産別	500万円未満	(393)	41.7	18.8	18.3	9.2	14.0	8.4	6.4	3.8	4.1	
	500万円～1000万円未満	(321)	33.0	20.2	21.8	14.0	13.7	8.7	7.8	4.0	2.8	
	1000万円～3000万円未満	(711)	37.0	21.9	20.8	13.8	12.2	11.4	8.9	6.8	3.0	
	3000万円～5000万円未満	(399)	37.1	24.1	20.8	21.1	9.5	9.5	8.3	8.0	4.5	
	5000万円～1億円未満	(259)	37.5	27.4	24.7	18.5	8.5	8.1	10.0	8.5	1.2	
	1億円以上	(93)	33.3	31.2	29.0	20.4	8.6	8.6	9.7	6.5	1.1	
投資経験別	現投資者	(2,298)	38.1	22.7	21.6	15.1	10.6	9.4	7.9	6.4	2.9	
	過去投資者	(655)	33.9	23.5	19.7	11.8	11.1	7.6	6.9	4.1	3.7	

※「全体（構成比）」スコアで降順ソート

6. 全般的な投資への意識と実態

(4)投資理由（投資経験者）〔Q7:複数回答〕

- 投資理由は、「預貯金の金利が低いから」(45.4%)が最も高く、次いで「投資そのものを楽しむため」(30.8%)、「資産を分けて保有しておくため」(25.7%)が高い。
- 世帯年収別でみると、年収が上がるほど「資産を分けて保有しておくため」が高く、年収が下がるほど「自分の生活費のため」が高い。

【投資経験者ベース】

		n=	預貯金の金利が低いから	投資そのものを楽しむため	資産を分けて保有しておくため	将来の医療・介護費用の負担に備えるため	自分の生活費のため	経済について学ぶため	趣味やレジャーなどの遊興費に充てるため	社会とのつながりを持つため	相続や贈与の資金のため	その他	特に理由はない
全体（構成比）		(873)	45.4	30.8	25.7	17.2	16.4	15.2	11.9	6.0	4.8	2.1	12.3
性別	男性	(1,614)	45.0	37.5	28.0	19.3	20.2	16.4	12.0	6.4	4.6	1.5	9.7
	女性	(1,339)	51.9	25.4	24.6	16.4	15.5	11.7	12.2	6.0	4.6	2.0	10.7
年代別	60代	(1,214)	50.7	29.8	27.0	17.0	18.7	13.8	10.3	4.6	3.6	1.9	8.3
	70代	(1,158)	46.4	33.1	26.2	17.3	17.4	13.6	14.1	6.2	3.9	1.8	11.3
	80代以上	(581)	46.3	34.6	26.0	21.7	18.1	16.4	11.9	9.8	8.1	1.4	11.7
世帯年収別	200万円未満	(202)	41.6	28.2	14.4	18.3	24.8	12.4	6.9	4.0	1.5	2.0	10.9
	200～400万円未満	(982)	48.4	30.0	21.6	17.9	19.2	13.5	13.2	6.3	4.1	1.9	11.0
	400～600万円未満	(689)	48.3	36.0	28.7	17.4	17.6	15.2	12.6	6.4	3.8	1.6	8.6
	600～800万円未満	(327)	47.7	35.8	30.9	19.9	16.8	14.4	12.2	7.3	6.1	1.5	9.2
	800～1000万円未満	(180)	53.3	32.8	35.6	23.9	16.7	15.0	12.8	6.1	6.7	2.2	7.8
	1000万円以上	(232)	50.0	35.3	37.5	22.4	15.1	17.2	12.1	6.5	8.2	3.0	8.2
金融資産別	500万円未満	(393)	34.9	34.1	12.7	15.3	19.1	16.8	10.4	7.1	2.8	1.8	10.2
	500万円～1000万円未満	(321)	44.5	34.3	19.6	16.2	17.8	12.5	12.1	4.0	3.4	1.2	10.0
	1000万円～3000万円未満	(711)	53.2	31.2	28.3	19.8	19.7	14.8	11.8	7.2	4.8	2.4	6.9
	3000万円～5000万円未満	(399)	56.6	34.1	36.8	18.8	18.5	17.5	14.0	7.8	5.8	2.5	7.3
	5000万円～1億円未満	(259)	55.6	36.7	42.9	27.8	15.4	13.5	13.1	8.1	8.9	2.7	5.0
	1億円以上	(93)	48.4	38.7	48.4	24.7	18.3	16.1	15.1	6.5	11.8	1.1	9.7
投資経験別	現投資者	(2,298)	53.2	33.9	29.8	20.1	19.1	15.3	12.8	6.6	5.4	1.6	8.0
	過去投資者	(655)	30.4	25.6	15.0	10.7	14.7	10.5	9.6	5.0	2.0	2.3	17.9

※「全体（構成比）」スコアで降順ソート

6. 全般的な投資への意識と実態

(5)投資未経験理由（投資未経験者）〔Q8:複数回答〕

- 投資未経験理由は、「投資の知識がないから」(38.6%)、「そもそも投資に興味がないから」(37.0%)、「投資するための資金がないから」(33.2%)、「損をするのが怖いから」(28.5%)が上位に挙がる。
- 性別でみると、女性では男性と比べ「投資の知識がないから」「損をするのが怖いから」が高い。

【投資未経験者ベース】

		(%)										
		n=	投資の知識がないから	そもそも投資に興味がないから	投資するための資金がないから	損をするのが怖いから	賭け事のように嫌だから	なんとなく機会がなかったから	資産を増やす必要性を感じないから	周りに投資している人がいないから	その他	特にな
全体（構成比）		(692)	38.6	37.0	33.2	28.5	20.4	3.9	3.2	2.3	1.6	14.0
性別	男性	(889)	31.4	37.5	36.3	25.6	20.2	6.2	3.8	2.0	1.5	15.4
	女性	(1,313)	42.2	36.6	33.4	33.7	20.9	5.0	4.0	3.5	0.8	12.7
年代別	60代	(1,153)	38.7	36.4	34.0	34.3	21.8	5.8	3.0	2.9	0.7	13.3
	70代	(701)	38.4	38.7	35.9	27.0	18.5	5.1	4.9	3.1	1.6	11.4
	80代以上	(348)	33.9	35.3	33.6	24.7	21.3	5.2	4.9	2.3	1.1	20.4
世帯年収別	200万円未満	(253)	35.2	28.5	34.8	25.3	18.6	4.0	2.4	3.2	1.2	19.0
	200～400万円未満	(786)	37.2	39.2	39.2	27.6	18.4	4.7	4.3	3.1	1.4	12.0
	400～600万円未満	(427)	36.3	38.6	34.4	29.5	21.3	4.9	3.5	3.0	0.9	12.4
	600～800万円未満	(195)	44.6	42.6	30.3	41.0	26.7	8.2	4.1	3.1	1.5	9.2
	800～1000万円未満	(94)	36.2	33.0	34.0	37.2	18.1	4.3	3.2	2.1	-	10.6
	1000万円以上	(64)	37.5	39.1	15.6	40.6	23.4	6.3	7.8	1.6	-	9.4
金融資産別	500万円未満	(618)	33.3	35.3	49.0	28.0	18.1	5.5	3.4	2.4	1.3	9.4
	500万円～1000万円未満	(188)	45.7	36.2	36.7	35.6	21.8	5.9	3.7	2.1	-	6.9
	1000万円～3000万円未満	(255)	47.8	46.7	28.2	42.7	29.8	6.7	4.3	3.9	0.8	4.3
	3000万円～5000万円未満	(75)	48.0	42.7	17.3	46.7	28.0	8.0	6.7	5.3	4.0	5.3
	5000万円～1億円未満	(42)	50.0	40.5	4.8	57.1	31.0	7.1	9.5	4.8	-	2.4
	1億円以上	(7)	28.6	28.6	-	28.6	28.6	14.3	-	14.3	-	28.6

※「全体（構成比）」スコアで降順ソート

6. 全般的な投資への意識と実態

(6)投資の経験・考え方（投資経験者）〔Q9:単一回答_あてはまる計〕

- 投資経験者の投資の経験・考え方については、「自分の投資を後悔したことがある」(63.0%)、「以前より自分で調べて投資することを面倒に思うようになった」(46.2%)、「年齢を重ねるにつれて、ローリスク・ローリターン投資をするようになった」(45.7%)と感じている割合が高い。
- 投資経験別で見ると、過去投資者では「年齢を重ねるにつれて、自分の判断に自信がなくなってきた」「以前より自分で調べて投資することを面倒に思うようになった」が、現投資者より高い。
- 世帯年収別で見ると、1000万円以上では「積立投資の効果を実感したことがある」(31.9%)が低年収層と比べて高い。

【投資経験者ベース】		(%)									
※あてはまる計: (「とてもあてはまる」+「あてはまる」) のスコア		n=	年齢を重ねるにつれて、 自分の判断に自信が なくなってきた	経験を重ねて、 ハイリスク・ハイリターン 投資をするようになった	以前より 自分で調べて投資する ことを面倒に思うよ うになった	以前より 自分で調べて投資する ことを面倒に思うよ うになった	積立投資の 効果を実感したこ とがある	過去に 想像以上の ハイリターン を得たこ とがある	過去に自分 の投資を 後悔した こ とがある		
全体 (構成比)	(873)	30.7	15.5	45.7	12.3	32.3	46.2	21.5	32.4	63.0	
性別	男性 (1,614)	24.9	17.8	43.1	14.7	27.1	37.0	22.4	32.4	64.9	
	女性 (1,339)	41.7	10.1	50.0	10.0	35.2	53.8	17.3	29.6	64.5	
年代別	60代 (1,214)	30.5	13.4	45.1	12.0	27.3	40.9	19.5	29.2	63.5	
	70代 (1,158)	33.4	13.8	46.3	11.7	31.3	46.3	20.1	32.0	65.5	
	80代以上 (581)	34.9	17.0	48.7	15.5	37.0	49.2	21.2	33.4	65.6	
世帯年収別	200万円未満 (202)	41.1	14.9	39.1	14.4	31.7	48.0	12.4	26.7	74.8	
	200~400万円未満 (982)	38.1	11.6	48.8	10.6	32.6	50.3	18.6	28.9	67.7	
	400~600万円未満 (689)	31.6	15.1	48.3	14.1	28.3	43.5	21.3	34.0	64.6	
	600~800万円未満 (327)	25.1	16.2	43.7	12.8	32.7	36.7	21.7	29.4	63.3	
	800~1000万円未満 (180)	25.6	16.1	44.4	15.0	29.4	38.3	25.6	33.9	53.3	
	1000万円以上 (232)	22.0	22.8	39.2	19.8	28.9	34.5	31.9	43.5	57.3	
金融資産別	500万円未満 (393)	37.2	14.5	37.2	13.5	29.8	44.0	17.3	24.2	66.2	
	500万円~1000万円未満 (321)	34.0	12.8	45.5	16.2	34.9	43.0	19.6	34.6	67.0	
	1000万円~3000万円未満 (711)	33.6	15.2	48.1	14.2	32.1	42.9	20.8	29.7	65.3	
	3000万円~5000万円未満 (399)	31.1	16.8	54.4	11.5	34.1	46.6	25.3	32.8	63.2	
	5000万円~1億円未満 (259)	26.3	13.1	49.8	15.4	29.7	40.2	26.3	41.3	67.6	
	1億円以上 (93)	16.1	26.9	46.2	19.4	26.9	43.0	25.8	51.6	66.7	
	投資経験別	現投資者 (2,298)	30.0	14.8	47.6	14.2	30.8	41.1	22.0	34.7	65.8
過去投資者 (655)		41.2	12.4	41.7	6.7	30.7	56.9	13.4	18.6	60.8	

6. 全般的な投資への意識と実態

(7)利用を検討してもよい金融商品〔Q10:複数回答〕

- 利用を検討してもよい金融商品は、「預貯金」(46.5%)が最も高く、次いで「株式」(30.4%)が高い。「投資信託」は17.3%で、「株式」に次ぐ第3位である。
- 投資信託の利用検討意向は、女性より男性で高く、また世帯年収が上がるほど高い。
- 投資経験別でみると、現投資者では「株式」の利用検討意向が60.2%と、「預貯金」(52.3%)を上回る。一方で、過去投資者・未投資者においては「預貯金」以外の利用検討意向が低く、「金融商品は利用を検討しない」もそれぞれ41.5%、59.3%存在する。

		n=	預貯金	株式	投資信託	保険	債券	外貨 建て商品	不動産 投信	その他の 金融商品	金融商品は 利用を検討 しない
全体 (構成比)		(1,565)	46.5	30.4	17.3	11.2	8.2	7.9	4.8	0.5	35.2
性別	男性	(2,503)	43.6	43.0	22.1	11.3	8.8	10.2	5.9	0.8	30.8
	女性	(2,652)	47.9	23.5	15.7	12.6	8.1	7.3	3.9	0.6	36.4
年代別	60代	(2,367)	47.7	31.8	19.1	13.4	8.5	10.0	4.6	0.5	32.3
	70代	(1,859)	45.2	34.1	18.5	10.8	7.7	7.3	4.8	0.8	33.6
	80代以上	(929)	42.3	33.9	18.5	10.8	9.6	8.2	5.7	1.0	37.1
世帯年収 別	200万円未満	(455)	35.6	18.0	9.9	6.6	5.3	5.3	2.6	0.7	50.8
	200~400万円未満	(1,768)	44.5	29.9	16.2	11.5	7.2	7.5	3.7	0.7	35.5
	400~600万円未満	(1,116)	47.3	38.8	21.0	11.7	10.3	8.2	4.7	0.8	30.4
	600~800万円未満	(522)	50.4	43.7	26.6	14.4	10.0	15.3	6.5	0.8	22.4
	800~1000万円未満	(274)	50.4	39.8	24.1	14.6	11.7	11.3	7.7	0.7	23.4
	1000万円以上	(296)	53.7	56.8	34.5	16.9	13.5	17.9	13.9	1.0	19.6
金融資産 別	500万円未満	(1,011)	40.2	23.2	10.8	8.8	2.6	6.6	1.8	1.2	41.0
	500万円 ~1000万円未満	(509)	47.3	36.0	16.9	11.6	5.9	6.7	2.6	0.6	26.3
	1000万円 ~3000万円未満	(966)	57.5	45.4	26.1	14.2	11.2	9.7	6.6	1.0	17.9
	3000万円 ~5000万円未満	(474)	59.3	49.8	36.1	17.3	16.0	14.1	9.7	0.2	15.2
	5000万円 ~1億円未満	(301)	58.5	58.1	34.6	20.3	24.9	22.6	15.6	1.7	11.6
	1億円以上	(100)	61.0	66.0	40.0	20.0	35.0	30.0	22.0	1.0	13.0
投資 経験別	現投資者	(2,453)	52.3	60.2	34.9	14.0	15.7	15.1	9.6	1.0	12.5
	過去投資者	(980)	46.4	15.5	7.4	11.9	3.8	5.5	0.7	0.8	41.5
	未投資者	(1,722)	36.2	4.2	2.3	9.1	0.6	1.5	0.5	0.2	59.3

※「全体 (構成比)」スコアで降順ソート

6. 全般的な投資への意識と実態

(8)信頼できる資産運用の情報源〔Q11:複数回答〕

- 信頼できる資産運用の情報源は「新聞」(32.7%)、「テレビ番組」(21.9%)が上位に挙がる。
- 投資経験別で見ると、上位メディアの傾向はどの層でも変わらない。ただし、過去投資者・未投資者では現投資者より「特にない・わからない」の割合が高く、特に未投資者では64.0%に及ぶ。
- 投資信託購入意向別で見ると、継続保持意向者では「新聞」「金融機関の担当者」「金融機関の資料」が高い。一方で新規保持意向者では、全体の傾向同様「新聞」「テレビ」が高い。

		n=	新聞	テレビ番組	金融機関の担当者	金融機関の資料	親族や知人、友人の話	情報サイト	ネットの情報	関する商品や資産運用に	投資商品や資産運用に	ベリジヤ刊行物のホームページ	公的機関などのホームページ	る会社の商品を販売している	投資信託の商品を運用している	雑誌	評価機関	る会社の商品を運用している	その他	特にない・わからない
全体 (構成比)		(1,565)	32.7	21.9	14.6	13.0	12.5	12.3	10.7	9.5	8.8	7.6	7.4	4.3	3.1	0.8	40.5			
性別	男性	(2,503)	38.4	21.8	13.0	14.4	6.8	14.8	13.5	10.0	10.0	9.7	8.9	6.6	4.0	0.9	37.3			
	女性	(2,652)	29.6	21.5	16.9	12.0	16.1	8.2	8.5	8.3	7.8	8.1	6.4	3.9	3.2	0.6	42.0			
年代別	60代	(2,367)	31.5	25.0	13.3	10.6	11.4	12.6	11.5	9.9	7.6	8.4	8.6	4.9	3.4	0.4	40.1			
	70代	(1,859)	35.7	19.7	16.2	14.4	12.2	10.7	10.1	8.5	9.2	10.0	6.6	5.4	3.8	1.0	38.7			
	80代以上	(929)	36.0	17.1	17.0	17.3	10.9	9.7	11.0	8.6	11.3	7.6	7.2	5.8	3.8	1.2	40.9			
世帯年収別	200万円未満	(455)	20.7	20.9	9.9	9.7	8.1	7.0	8.1	5.3	5.7	6.6	4.2	2.6	2.6	0.7	49.2			
	200~400万円未満	(1,768)	32.2	21.0	15.2	11.8	11.2	10.6	10.7	8.2	9.6	7.6	5.7	4.8	3.2	0.7	40.2			
	400~600万円未満	(1,116)	39.8	22.0	13.4	13.7	11.3	13.1	11.2	9.8	8.7	9.0	8.4	5.9	2.9	1.3	36.2			
	600~800万円未満	(522)	39.8	22.8	17.0	15.9	13.6	15.3	12.5	10.5	8.8	12.8	10.5	6.9	7.1	0.4	35.2			
	800~1000万円未満	(274)	39.1	24.1	21.5	16.4	14.2	12.0	11.7	10.9	9.9	12.4	12.4	6.6	4.7	-	31.0			
	1000万円以上	(296)	48.6	25.0	26.0	23.0	15.5	17.6	16.9	13.9	10.5	13.5	15.9	9.5	5.4	1.4	24.7			
投資信託商品保有経験別	現保有者	(1,293)	46.6	23.4	31.0	22.4	11.9	15.9	14.7	15.8	9.5	16.9	11.6	8.6	8.4	1.2	21.5			
	過去保有者	(950)	43.5	23.6	12.9	15.6	13.7	18.4	16.6	10.1	11.5	11.4	10.3	9.4	3.6	1.1	27.5			
	非保有経験者	(2,912)	25.0	20.3	8.6	8.3	10.8	7.1	7.4	5.9	7.7	4.5	5.0	2.4	1.5	0.4	51.8			
金融資産別	500万円未満	(1,011)	27.8	23.7	11.3	8.3	8.8	8.8	10.2	7.6	7.9	5.4	5.3	3.9	2.4	0.6	44.9			
	500万円~1000万円未満	(509)	35.4	22.0	11.6	12.2	10.8	14.3	12.8	9.4	9.2	9.2	8.8	4.3	3.3	1.4	33.2			
	1000万円~3000万円未満	(966)	42.1	22.8	18.8	16.1	12.6	15.7	13.9	12.0	9.1	12.6	10.4	6.6	5.4	0.6	29.4			
	3000万円~5000万円未満	(474)	48.1	23.6	23.0	22.2	17.1	18.1	14.6	14.8	13.3	13.7	11.8	11.6	5.5	0.2	21.9			
	5000万円~1億円未満	(301)	54.2	24.9	28.2	24.6	15.0	16.9	15.6	16.9	9.0	14.0	13.3	9.3	6.0	1.0	21.6			
	1億円以上	(100)	57.0	34.0	29.0	24.0	12.0	16.0	17.0	16.0	12.0	17.0	21.0	9.0	9.0	3.0	22.0			
投資経験別	現投資者	(2,453)	46.9	24.9	21.8	19.6	13.4	19.0	15.9	13.5	9.6	14.9	11.7	8.8	6.2	1.0	21.9			
	過去投資者	(980)	30.3	20.5	10.5	10.5	11.4	7.6	9.8	7.8	11.5	5.8	5.4	4.0	2.2	1.0	41.6			
	未投資者	(1,722)	17.2	17.8	8.0	5.5	9.2	2.7	4.4	3.8	6.3	2.0	3.1	0.8	0.6	0.2	64.0			
投資信託購入意向別	継続保持意向者	(489)	56.0	28.4	41.1	30.9	12.7	22.5	21.3	20.9	13.1	25.8	15.7	12.9	13.7	0.8	11.2			
	新規保持意向者	(226)	49.6	37.2	20.8	25.2	14.2	28.3	20.4	22.6	19.9	19.0	20.4	11.9	6.6	0.9	11.1			

※「全体 (構成比)」スコアで降順ソート

6. 全般的な投資への意識と実態

(9-1) 金融商品・投資商品認知状況〔Q12:単一回答_認知計〕

- 金融商品・投資商品の認知状況をみると、「株式」(91.9%)の認知率が最も高く、次いで「投資信託」(84.1%)、「債券」(82.8%)となっている。
- 「投資信託」の認知率は、世帯年収が上がるほど高い。
- 投資信託購入意向別でみると、継続保持意向者・新規保持意向者とも、全体と比べ各商品の認知率が高い。

※認知計：（「自分で購入し保有している」～「（名前だけでも）知ってはいるが、持っていたことはない」）のスコア

(%)

		n=	株式	投資信託	債券	外貨建て商品	不動産投信
全体（構成比）		(1,565)	91.9	84.1	82.8	67.9	58.5
性別	男性	(2,503)	94.2	87.7	86.1	75.3	68.2
	女性	(2,652)	91.6	85.3	82.0	67.0	55.0
年代別	60代	(2,367)	92.9	85.1	83.0	71.3	58.4
	70代	(1,859)	94.4	89.7	86.6	72.1	63.2
	80代以上	(929)	89.9	83.4	81.5	68.0	65.7
世帯年収別	200万円未満	(455)	86.6	77.4	76.9	63.3	50.8
	200～400万円未満	(1,768)	92.4	86.1	83.8	69.2	60.0
	400～600万円未満	(1,116)	94.5	87.3	86.0	74.3	65.7
	600～800万円未満	(522)	95.8	90.8	88.1	77.8	68.8
	800～1000万円未満	(274)	97.1	91.2	88.0	76.6	65.3
	1000万円以上	(296)	97.0	94.6	89.5	83.4	76.0
金融資産別	500万円未満	(1,011)	90.2	78.9	79.5	62.3	52.4
	500万円～1000万円未満	(509)	94.9	89.8	86.1	73.5	63.9
	1000万円～3000万円未満	(966)	96.9	93.4	89.3	81.1	70.0
	3000万円～5000万円未満	(474)	97.7	95.8	92.4	86.9	77.0
	5000万円～1億円未満	(301)	97.3	96.7	92.4	89.7	78.1
	1億円以上	(100)	96.0	93.0	93.0	91.0	87.0
	投資信託購入意向別	継続保持意向者	(489)	98.6	100.0	94.7	92.2
新規保持意向者		(226)	97.3	93.4	91.2	86.3	77.9

※「全体（構成比）」スコアで降順ソート ※「継続保持意向者」は投資信託を認知・現保有が条件であるため、投資信託のスコアは100%となる

6. 全般的な投資への意識と実態

(9-2)金融商品・投資商品保有経験状況〔Q12:単一回答_保有経験計〕

- 金融商品・投資商品の保有経験状況をみると、「株式」(53.6%)の保有経験率が最も高く、次いで「投資信託」(43.5%)、「債券」(28.2%)となっている。
- 「投資信託」の保有経験率は、女性より男性で、60代より70代・80代以上で、また世帯年収が上がるほど、高い。
- 投資信託購入意向別でみると、継続保持意向者は全体と比べ各商品の保有経験率が高い。新規保持意向者は「株式」の保有経験率は全体と比べ高いが、他の商品については全体並み。

※保有経験計：（「自分で購入し保有している」～「以前保有していたことはあるが、今は保有していない」）のスコア (%)

		n=	株式	投資信託	債券	外貨建て商品	不動産投資
全体（構成比）		(1,565)	53.6	43.5	28.2	21.9	11.5
性別	男性	(2,503)	64.4	45.7	30.0	25.2	13.5
	女性	(2,652)	45.3	41.4	27.1	21.9	10.8
年代別	60代	(2,367)	47.1	37.1	22.7	20.7	10.2
	70代	(1,859)	60.7	48.4	31.5	24.5	12.5
	80代以上	(929)	61.6	50.1	37.1	28.8	16.1
世帯年収別	200万円未満	(455)	39.1	30.5	19.6	19.3	6.4
	200～400万円未満	(1,768)	52.7	43.3	26.5	21.4	10.7
	400～600万円未満	(1,116)	60.1	46.8	32.0	24.9	13.4
	600～800万円未満	(522)	63.4	46.7	32.6	27.6	14.8
	800～1000万円未満	(274)	60.6	53.3	36.5	30.7	16.8
	1000万円以上	(296)	75.3	59.8	44.3	36.8	22.0
金融資産別	500万円未満	(1,011)	39.2	24.4	12.3	11.8	5.4
	500万円～1000万円未満	(509)	58.2	44.0	25.5	20.2	10.0
	1000万円～3000万円未満	(966)	70.6	54.9	35.8	28.5	14.2
	3000万円～5000万円未満	(474)	76.6	71.9	50.8	40.5	22.4
	5000万円～1億円未満	(301)	80.1	78.1	60.1	51.8	32.2
	1億円以上	(100)	89.0	76.0	66.0	56.0	33.0
	投資信託購入意向別	継続保持意向者	(489)	87.3	100.0	60.9	52.6
新規保持意向者		(226)	66.4	45.6	26.5	23.0	11.9

※「全体（構成比）」スコアで降順ソート ※「継続保持意向者」は投資信託を認知・現保有が条件であるため、投資信託のスコアは100%となる

6. 全般的な投資への意識と実態

(9-3)金融商品・投資商品保有状況〔Q12:単一回答_現保有計〕

- 金融商品・投資商品の保有状況をみると、「株式」(36.5%)の保有率が最も高く、次いで「投資信託」(24.2%)となっている。
- 「投資信託」の保有率は、60代より70代・80代以上で高く、また世帯年収が上がるほど高い。
- 投資信託購入意向別でみると、継続保持意向者は全体と比べ各商品の保有率が高い。新規保持意向者は「株式」の保有率は全体と比べ高いが、他の商品については全体と同等かそれ以下。

※現保有計：（「自分で購入し保有している」+「自分で購入してはいないが、贈与や相続を受けて保有している」）のスコア

		n=	株式	投資信託	債券	外貨建て商品	不動産投信
全体（構成比）		(1,565)	36.5	24.2	12.1	10.2	5.2
性別	男性	(2,503)	44.5	26.6	11.3	11.5	6.2
	女性	(2,652)	30.8	23.6	12.1	10.7	5.2
年代別	60代	(2,367)	31.9	21.6	10.1	11.0	4.8
	70代	(1,859)	42.2	27.1	11.9	10.9	5.7
	80代以上	(929)	42.3	29.8	15.3	11.9	7.9
世帯年収別	200万円未満	(455)	22.9	16.5	6.2	8.8	3.1
	200～400万円未満	(1,768)	34.2	23.5	9.9	9.5	5.1
	400～600万円未満	(1,116)	43.4	26.9	14.9	11.8	5.9
	600～800万円未満	(522)	46.0	29.7	13.0	14.0	6.3
	800～1000万円未満	(274)	45.6	34.3	16.8	13.5	7.7
	1000万円以上	(296)	59.8	38.5	20.9	21.6	13.5
金融資産別	500万円未満	(1,011)	17.3	10.1	3.4	2.8	1.5
	500万円～1000万円未満	(509)	40.1	21.2	6.3	7.1	3.5
	1000万円～3000万円未満	(966)	53.1	34.9	14.5	14.1	6.5
	3000万円～5000万円未満	(474)	62.9	49.6	24.3	20.9	10.8
	5000万円～1億円未満	(301)	70.8	56.1	36.9	34.2	17.6
	1億円以上	(100)	80.0	57.0	46.0	42.0	26.0
	投資信託購入意向別	継続保持意向者	(489)	76.9	100.0	33.5	33.3
新規保持意向者		(226)	45.6	-	6.6	10.6	3.1

※「全体（構成比）」スコアで降順ソート ※「継続保持意向者」は投資信託を認知・現保有が条件であるため、投資信託のスコアは100%となる

7. 60 歳代以上の現在の生活や 今後への意識

7. 60歳以上の現在の生活や今後への意識

(1) 普段の生活の楽しみ・大切にしていること〔Q2:複数回答〕

- 普段の生活の楽しみ・大切にしていることは、「趣味」(64.7%)、「家族との時間」(54.2%)、「健康管理」(53.8%)、「旅行」(51.2%)が上位に挙げた。
- 投資信託商品保有経験別で見ると、現保有者は非保有経験者より全般的にスコアが高く、楽しみ・大切にしていることが多い様子。

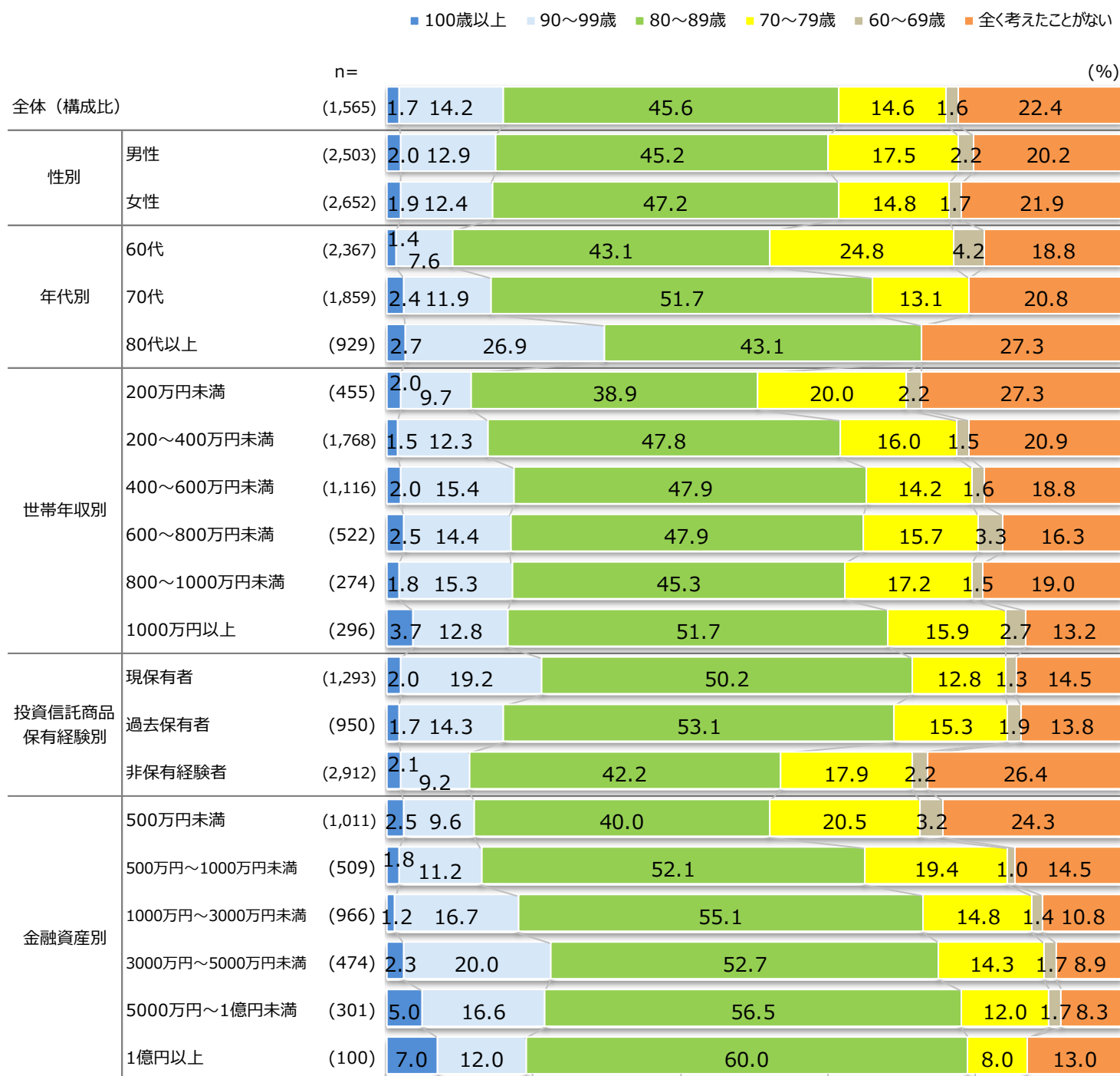
		n=	趣味	家族との時間	健康管理	旅行	知友人との時間	外食	家事	仕事	ボランティア	子育て(孫を含む)	その他	特にない
全体 (構成比)		(1,565)	64.7	54.2	53.8	51.2	42.7	26.1	23.6	12.5	10.0	9.5	2.0	6.3
性別	男性	(2,503)	68.8	54.9	54.9	50.2	33.8	22.5	13.5	16.7	9.7	9.4	1.2	6.9
	女性	(2,652)	61.1	55.0	50.3	53.9	50.4	31.8	29.4	10.6	9.4	9.7	2.0	5.5
年代別	60代	(2,367)	60.7	53.7	43.9	51.8	38.9	30.2	19.4	19.1	6.3	10.7	1.7	6.9
	70代	(1,859)	69.7	56.9	57.7	55.8	47.4	26.9	23.5	9.8	13.2	9.7	1.1	4.5
	80代以上	(929)	65.7	54.4	64.3	45.4	41.0	20.7	24.1	6.8	10.8	6.4	2.3	7.6
世帯年収別	200万円未満	(455)	56.9	29.0	43.5	33.6	33.2	20.0	18.5	8.8	8.8	7.3	3.3	13.4
	200~400万円未満	(1,768)	63.9	54.0	55.5	49.1	42.2	23.4	23.5	9.8	9.8	8.7	1.8	6.2
	400~600万円未満	(1,116)	69.3	59.9	54.8	57.3	44.1	28.7	22.0	14.2	11.9	10.1	1.3	4.2
	600~800万円未満	(522)	66.3	64.4	54.0	60.0	44.6	30.3	22.8	18.8	9.2	9.4	1.5	5.2
	800~1000万円未満	(274)	67.5	59.9	51.8	64.6	44.2	37.2	19.7	21.9	5.8	12.4	1.1	3.6
	1000万円以上	(296)	70.9	65.5	47.3	63.2	47.3	39.9	18.9	25.0	10.5	14.9	0.7	3.7
投資信託商品保有経験別	現保有者	(1,293)	70.0	56.2	59.2	63.5	49.0	33.1	22.0	13.6	12.5	10.6	1.5	3.6
	過去保有者	(950)	68.0	60.4	59.5	56.5	49.6	28.5	24.8	12.5	12.5	10.4	1.7	3.7
	非保有経験者	(2,912)	61.5	52.6	47.3	45.6	37.1	24.3	20.6	13.8	7.3	8.8	1.6	8.1
金融資産別	500万円未満	(1,011)	58.4	45.5	47.0	42.0	33.5	22.7	19.2	16.2	8.8	9.1	1.8	9.2
	500万円~1000万円未満	(509)	67.4	58.0	55.0	51.3	40.1	27.7	22.6	16.1	9.8	9.0	1.0	3.5
	1000万円~3000万円未満	(966)	69.2	58.9	58.5	58.9	46.5	28.0	21.2	12.6	10.9	10.6	1.1	2.9
	3000万円~5000万円未満	(474)	72.4	61.4	55.9	65.0	52.1	31.9	24.3	14.3	11.0	13.1	1.9	3.2
	5000万円~1億円未満	(301)	71.8	65.1	59.8	65.4	48.8	35.2	22.9	14.3	10.3	11.3	2.0	4.7
	1億円以上	(100)	69.0	53.0	50.0	74.0	41.0	40.0	19.0	13.0	14.0	7.0	3.0	5.0

※「全体 (構成比)」スコアで降順ソート

7. 60歳以上の現在の生活や今後への意識

(2)自身の想定寿命〔Q29:単一回答〕

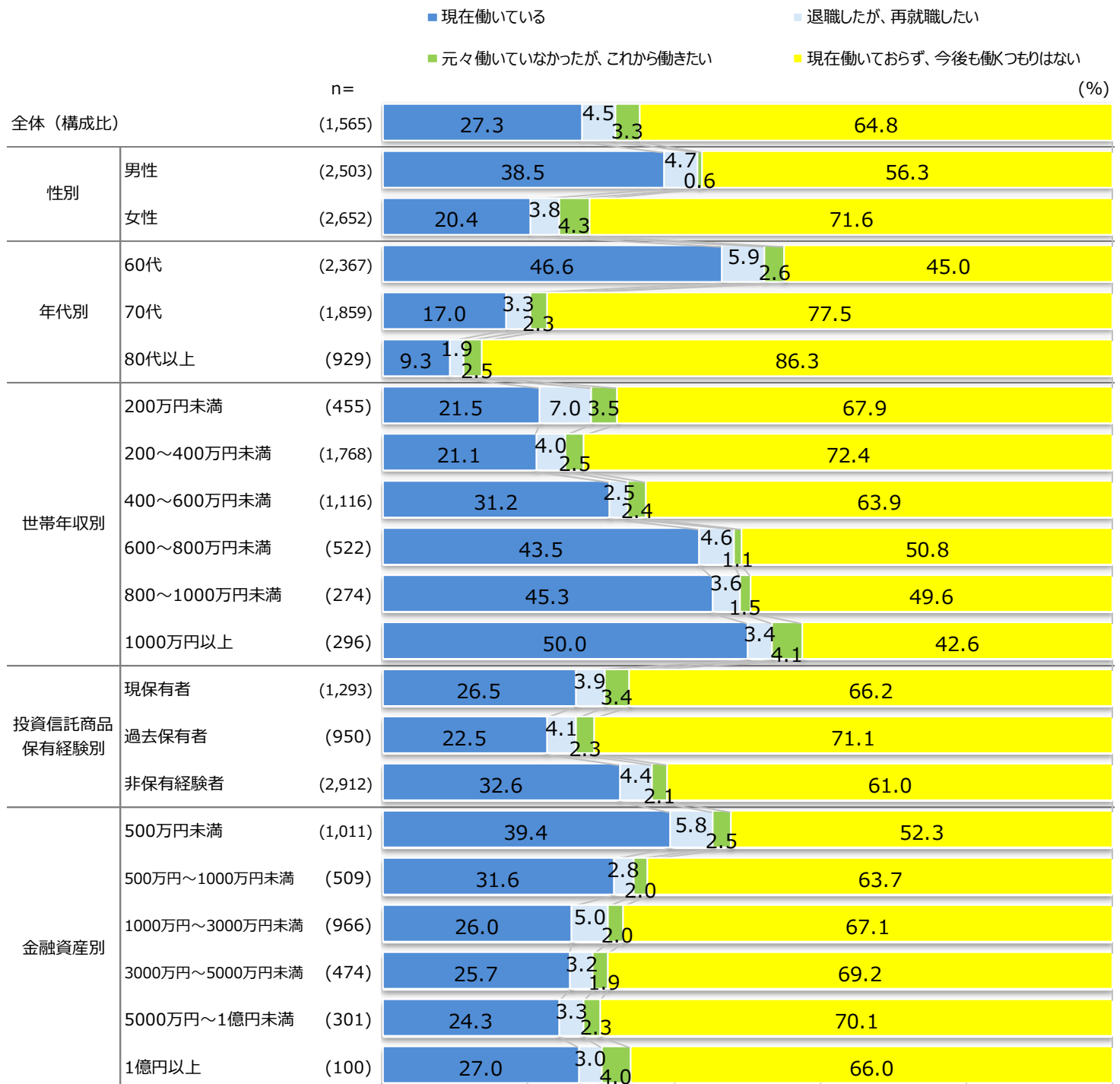
- 自身の想定寿命は、「80～89歳」が最も多く、45.6%。
- 投資信託商品保有経験別でみると、現保有者は「90～99歳」(19.2%)の割合が過去保有者や非保有経験者より高い。一方で非保有経験者では、「全く考えたことがない」(26.4%)の割合が現保有者や過去保有者より高い。



7. 60歳代以上の現在の生活や今後への意識

(3)就労状況・意識〔Q23:単一回答〕

- 就労状況・意識は、「現在働いている」27.3%、就労意向者が7.9%（「再就職したい」4.5% + 「これから働きたい」3.3%）、「現在働いておらず、今後も働くつもりはない」64.8%。



7. 60歳代以上の現在の生活や今後への意識

(4)年齢を重ねることによる不安〔Q24:複数回答〕

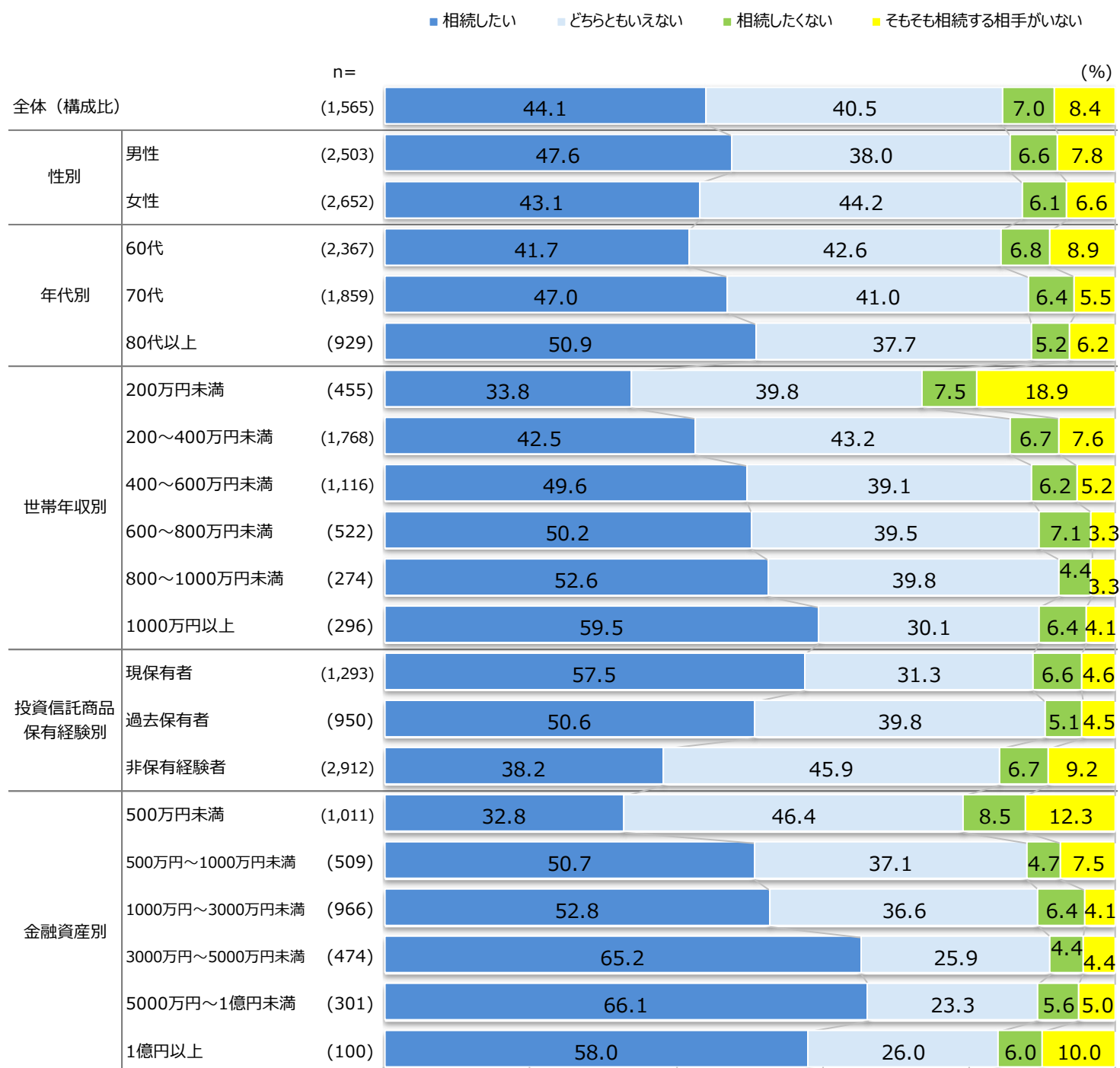
- 年齢を重ねることによる不安は、「病気になること」(62.6%)、「筋力が衰えたり骨が弱くなったりすること」(52.5%)が上位に挙がる。
- 投資信託商品保有経験別でみると、現保有者は「物忘れがひどくなること」「家族を介護すること」「頼れる人が少ない・いないこと」が非保有経験者より高い。一方で非保有経験者では「自分の生活費」が現保有者・過去保有者より高い。

		n=	病気になること	筋力が衰えたり骨が弱くなったりすること	物忘れがひどくなること	自分の生活費	通院等、医療関連の費用	配偶者や親など家族を介護すること	頼れる人が少ない・いないこと	その他	特にない
全体 (構成比)		(1,565)	62.6	52.5	39.5	35.9	33.6	31.6	19.6	0.6	10.4
性別	男性	(2,503)	62.2	48.4	35.4	38.1	35.8	31.9	17.8	0.6	10.6
	女性	(2,652)	65.0	57.8	45.7	38.5	34.0	33.3	21.9	0.6	8.9
年代別	60代	(2,367)	62.9	50.5	38.7	45.4	35.6	35.8	20.6	0.4	9.3
	70代	(1,859)	66.1	55.9	42.6	33.6	34.9	31.2	18.0	0.5	9.5
	80代以上	(929)	60.6	54.7	41.9	29.6	32.9	27.4	21.9	1.4	11.4
世帯年収別	200万円未満	(455)	64.0	46.8	37.8	47.5	33.0	15.2	29.0	1.1	10.5
	200~400万円未満	(1,768)	64.6	55.9	41.9	41.4	37.6	34.6	21.5	0.6	8.7
	400~600万円未満	(1,116)	62.1	50.4	39.3	33.2	32.3	34.5	16.2	0.8	10.1
	600~800万円未満	(522)	63.2	52.5	39.5	34.3	34.3	35.4	18.8	0.4	10.5
	800~1000万円未満	(274)	65.0	55.1	41.2	36.5	28.8	36.1	14.6	-	6.6
	1000万円以上	(296)	64.5	54.1	42.2	29.4	29.4	39.9	15.9	0.3	9.5
投資信託商品保有経験別	現保有者	(1,293)	65.8	55.2	47.3	33.7	34.3	35.0	23.4	1.1	6.3
	過去保有者	(950)	66.1	57.5	42.1	32.6	36.1	34.9	19.9	0.4	7.3
	非保有経験者	(2,912)	61.8	50.9	37.3	42.2	34.6	30.8	18.3	0.4	12.1
金融資産別	500万円未満	(1,011)	59.5	48.8	37.4	54.8	37.9	27.9	22.7	0.5	10.6
	500万円~1000万円未満	(509)	65.8	52.8	37.1	42.4	34.2	32.4	19.4	0.6	5.7
	1000万円~3000万円未満	(966)	65.8	56.7	42.9	34.9	37.0	37.9	19.6	1.1	6.1
	3000万円~5000万円未満	(474)	71.9	61.8	48.9	26.2	34.6	38.8	21.1	0.4	5.9
	5000万円~1億円未満	(301)	66.8	59.1	43.5	21.9	26.2	34.2	21.9	0.3	8.0
	1億円以上	(100)	62.0	49.0	44.0	14.0	15.0	37.0	25.0	2.0	17.0

7. 60歳代以上の現在の生活や今後への意識

(5)財産の相続意向〔Q25:単一回答〕

- 自分の財産の相続意向は、「相続したい」が44.1%で最も高く、僅差で「どちらともいえない」(40.5%)が続く。「相続したくない」は7.0%、「相続する相手がない」は8.4%となっている。
- 投資信託商品保有経験別で見ると、現保有者では「相続したい」が57.5%と高い。一方、非保有経験者では「相続したい」は38.2%に留まり、「どちらともいえない」(45.9%)や「相続する相手がない」(9.2%)が現保有者・過去保有者より高くなっている。

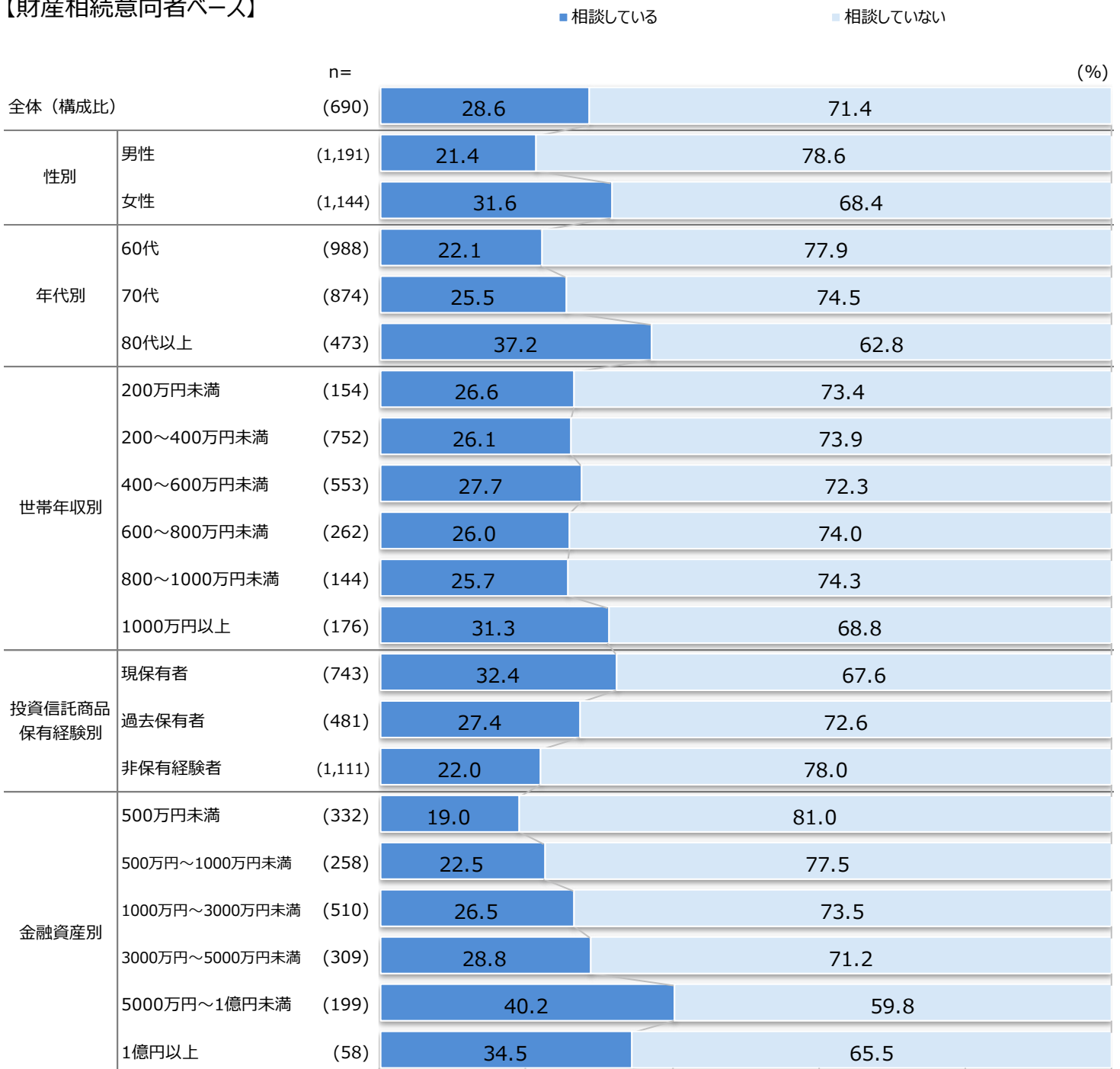


7. 60歳代以上の現在の生活や今後への意識

(6)財産相続の相談状況〔Q26:単一回答〕

- 相続意向者のうち、相続について相続相手と「相談している」は28.6%。
- 投資信託商品保有経験別で見ると、現保有者では「相談している」が32.4%である一方、非保有経験者では「相談している」は22.0%に留まる。

【財産相続意向者ベース】



7. 60歳代以上の現在の生活や今後への意識

(7)引き継いでもらいたい資産〔Q27:複数回答〕

- 相続意向者において、引き継いでもらいたい資産は、「現金・預貯金」(83.6%)、「家屋」(71.4%)、「土地」(68.1%)が上位に挙がる。
- 「投資信託」は、投資信託現保有者においては63.5%が相続意向を持っている。

【財産相続意向者ベース】

		n=	家屋	土地	宝石等の貴金属や	美術品・骨董品	その他の実物資産	現金・預貯金	生命保険の保険金	株式	投資信託	債券	生命保険以外の	その他の金融資産	特にな	(%)
全体（構成比）		(690)	71.4	68.1	15.9	5.2	1.3	83.6	41.9	32.9	19.4	10.1	0.6	0.6	3.5	
性別	男性	(1,191)	80.8	77.9	10.2	5.5	1.1	82.1	37.4	38.5	21.5	8.6	0.3	0.7	2.9	
	女性	(1,144)	58.0	54.5	21.3	4.6	1.1	84.6	40.6	27.8	20.5	9.6	0.7	0.5	3.8	
年代別	60代	(988)	65.4	63.4	16.0	4.1	0.9	84.4	38.2	26.0	16.8	6.9	0.3	0.3	4.1	
	70代	(874)	71.7	68.4	16.4	5.5	0.6	81.6	39.2	37.5	22.9	9.4	0.7	0.5	3.3	
	80代以上	(473)	74.6	69.3	13.5	6.1	2.5	84.4	40.0	40.6	26.4	13.3	0.4	1.5	1.7	
世帯年収別	200万円未満	(154)	65.6	56.5	9.7	2.6	1.9	81.8	26.6	16.2	9.7	5.2	1.9	0.6	4.5	
	200～400万円未満	(752)	70.3	65.4	12.4	3.1	1.2	82.7	36.3	29.5	16.9	8.2	0.7	0.7	2.4	
	400～600万円未満	(553)	73.1	68.9	15.0	5.8	1.3	83.9	42.9	38.9	23.1	11.4	0.4	0.5	3.1	
	600～800万円未満	(262)	73.3	72.1	18.3	6.1	1.1	87.0	36.3	40.8	26.0	9.2	-	1.5	2.7	
	800～1000万円未満	(144)	70.1	68.8	20.1	4.9	1.4	85.4	42.4	37.5	29.9	11.1	0.7	-	1.4	
	1000万円以上	(176)	73.3	77.3	28.4	13.1	-	87.5	52.3	53.4	36.9	15.9	-	0.6	2.3	
投資信託商品保有経験別	現保有者	(743)	74.2	69.9	18.7	6.5	1.5	91.0	51.1	56.3	63.5	19.9	0.4	0.4	1.2	
	過去保有者	(481)	71.1	69.6	16.2	5.6	1.5	85.7	36.8	38.5	2.5	8.3	0.6	0.6	1.9	
	非保有経験者	(1,111)	66.0	62.8	13.3	3.9	0.7	77.2	31.7	15.7	0.6	2.3	0.5	0.7	5.4	
金融資産別	500万円未満	(332)	62.0	56.9	12.3	2.7	1.5	68.4	25.0	11.4	5.1	1.2	0.3	0.3	4.8	
	500万円～1000万円未満	(258)	75.6	71.3	12.8	5.4	0.8	82.9	27.1	29.1	14.3	2.3	-	-	1.9	
	1000万円～3000万円未満	(510)	73.3	70.0	14.1	3.5	1.2	90.2	41.0	37.8	21.8	8.0	1.2	1.2	1.0	
	3000万円～5000万円未満	(309)	75.4	70.9	17.5	4.5	1.3	94.8	46.6	47.6	35.0	16.2	0.6	0.6	0.6	
	5000万円～1億円未満	(199)	76.4	72.4	21.1	10.1	2.0	94.0	56.8	60.3	43.7	27.1	0.5	1.0	1.5	
	1億円以上	(58)	77.6	79.3	32.8	12.1	3.4	93.1	56.9	79.3	51.7	36.2	-	1.7	-	

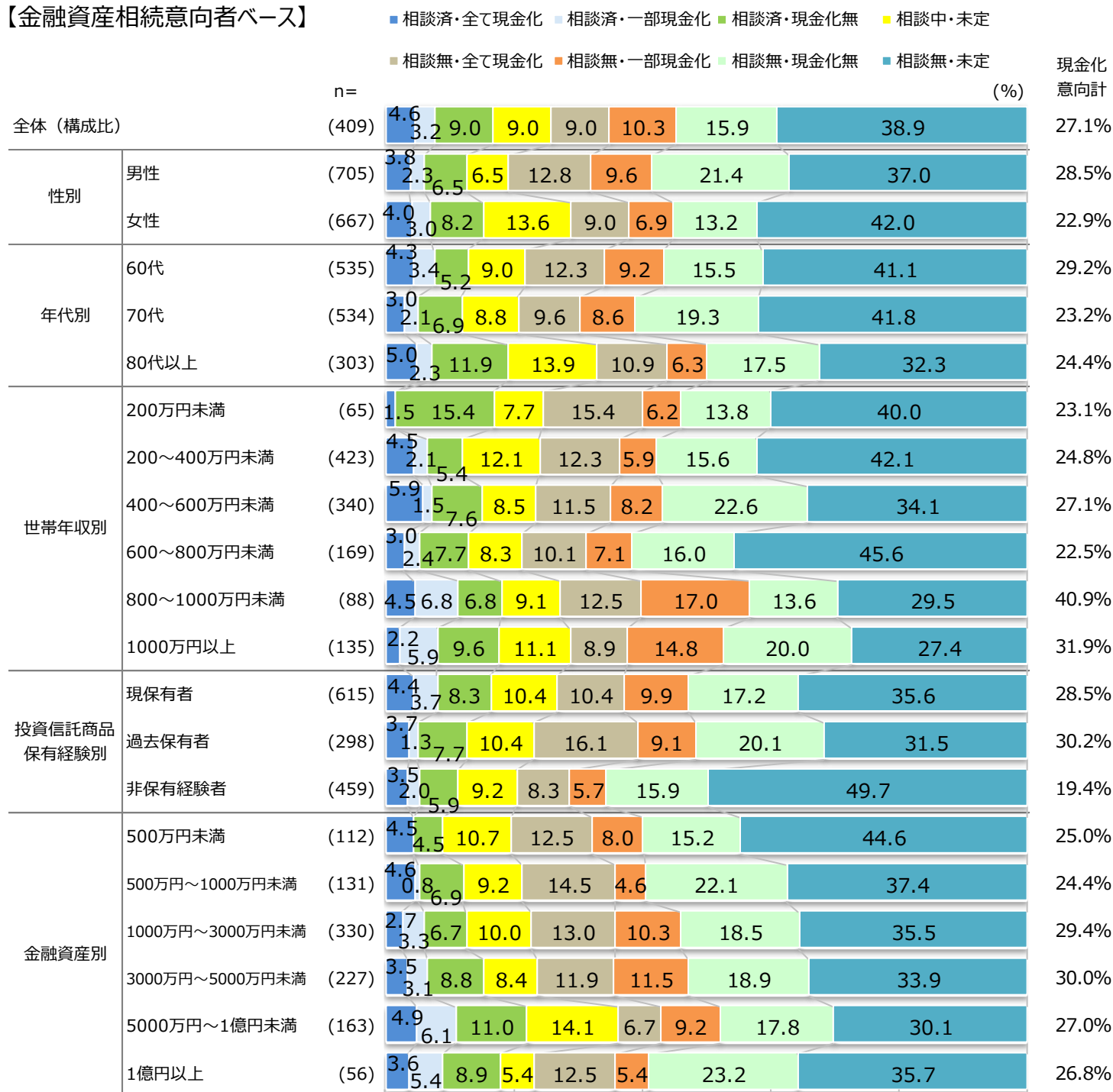
※カテゴリごとに「全体（構成比）」スコアで降順ソート

7. 60歳代以上の現在の生活や今後への意識

(8)相続する資産の現金化意向〔Q28:単一回答〕

- 金融資産相続意向者のうち、現金化意向者は27.1%。その内訳は、「相談済・全て現金化」(4.6%)、「相談済・一部現金化」(3.2%)、「相談済・現金化無」(9.0%)、「相談無・全て現金化」(9.0%)、「相談無・一部現金化」(10.3%)、「相談無・現金化無」(15.9%)、「相談中・未定」(38.9%)を合わせて24.9%。
現金化をしない割合は、「相談済・現金化無」(9.0%)と「相談無・現金化無」(15.9%)を合わせて24.9%。
現金化について未定の割合は、「相談中・未定」(9.0%)と「相談無・未定」(38.9%)を合わせて47.9%。

【金融資産相続意向者ベース】




※現金化意向計:相談済・相談無 (「全て現金化」+「一部現金化」) のスコア


末尾添付資料：調査票

商品に関するアンケート

下記アンケートにご協力お願いいたします。

 「調査についての守秘義務」の徹底をお願いしています。決して第三者に口外しないよう、ご協力をお願いします。

 アンケート中は、ブラウザの「戻る」ボタンは押さぬようご注意ください。

-  必須入力
- 排他選択肢：7. いない

Q1 100%

あなたのご家族を全てお選びください。 ※同居・別居は問いません。

複数回答 必須回答

1 配偶者

2 親（義理の親を含む）

3 子

4 兄弟姉妹

5 孫

6 その他

7 いない



ここで改ページ

末尾添付資料：調査票

- 選択肢セレクト条件
選択肢【7】：【Q1】で3,5,6と答えた方
選択肢【8】：【Q1】で1-6と答えた方
- ①必須入力
- 排他選択肢：12. 特にない
- 選択肢ランダムイズ：選択肢1-10

Q2

あなたの普段の生活における楽しみや大切にしていることを全てお選びください。

✓ 複数回答 ★ 必須回答

- 1 趣味
- 2 仕事
- 3 ボランティア
- 4 家事
- 5 外食
- 6 旅行
- 7 子育て（孫・ひ孫を含む）
- 8 家族との時間
- 9 友人・知人との時間
- 10 健康管理
- 11 その他
- 12 特にない



ここで改ページ

- ① 必須入力

Q3

あなたの世帯で保有されている「金融資産」の概算の評価額としてあてはまるものをお選びください。

金融資産とは、モノではなく金銭に近い形で保有している資産を指します。

金融資産：現金、預貯金、株、国債、投資信託など

金融資産でない：家、土地、貴金属、宝石、美術品など

① 単一回答 ★ 必須回答

▲ とじる

- ① 500万円未満
- ② 500万円～1000万円未満
- ③ 1000万円～3000万円未満
- ④ 3000万円～5000万円未満
- ⑤ 5000万円～1億円未満
- ⑥ 1億円～5億円未満
- ⑦ 5億円以上
- ⑧ わからない・答えたくない



ここで改ページ

末尾添付資料：調査票

- ① 必須入力

Q4

あなたは、投資をしたことがありますか。（贈与や相続で金融商品を取得した場合等も含む）

最もあてはまるものをお選びください。

※金融商品とは、銀行・証券会社・保険会社が扱う商品を指します。

単一回答 必須回答

▲ とじる

- ① 現在投資している
- ② 現在は投資していないが、していたことはある
- ③ 投資したことはない



ここで改ページ

- セレクト条件：【Q4】で1,2と答えた方
- 選択肢セレクト条件
選択肢【6】：((AGE >= 70) && (AGE <= 200))

- ① 必須入力

Q5

あなたが初めて投資をした年齢をお選びください。

※贈与や相続で金融商品を取得した場合等も「投資」に含んでお答えください。

単一回答 必須回答

▲ とじる

- ① 20代以前
- ② 30代
- ③ 40代
- ④ 50代
- ⑤ 60代
- ⑥ 70代以降
- ⑦ 覚えていない



ここで改ページ

末尾添付資料：調査票

- セレクト条件：【Q4】で1,2と答えた方
- ①必須入力
- 選択肢ランダムイズ：選択肢1-7

Q6

あなたが初めて投資をしたきっかけは何ですか。（いくつでも）

✓ 複数回答 ★ 必須回答

- 1 ライフステージが変化した（就職・結婚・子供が生まれた等）
- 2 退職金をもらった
- 3 家族や友人、知人に勧められた
- 4 金融機関から勧められた
- 5 定期預金や保険が満期になりお金が戻ってきた
- 6 テレビや雑誌、インターネット等の情報に影響を受けた
- 7 贈与や相続を受けた
- 8 自分から自然と興味を持った
- 9 その他



ここで改ページ

末尾添付資料：調査票

- セレクト条件：【Q4】で1,2と答えた方
- ①必須入力
- 排他選択肢：11. 特に理由はない
- 選択肢ランダムイズ：選択肢1-9

Q7

あなたが投資している（投資した）理由としてあてはまるものを全てお選びください。

✓ 複数回答

★ 必須回答

とじる

- 1 預貯金の金利が低いから
- 2 資産を分けて保有しておくため
- 3 相続や贈与の資金のため
- 4 自分の生活費のため
- 5 将来の医療・介護費用の負担に備えるため
- 6 趣味やレジャーなどの遊興費に充てるため
- 7 社会とのつながりを持つため
- 8 経済について学ぶため
- 9 投資そのものを楽しむため
- 10 その他
- 11 特に理由はない



ここで改ページ

末尾添付資料：調査票

- セレクト条件：【Q4】で3と答えた方
- ①必須入力
- 排他選択肢：10. 特にない
- 選択肢ランダムイズ：選択肢1-8

Q8

あなたが投資をしたことがない理由としてあてはまるものを全てお選びください。

✓ 複数回答 ★ 必須回答

- 1 損をするのが怖いから
- 2 投資の知識がないから
- 3 そもそも投資に興味がないから
- 4 資産を増やす必要性を感じないから
- 5 周りに投資している人がいないから
- 6 賭け事のように嫌だから
- 7 なんとなく機会がなかったから
- 8 投資するための資金がないから
- 9 その他
- 10 特にない



ここで改ページ

末尾添付資料：調査票

- セレクト条件：【Q4】で1,2と答えた方
- ①必須入力(全項目)
- 項目ランダムイズ：項目1-9

Q9

以下の投資の経験や考え方について、あなたはどの程度あてはまりますか。それぞれお選びください。

◎ 単一回答 ★ 必須回答

▲ とじる

0/9

1	年齢を重ねるにつれて、自分の判断に自信がなくなってきた	▼
2	経験を重ねて、自分の判断に自信を持っている	▼
3	年齢を重ねるにつれて、ローリスク・ローリターンの投資をするようになった	▼
4	経験を重ねて、ハイリスク・ハイリターンの投資をするようになった	▼
5	以前より運用期間を短く考えるようになった	▼
6	以前より自分で調べて投資することを面倒に思うようになった	▼
7	積立投資（定期的な購入による投資）の効果を実感したことがある	▼
8	過去に想像以上のハイリターンを得たことがある	▼
9	過去に自分の投資（購入商品や購入額等）を後悔したことがある	▲

- ① とてもあてはまる
-
- ② あてはまる
-
- ③ どちらともいえない
-
- ④ あてはまらない
-
- ⑤ 全くあてはまらない
-



ここで改ページ

- ①必須入力
- 排他選択肢：9. 金融商品は利用を検討しない
- 選択肢ランダムイズ：選択肢1-7

Q10

あなたが今後利用を検討してもいいと思う金融商品を全てお選びください。

※金融商品とは、銀行・証券会社・保険会社が扱う商品を指します。

※既に利用しているものについては、今後も利用したいかどうかをお答えください。

✓ 複数回答

★ 必須回答

▲ とじる

- 1 投資信託
- 2 株式
- 3 債券
- 4 不動産投信（J-REIT）（不動産に投資する日本の証券取引所に上場しているもの）
- 5 外貨建て商品（外貨預金や外貨建てMMF、外国債券など）
- 6 預貯金
- 7 保険
- 8 その他の金融商品
- 9 金融商品は利用を検討しない



ここで改ページ

末尾添付資料：調査票

- ①必須入力
- 排他選択肢：15. 特にない・わからない

Q11

資産運用（預貯金・保険を含む）の情報源として信頼できるものを全てお選びください。

✓ 複数回答 ★ 必須回答

↓ とじる

- 1 テレビ番組
- 2 雑誌
- 3 新聞
- 4 投資商品や資産運用に関する本
- 5 金融機関（証券会社、銀行など）の担当者
- 6 金融機関（証券会社、銀行など）の資料
- 7 投資商品を販売している会社（証券会社、銀行など）のホームページ
- 8 投資商品を運用している会社（アセットマネジメント）のホームページ
- 9 評価機関（モーニングスターなど）
- 10 情報サイト（ヤフーファイナンスなど）
- 11 公的機関などのホームページや刊行物
- 12 ネットの情報（ファイナンシャルプランナーや個人投資家のブログなど）
- 13 親族や知人、友人の話
- 14 その他
- 15 特にない・わからない



ここで改ページ

- ① 必須入力(全項目)

Q12

あなたは以下の金融商品・投資商品を保有していますか。

※世帯としてではなくあなたご自身が保有しているものについてお答えください。

① 単一回答 ★ 必須回答

↑ とじる

0/5

1	投資信託	▼
2	株式	▼
3	債券	▼
4	不動産投信（J-REIT）（不動産に投資する日本の証券取引所に上場しているもの）	▼
5	外貨建て商品（外貨預金や外貨建てMMF、外国債券など）	▲

- ① 自分で購入し保有している
- ② 自分で購入してはいないが、贈与や相続を受けて保有している
- ③ 以前保有していたことはあるが、今は保有していない
- ④ （名前だけでも）知ってはいるが、持っていたことはない
- ⑤ この商品は知らない



ここで改ページ

- セレクト条件：【Q12項目1】で1,2と答えた方
- ①必須入力：項目【1】
- ①必須入力：項目【2】
- ①必須入力：項目【3】
- ①必須入力：項目【4】
- ①必須入力：項目【5】

Q13

あなたご自身で保有している投資信託の種類は何ですか。

保有しているものに関しては、保有期間として最もあてはまるものを1つお選びください。

※複数保有している場合は、最も長く保有しているものについてお答えください。

【その他・種類のわからないもの以外必須】

◎ 単一回答

▲ とじる

0/7

1	インデックス型（株価等の指数と同じ値動きになるよう目指して運用する投資信託）	▼
2	毎月分配型（毎月決算を行い、収益などの一部を毎月分配する運用方針の投資信託）	▼
3	テーマ型ファンド（特定のテーマに関連した業種、企業に投資する投資信託）	▼
4	アクティブ型ファンド（株価等の指数を上回る成果を目指して運用する投資信託）	▼
5	バランス型ファンド（株式、債券などいくつかの資産に分散して投資する投資信託）	▼
6	その他	▼
7	種類のわからないもの	▲

保有している

- ① 持ち始めてから1年未満
- ② 持ち始めてから1年以上2年未満
- ③ 持ち始めてから2年以上5年未満
- ④ 持ち始めてから5年以上
- ⑤ 保有しているが、期間はわからない・覚えていない

保有していない

- ⑥ この種類の投資信託は保有していない



ここで改ページ

末尾添付資料：調査票

- セレクト条件 項目【1】 - 【5】：Q13項目【1】 - 【5】で1-5と答えた方
- セレクト条件 項目【6】：(countif(Q13, "S6,7", "1-5") >= 1)
- ①必須入力(全項目)
- マルチの選択数：
上限を設定→【3】個まで選択
- 排他選択肢：11. 特に理由はない
- 選択肢ランダムイズ：選択肢1-9

Q14

あなたご自身で投資信託を保有している理由として、あてはまるものをそれぞれ3つまでお選びください。

※複数保有している場合は、最も長く保有しているものについてお答えください。

✓ 複数回答 (3個まで選択)

★ 必須回答

とじる

0/6

- | | | |
|---|--|---|
| 1 | インデックス型（株価等の指数と同じ値動きになるよう目指して運用する投資信託） | ▼ |
| 2 | 毎月分配型（毎月決算を行い、収益などの一部を毎月分配する運用方針の投資信託） | ▼ |
| 3 | テーマ型ファンド（特定のテーマに関連した業種、企業に投資する投資信託） | ▼ |
| 4 | アクティブ型ファンド（株価等の指数を上回る成果を目指して運用する投資信託） | ▼ |
| 5 | バランス型ファンド（株式、債券などいくつかの資産に分散して投資する投資信託） | ▼ |
| 6 | その他・種類のわからないもの | ▲ |

末尾添付資料：調査票

1 預貯金の金利が低いから

2 資産を分けて保有しておくため

3 相続や贈与の資金のため

4 自分の生活費のため

5 将来の医療・介護費用の負担に備えるため

6 趣味やレジャーなどの遊興費に充てるため

7 社会とのつながりを持つため

8 経済について学ぶため

9 投資そのものを楽しむため

10 その他

11 特に理由はない

✖ 閉じる



ここで改ページ

- セレクト条件：【Q12項目1】で1,2と答えた方
- ①必須入力
- 排他選択肢：5. わからない・覚えていない

Q15

あなたご自身で保有している投資信託の口座の種類としてあてはまるものを全てお選びください。

✓ 複数回答

★ 必須回答

▲ とじる

1 通常の課税口座（特定口座/一般口座）

2 つみたてNISA

3 iDeCo

4 NISA

5 わからない・覚えていない



ここで改ページ

末尾添付資料：調査票

- セレクト条件：【Q12項目1】で1,2と答えた方
- ①必須入力

Q16

あなたご自身で保有している投資信託の現在価値の合計としてあてはまるものをお選びください。

① 単一回答 ★ 必須回答

とじる

- ① 100万円未満
- ② 100万円～300万円未満
- ③ 300万円～500万円未満
- ④ 500万円～800万円未満
- ⑤ 800万円～1000万円未満
- ⑥ 1000万円～5000万円未満
- ⑦ 5000万円～1億円未満
- ⑧ 1億円～5億円未満
- ⑨ 5億円以上
- ⑩ わからない・答えたくない

ここでも改ページ

- セレクト条件：【Q12項目1】で1,2と答えた方
- ①必須入力(全項目)
- 排他選択肢：11. 特にない
- 選択肢ランダムイズ：選択肢1-9
- 包含チェック：項目【1】×項目【2】
包含チェックする選択肢：1-11
- SA 項目【2】

Q17

あなたが投資信託を選ぶ基準をそれぞれお選びください。

✓ 複数回答 ★ 必須回答

0/2

- 1 選ぶ基準（全て） ▼
- 2 最も重視する基準（1つ） ▲

末尾添付資料：調査票

① 人気がある

② 運用資産（純資産残高）が多い

③ 運用実績が良い

④ 手数料が安い

⑤ 定期的な分配金がある

⑥ 値下がりの不安が少ない

⑦ 値上がりの期待がもてる

⑧ 金融機関の担当者が薦めている

⑨ 知人や友人が薦めている

⑩ その他

⑪ 特になし

✖ 閉じる



ここで改ページ

末尾添付資料：調査票

- ①必須入力
- 排他選択肢：12. 特にない・投資信託を知らない
- 選択肢ランダムイズ：選択肢1-10

Q18

あなたが持つ**投資信託**の良いイメージを全てお選びください。

✓ 複数回答 ★ 必須回答

- 1 プロが運用するので安心
- 2 投資や資産運用の初心者向け
- 3 長期の資産形成に向いている
- 4 少額から投資ができる
- 5 積み立てで購入することができる
- 6 分散投資ができる
- 7 値下がりの不安が少ない
- 8 値上がりの期待がもてる
- 9 海外投資が気軽にできる
- 10 NISAやiDeCoなどの非課税制度が利用できる
- 11 その他
- 12 特にない・投資信託を知らない



ここで改ページ

末尾添付資料：調査票

- ①必須入力
- 排他選択肢：7. 特にない・投資信託を知らない
- 選択肢ランダムイズ：選択肢1-5

Q19

あなたが持つ投資信託の**良くないイメージ**を全てお選びください。

✓ 複数回答 ★ 必須回答

- 1 手数料がもったいない
- 2 投資信託を買うよりも自分で株などを運用した方が良い
- 3 理解するのが難しそう
- 4 損をしそうで怖い
- 5 値上がりの期待が持てない
- 6 その他
- 7 特にない・投資信託を知らない

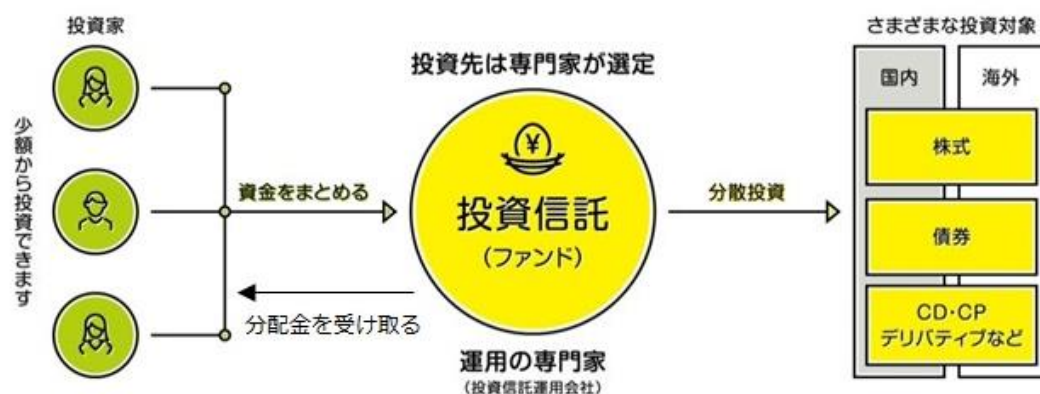


ここで改ページ

C1

▼ 以下の画像をご覧ください。 ▼

投資信託とは、投資家から集めたお金をひとつの大きな資金としてまとめ、運用の専門家が株式や債券などに投資・運用する商品で、その運用成果が投資家それぞれの投資額に応じて分配される仕組みの金融商品です。



- ① 必須入力

Q20

あなたは今後投資信託を自分で購入して保有したいですか。
既に保有している人は、今後も保有し続けたいとお考えですか？

① 単一回答 ★ 必須回答

▲ とじる

- ① 購入してみたい、保有し続けたい
- ② やや購入してみたい、やや保有し続けたい
- ③ どちらともいえない
- ④ あまり購入したくない、あまり保有し続けたくない
- ⑤ 購入したくない、保有し続けたくない

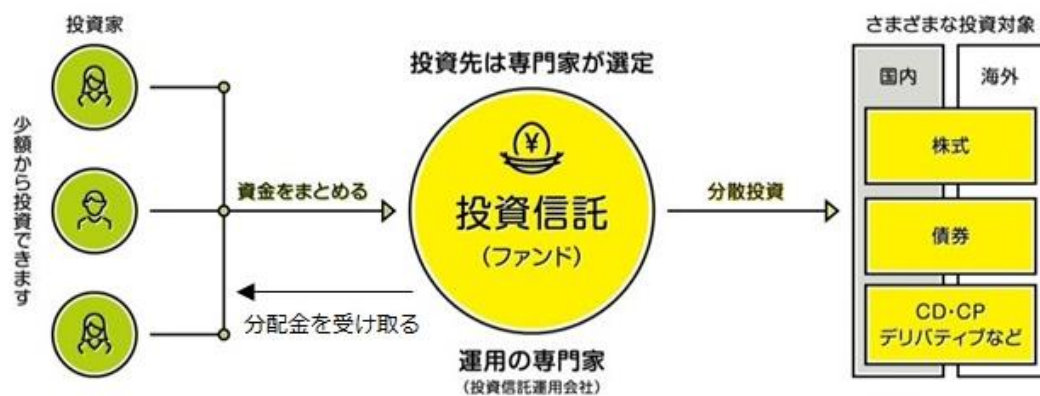


ここで改ページ

C2

▼ 以下の画像をご覧ください。 ▼

投資信託とは、投資家から集めたお金をひとつの大きな資金としてまとめ、運用の専門家が株式や債券などに投資・運用する商品で、その運用成果が投資家それぞれの投資額に応じて分配される仕組みの金融商品です。



末尾添付資料：調査票

- ①必須入力
- 排他選択肢：7. 特にない・わからない
- 選択肢ランダムイズ：選択肢1-5

Q21

あなたが投資信託を購入して保有する際に欲しいサポートを全てお選びください。

✓ 複数回答 ★ 必須回答

- 1 投資信託の商品内容や運用状況について分かりやすい資料が欲しい
- 2 WEBサイトでの情報提供を充実させてほしい
- 3 金融機関（証券会社や銀行）の担当者が分かりやすく説明して欲しい
- 4 ファイナンシャルプランナーなど第三者の意見が欲しい
- 5 セミナーや説明会を開催してほしい
- 6 その他
- 7 特にない・わからない

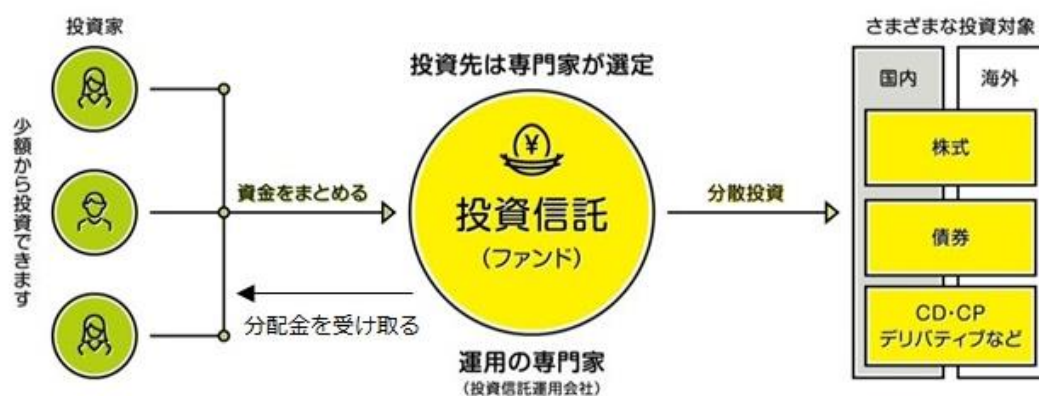


ここで改ページ

C3

▼ 以下の画像をご覧ください。 ▼

投資信託とは、投資家から集めたお金をひとつの大きな資金としてまとめ、運用の専門家が株式や債券などに投資・運用する商品で、その運用成果が投資家それぞれの投資額に応じて分配される仕組みの金融商品です。



- ①必須入力
- 選択肢ランダムイズ：選択肢1-8
- 選択肢グループランダムイズ：選択肢グループ1,2

Q22

あなたが今後投資信託商品を新たに購入して保有する場合に、最も気になることをお選びください。

◎ 単一回答 ★ 必須回答

▲ とじる

末尾添付資料：調査票

-
-
- ① 値上がりの期待はどのくらいあるのか
-
- ② 値下がりの不安はどのくらいあるのか
-
- ③ どのような銘柄・地域に投資されるのか
-
- ④ 誰（どこの会社）が運用するのか
-
- ⑤ 分配金を受け取る頻度・1回あたりの金額
-
- ⑥ 購入時にかかる手数料
-
- ⑦ 運用期間中のコスト
-
- ⑧ 自分が購入できる最小金額はいくらなのか
-
- ⑨ その他
-
- ⑩ 特にない
-



ここで改ページ

C4

最後に、あなたの今後の生活への考え方についてお伺いします。



ここで改ページ

• ①必須入力

Q23

あなたの就労状況・意識として最もあてはまるものをお選びください。

① 単一回答

★ 必須回答

- ① 現在働いている
- ② 退職したが、再就職したい
- ③ 元々働いていなかった（専業主婦・主夫等）が、これから働きたい
- ④ 現在働いておらず、今後も働くつもりはない



ここで改ページ

- ①必須入力
- 排他選択肢：9. 特にない
- 選択肢ランダムイズ：選択肢1-7

Q24

近年日本人の寿命が延びていますが、年齢を重ねることによる不安はありますか。
あなたが感じる不安を全てお選びください。

✓ 複数回答 ★ 必須回答

とじる

- 1 物忘れがひどくなること
- 2 筋力が衰えたり骨が弱くなったりすること
- 3 病気になる（悪化する）こと
- 4 通院等、医療関連の費用
- 5 自分の生活費
- 6 頼れる人が少ない・いない（少なくなる・いなくなる）こと
- 7 配偶者や親など家族を介護すること
- 8 その他
- 9 特にない



ここで改ページ

- ①必須入力

Q25

あなたは、自分の財産を誰かに相続したいですか。
最もあてはまるものをお選びください。

① 単一回答 ★ 必須回答

▲ とじる

- ① 相続したい
- ② 相続したくない
- ③ どちらともいえない
- ④ そもそも（配偶者や子など）相続する相手がいない



ここで改ページ

- セレクト条件：【Q25】で1と答えた方
- ①必須入力

Q26

自分の資産を誰かへ相続したい方にお聞きします。
あなたは資産の相続について、受取り側となる人と相談していますか。

① 単一回答 ★ 必須回答

▲ とじる

- ① 相談している
- ② 相談していない



ここで改ページ

末尾添付資料：調査票

- セレクト条件：【Q25】で1と答えた方
- ①必須入力
- 排他選択肢：13. 特にない
- 選択肢グループランダムイズ：選択肢グループ1,2

Q27

自分の資産を誰かへ相続したい方にお聞きします。

あなたは相続相手にどのような資産を引き継いでもらいたいですか。あてはまるものを全てお選びください。

✓ 複数回答

★ 必須回答

▲ とじる

実物資産

- 1 土地
- 2 家屋
- 3 金等の貴金属や宝石
- 4 美術品・骨董品
- 5 その他の実物資産

金融資産

- 6 現金・預貯金
- 7 投資信託
- 8 株式
- 9 債券（国債・社債など）
- 10 生命保険の保険金
- 11 その他の保険金

- 12 その他の金融資産

- 13 特にない



ここで改ページ

- セレクト条件：【Q27】で7-12と答えた方
- 選択肢セレクト条件
選択肢【1】 - 【4】：【Q26】で1と答えた方
- ①必須入力

Q28

現金・預貯金以外の金融資産（投資信託・株式などの金融商品）を将来、誰かへ相続したい方にお聞きします。

あなたは、現金以外の金融資産をどのように相続するか、受け取り手と相談していますか。

最もあてはまるものをお選びください。

単一回答 必須回答

▲ とじる

相談している

- ① 相談していて、金融商品は全て売却（現金化）して相続してもらう予定だ
- ② 相談していて、金融商品は一部を売却（現金化）して相続してもらう予定だ
- ③ 相談していて、金融商品は全てをそのまま（現金化せずに）相続してもらう予定だ
- ④ 相談しているが、どう相続してもらうかはまだ決まっていない

相談していない

- ⑤ 相談してはいるが、金融商品は全て売却（現金化）して相続してもらう予定だ
- ⑥ 相談してはいるが、金融商品は一部を売却（現金化）して相続してもらう予定だ
- ⑦ 相談してはいるが、金融商品は全てをそのまま（現金化せずに）相続してもらう予定だ
- ⑧ 相談しておらず、どう相続してもらうかはまだ決まっていない



ここで改ページ

- 選択肢セレクト条件

選択肢【2】 : ((AGE >= 1) && (AGE <= 99))

選択肢【3】 : ((AGE >= 1) && (AGE <= 89))

選択肢【4】 : ((AGE >= 1) && (AGE <= 79))

選択肢【5】 : ((AGE >= 1) && (AGE <= 69))

- ①必須入力

Q29

あなたは、ライフプラン（人生設計）をどのくらい先まで想定していますか。

① 単一回答

★ 必須回答

- ① 100歳以上
- ② 90～99歳
- ③ 80～89歳
- ④ 70～79歳
- ⑤ 60～69歳
- ⑥ 全く考えたことがない

アンケートは以上で終わりです。
ご協力ありがとうございました。
送信ボタンを押してください。

送 信